

明治十八年三月發兌

社會學之原理 第七册

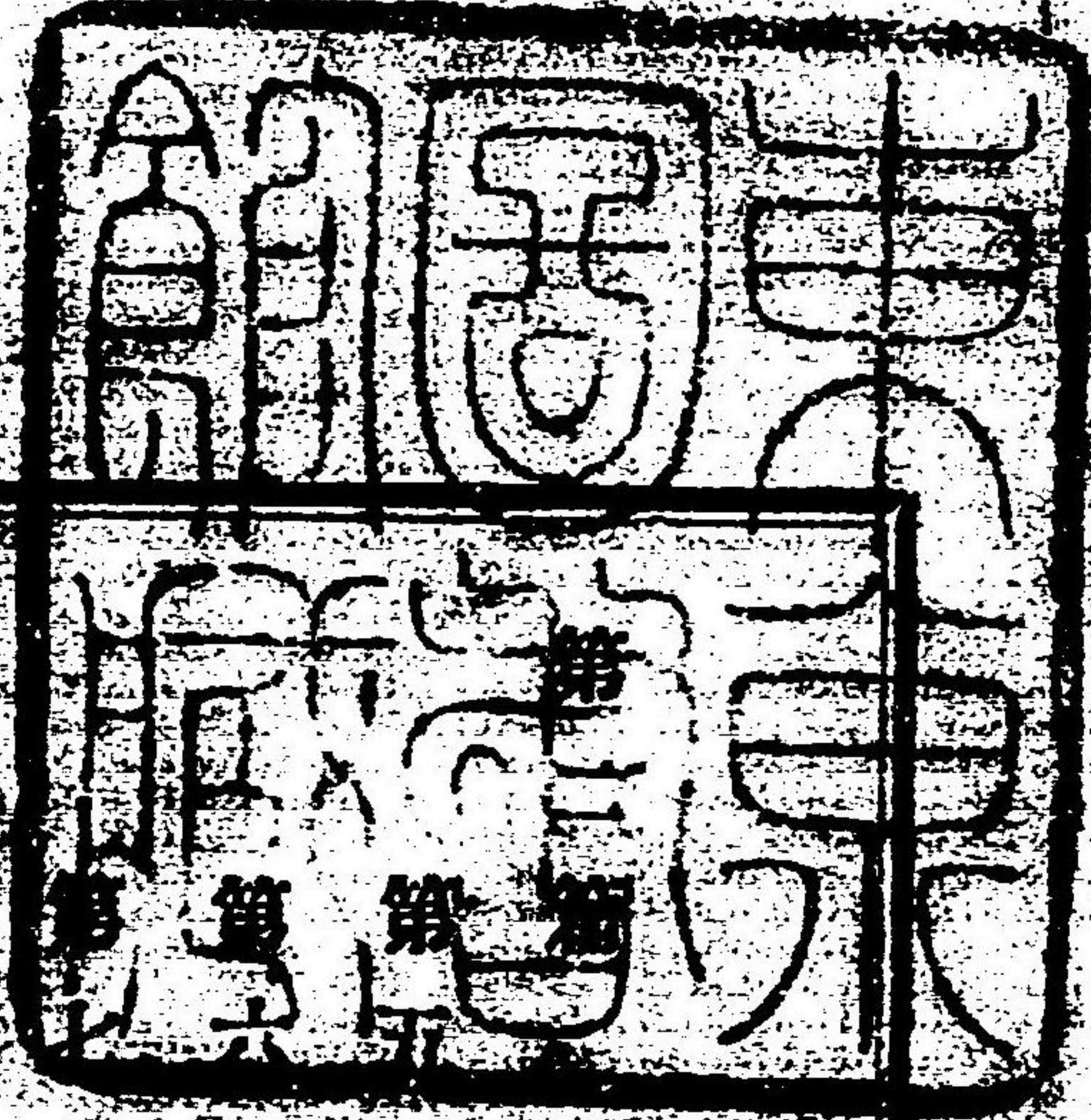
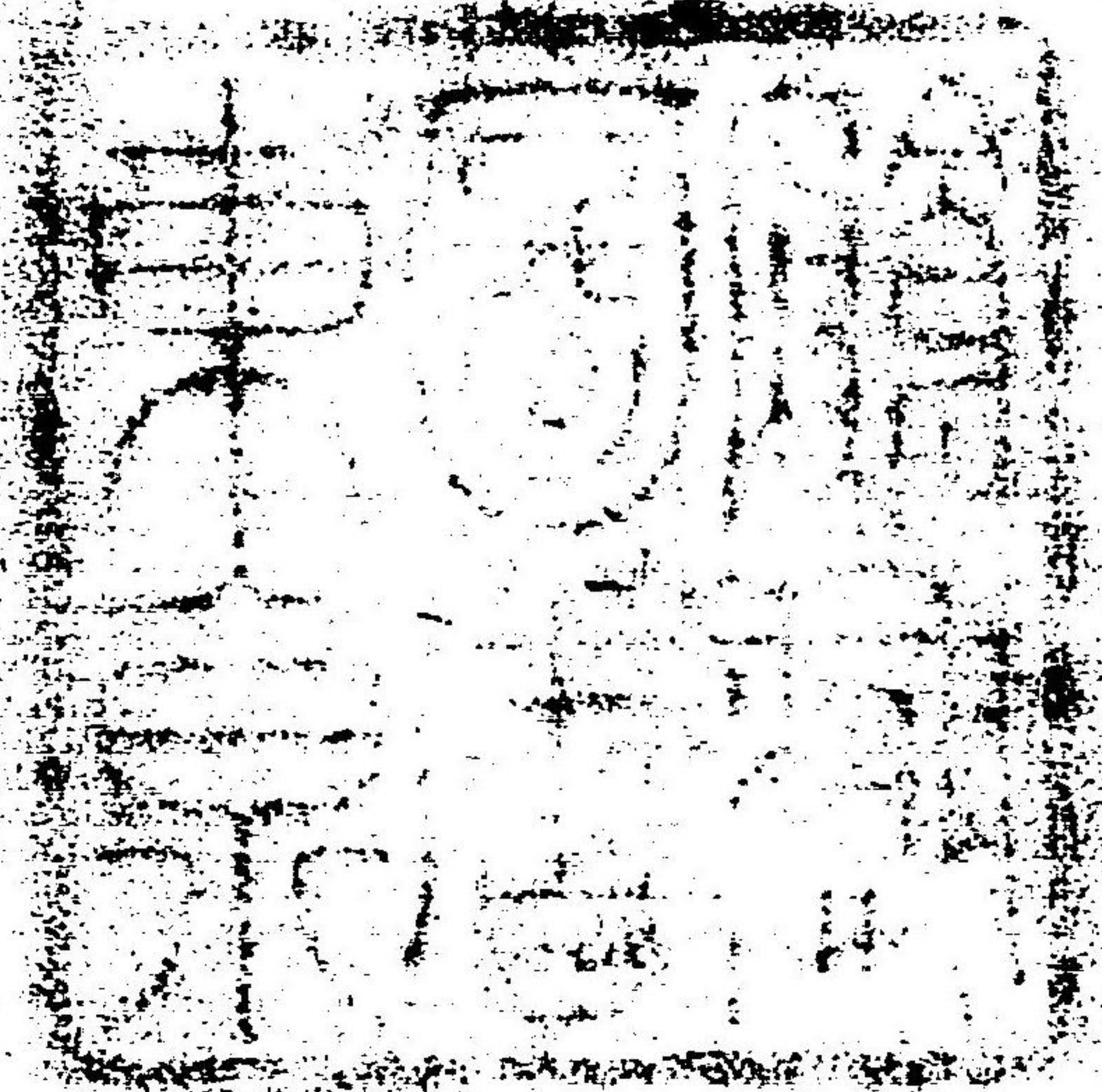
經濟學講習會

特17
827

英國 スペンセル氏 著
日本 乘竹孝太郎 譯

社會學之原理

明治十八年三月



社會學之原理第七冊目次 但二百七
 事實上ヨリ社會學ノ理ヲ概括ス(續)

第十章	社會ノ体型及國制	二百二十五丁
第九章	統制系	百五十七丁
第八章	分配系	百二十七丁
第七章	供給系	百十二丁
第六章	機關ノ系制	百丁
第五章	社會ノ職能	八十七丁

社會學之原理第七冊目次終

動物ニ於テ
モ社會ニ於
テモ機關ノ
發達ニ同機
ノ段落アリ

第二百三十二節、動物ノ構造ト社會ノ構造ト相類同スル今一ノ
點ヲ示サバ、ル可ガラス動物ノ機關ハ余輩ガ第一段落、第二段落、
第三段落トシテ區別スル所ノ種々ノ順序ヲ經テ發達スル者ニ
シテ社會ノ機關ノ如キモ亦第一第二第三ノ諸段落ヲ經テ發達
スル者ナルヲ見ルナリ余輩ハ今右各段落ニ就キ動物ト社會ト
ヲ比較シテ其相類同スルヲ示サシ
下等ノ動物ニ於テハ肝臟ニ於テ膽汁ヲ分泌スルニ非スシテ腹
壁ノ一側面ニ沿フテ諸方ニ散在スル所ノ細胞體ニ於テ之ヲ分
秘スルナリ此等ノ細胞體ハ各自別々ニ血液中ヨリ或ル物質ヲ
分泌シテ又各自別々ニ其產物ヲ注出スル者ナリ即チ此等ノ下
等ノ動物ニ於テハ適當ニ機關ト稱ス可キ者ナク未ダ合シテ一
機關ヲ構造スルニ至ラザル若干ノ元素アルノミ而シテ此有様
ハ社會ノ産業部ノ原始ノ有様ニ類同スルナリ最初ニ於テハ各

職工ハ分離孤立シテ其業ヲ行ヒ自ラ其產物ヲ消費者ニ賣ル也
 斯カル有様ハ今日ニ於テモ我村落中ニハ尙存スル者アリテ此
 等ノ村落ニ於テハ靴匠ハ自カラ爐邊ニ坐シテ其靴ヲ製シ且賣
 リ又鍛冶匠ハ一人ニシテ其隣人ノ要スル如何ナル鉄器ヲモ製
 造シ以テ産業機關ノ原始ノ有様ヲ示セリ蓋シ野蠻人中ニ於テ
 ハ人々所長ノ異ナルニ從ヒ少シク職業ノ異同ヲ起ス者ニシテ
 「ヒューリアン」民族ノ如キハ賤劣ナル民族ナリト雖モ尙ホフイツロ
 ーイ氏ノ説ニ據レハ或ル者ハ鎗術ニ熟シ或ル者ハ投石ノ術ニ
 熟シ或ル者ハ弓矢ノ術ニ熟スルト云フ最始人類中ニ於テモ之
 ト同様ニ人々所長ノ異ナルヨリ各人特別ノ業ニ從事スルヲト
 ナルガ故ニ原始ノ産業機關ハ一箇人ヲザルヲ得ザルナリ左
 レバカウツルコニアノ「シヤスタ、インヂアン」民族中ニテハ矢ヲ製造
 スルトハ一種特別ノ職業ナリト云フヲ聞ク時ハ矢ノ製造ニ巧

ミナル人アリテ之ヲ製造スルヲ其特別ノ職業トナシ且最初
 ニハ矢ノ製造者ハ一箇人タルヲ明ナリトス而シテ稍々發達シ
 テ確立セル小社會ノ如キニ於テモ尙ホ産業機關ハ斯カル有様
 ニ止マルナリウインカイボットム氏ノ説ニ據レハ「コーリスト、ニグ
 ロ」民族中ニ於テハ村落ノ最モ伶俐ナル人ハ通常鍛冶匠、木匠、
 建築者、織工ナリト云フ蓋シ此説ノ如キハ職業異同ノ甚タ少ナ
 キコトヲ余輩ニ示スト同時ニ又産業機關ノ全ク一箇人タルヲ
 余輩ニ示ス者ニシテ斯カル社會ニ於テハ其發達スルニ從ヒ各
 自別々ニ其職業ヲ行フ所ノ一箇人増加シテ社會ノ需要ニ應ス
 ルコトヲラント思ハル、ナリ
 動物ノ原始ノ分泌機關ハ同時ニ二種ノ變化ヲ受ケテ第二ノ段
 落ニ達スル者ニシテ余輩ハ次キニ此第二ノ段落ニ於テ動物ト
 社會トヲ比較ス可シ夫ノ諸方ニ散在セル細胞體ハ一所ニ集聚

シテ且種々ノ團合体ヲ成スナリ一箇ノ細胞體別々ニ其特別ノ
 產物ヲ製造シ且注出スルヲ爲サズシテ今ヤ一團ノ細胞體ヲ包
 含スル所ノ小ナル管狀ノ液囊ヲ生シ此等ノ液囊ノ一端ニ孔口
 アリテ内ニ包含セラレタル細胞體ノ製造セル產物ハ之ヨリシ
 テ注出セラル、ナリ故ニ分泌ニ從事スル一團ノ元素ヲ包含シ
 且其產物ヲ注出ス可キ孔口ヲ有スル所ノ管狀ノ液囊ノ互ニ相
 集聚スルアルナリ而シテ半開社會ノ現ハス産業機關ノ有様ハ恰
 モ動物ノ分泌機關ノ此有様ニ類同スルナリ確立ノ益々進歩ス
 ル所ノ社會ニ於テハ各種職人ノ職業ノ異同更ニ明畫トナリ一
 箇職人ノ受クル需要ハ一定シテ變セザルニ至ルナリ而シテ此
 等ノ職人ハ職業ノ繁忙ニ迫マラレテ時々其子供ヲシテ之ヲ助
 ケシムルコトアルナリ斯ク小供ヲシテ職業ヲ助ケシムルコトハ初
 メ偶然ニ出ツルト雖モ漸次ニ常行ノ風習トナリ遂ニ各人ガ其

子供ヲ自己ノ職業ニ教育スルコトハ社會ノ法則トナルニ至ルナ
 リ此事ヲ證スルノ實例多シブレンスコット氏ノ説ニ曰クピリウ
 一ニ於テハ熟練ヲ要スル如キ職業ハ他ノ職業及ヒ官職ト同シ
 ク常ニ父ヨリ子ニ世襲セシナリ此點ニ於テハ種族ノ區分ハ埃
 及若クハ印度ニ於ケルト同様ニ嚴ナリシナリト又クラヴィゲロ
 一氏ノ説ニ據レバメキシコニ於テハ一般ニ子ハ其父ノ商業及
 ヒ藝業ヲ學ヒシト云フ又昔時ノ歐洲諸國ノ産業機關ノ有様ニ
 於ケルモ同様ナリトスエチアドシアス帝ノ法典ニ於テハ羅馬ノ
 少年ハ其父ノ職業ヲ襲ハザル可カラザルコト定メ又少年ニシ
 テ人ノ女ト婚姻セント欲スル時ハ其女ノ家ノ職業ヲモ取ルニ
 非サレバ之ト婚姻ズル能ハザルコト定メタリ又中古ノ佛蘭西
 ニ於テハ手藝ヲ遺物トスル風習行ハレ英國ニ於テモ昔時ハ同
 様ノ風習行ハレタリ而シテ代ヲ經ルニ從ヒ親族益々岐分シテ

同一ノ職業ヲ行フ所ノ數多家族ノ一地方ニ相集聚スルトナ
 リ茲ニ至テ同業仲間ノ萌芽ヲ生スルナリ蓋シ同一ノ職業ヲ專
 有スル所ノ數多家族ハ一團集ヲ成シ此等ノ諸家族ハ通常同一
 地方ニ住スルナリ英國ノ都府ニ於テフェル、モンゲル街(獸皮商ノ
 義)ホールス、モンゲル街(馬商ノ義)、フレツシ、モンゲル街(獸肉商ノ
 義)シュー、ライト街(靴匠ノ義)シールド、ライト街(精匠ノ義)タルナリ
 街(旋盤匠ノ義)ソルター街(鹽物商ノ義)及ヒ其他同様ノ街名ノ今
 日ニ尙ホ存スルアルハ則チ之ガ爲メナリ而シテ此等ノ産業地
 方ハ何レモ親因アル數多家族ヨリ成リ此等ノ家族ハ各々父ノ
 監督ヲ受ケテ製産ノ業ヲ行フ所ノ諸子ヲ包含シ且父ハ自カラ
 製産ノ業ニ從事スルト同時ニ其產物ヲ賣ルコトヲ司トリ而シテ
 家族及ヒ營業ノ大ナル場合ニハ父ハ重モニ製造ノ材料ヲ吸入
 シテ製造シタル物品ヲ吐出スルノ通路トナルコトヲ見ルキハ産

業機關ノ此有様ハ前段ニ記シタル別々ノ孔口ヲ有スル液囊ノ
 相集聚セル有様ニ類同セルコトヲ見ル可キナリ
 第三ノ段落ニ於テモ動物ト社會トガ相類同セルコトヲ見ル可キ
 ナリ更ニ發達セル動物ニ於テハ一層活潑ナル作用ヲ要スルガ
 故ニ夫ノ液囊ノ如キモ勢ヒ増加セザルヲ得ズシテ其増加スル
 ニ從ヒ組織ノ變化ヲ來タスナリ蓋シ液囊ノ孔口ハ何レモ同一
 ノ點ニ向テ注ガザル可カラザルガ故ニ液囊ノ益々増加スルキ
 ハ之ヨリ注ク產物ヲ受クル所ノ凹窪ノ側面ニ於テ此等ノ孔口
 ノ占ムル區域ハ益々廣キヲ加ヘザルヲ得ズ然レモ斯ク益々區
 域ヲ廣ムルハ職掌ヲ行フニ妨ケアリテ能ハザル所ナレバ盲腸
 ナ生シテ液囊ノ產物ヲ之ニ注クニ至ルナリ而シテ又同一ノ理
 由ヨリシテ更ニ此盲腸ヨリ岐分セル第二ノ盲腸ヲ生シ斯ノ如
 クニシテ遂ニ其諸部分ノ間ニ通走スル枝管ヲ有スル所ノ一大

溝渠ヲ具フル肝臟ノ如キ一大臟ヲ生スルニ至ル也今余輩ハ前段ニ記シタル如キ社會ノ産業機關ガ同一ノ順序ヲ經テ更ニ高等ナル有様ニ進ム狀ヲ示ス可シ蓋シ産業機關ガ家族營業ノ有様ヨリ製造所營業ノ有様ニ進ムハ決シテ一飛シテ然ルニ非ヌシテ漸次ニ變遷ヲ受ケテ然ルナリ一家族ノ人々ノ外ニ更ニ一人ノ徒弟ヲ加フルガ如キハ則チ其第一步ニシテ憶フニ最初ニハ親者ヲ以テ徒弟トナスナル可シ而シテ此等ノ徒弟ハブレン
 グーイ氏ノ云ヘルガ如ク其主人ノ家族ノ仲間ニ同フソ主人ハ其職業ヲ之ニ教ヘ恰モ父タルカノ如クニ其職業ノミナラズ其行狀ヲモ監督シ實ニ主人ノ養子タルニ異ナラザルナリ此變遷ノ起リシ後ハ次キニハ數人ノ徒弟ヲ置クトナリ此等ノ徒弟ハ今ハ其性質ヲ變シテ傭工トナルナリ而シテ家族營業仲間ガ斯ク變遷ヲ受ケテ發達スルト同時ニ主人ハ自己ノ家族ノ製造

シタル物品及ヒ他ノ家族ノ製造シタル物品ノ賣人トナリ其營業ノ大ヲ加フルニ從ヒ勢ヒ主人ハ製産ノ業ニ從事スルコト止メテ全ク分配者トナルニ至ルナリ即チ二三ノ子ノ製造シタル物品ノミナラズ全ク親因ナキ數多職人ノ製造シタル物品ヲ吐出スルノ通路トナルナリ之ヨリシテ一家族ノ仲間ニ比スレバ遙カニ數多ノ職人ヲ有スル工場ヲ生シ遂ニ機械ヲ使用スルコト行ハル、ニ及ンテ製造所ヲ生スルニ至ルナリ此等ノ製造所ハ夫々ニ群集セル職人ヲ有シテ其產物ヲ注出スル所ノ數階ノ室ヨリ成リ各室ニ於テ製造シタル產物ハ枝管ヨリ流出シ相合シテ一ノ出口ニ達スルナリ而シテ織物ノ製造ニ從事スル如キ高等ナル産業機關ニ於テハ同一ノ市邑ニ集聚セル數多ノ製造所ヲ生シ又近隣ノ市邑ニ同様ニ集聚セル他ノ數多ノ製造所ヲ生シ岐分セル道路ニ依リテ綿花此等ノ製造所ニ來リ木綿更紗等

溝渠ヲ具フル肝臟ノ如キ一大臟ヲ生スルニ至ル也今余輩ハ前段ニ記シタル如キ社會ノ産業機關ガ同一ノ順序ヲ經テ更ニ高等ナル有様ニ進ム狀ヲ示ス可シ蓋シ産業機關ガ家族營業ノ有様ヨリ製造所營業ノ有様ニ進ムハ決シテ一飛シテ然ルニ非ヌシテ漸次ニ變遷ヲ受ケテ然ルナリ一家族ノ人々ノ外ニ更ニ一人ノ徒弟ヲ加フルガ如キハ則チ其第一步ニシテ憶フニ最初ニハ親者ヲ以テ徒弟トナスナル可シ而シテ此等ノ徒弟ハブレノタニヨリ氏ノ云ヘルガ如ク其主人ノ家族ノ仲間ニ同フノ主人ハ其職業ヲ之ニ教ヘ恰モ父タルカノ如クニ其職業ノミナラズ其行狀ヲモ監督シ實ニ主人ノ養子タルニ異ナラザルナリ此變遷ノ起リシ後ハ次キニハ數人ノ徒弟ヲ置クトナリ此等ノ徒弟ハ今ハ其性質ヲ變シテ傭工トナルナリ而シテ家族營業仲間ガ斯ク變遷ヲ受ケテ發達スルト同時ニ主人ハ自己ノ家族ノ製造

シタル物品及ヒ他ノ家族ノ製造シタル物品ノ賣人トナリ其營業ノ大ヲ加フルニ從ヒ勢ヒ主人ハ製産ノ業ニ從事スルヲ止メテ全ク分配者トナルニ至ルナリ即チ二三ノ子ノ製造シタル物品ノミナラズ全ク親因ナキ數多職人ノ製造シタル物品ヲ吐出スルノ通路トナルナリ之ヨリシテ一家族ノ仲間ニ比スレバ遙カニ數多ノ職人ヲ有スル工場ヲ生シ遂ニ機械ヲ使用スルヲ行ハルハニ及ンテ製造所ヲ生スルニ至ルナリ此等ノ製造所ハ夫々ニ群集セル職人ヲ有シテ其產物ヲ注出スル所ノ數階ノ室ヨリ成リ各室ニ於テ製造シタル產物ハ枝管ヨリ流出シ相合シテ一ノ出口ニ達スルナリ而シテ織物ノ製造ニ從事スル如キ高等ナル産業機關ニ於テハ同一ノ市邑ニ集聚セル數多ノ製造所ヲ生シ又近隣ノ市邑ニ同様ニ集聚セル他ノ數多ノ製造所ヲ生シ岐分セル道路ニ依リテ綿花此等ノ製造所ニ來リ木綿更紗等

動物ニ於テ
モ社會ニ於
テモ最初ノ

ノ荷物此等ノ製造所ヨリ出ツルナリ
新興ノ製造事業ニシテ二三代ノ間ニ此等ノ順序ヲ經テ發達セ
ル實例アリテ靴足袋製造事業ノ如キハ其一ナリ五十年前ニハ
ミッドランド州ニ於テ此處彼處ニ散在セル路傍ノ小屋ニ於テ
孤立セル機械ヲ以テ靴足袋ヲ編ムノ聲ヲ聽キシナリ此時ニ於
テハ同一ノ職工ニシテ自カラ之ヲ製造シ自カラ之ヲ賣リシナ
リ然ルニ未タ幾クナラズシテ數箇ノ機械ヲ備ヘタル工場起リ
テ此等ノ工場ニ於テハ父子其製造ニ從事シ又徒弟ヲモ備使セ
シナル可シ而シテ遂ニ蒸氣力ヲ以テ運轉スル所ノ數多ノ機械
ヲ備ヘタル大製造所起リ又同一ノ市邑ニ集聚セル數多ノ斯カ
ル大製造所起ルニ至レリ
第二百三十三節動物ト社會トガ其構造ヲ同フスル最後ノ點ア
リテ以上ノ諸點ニ比スレバ一層著シキ者アリ即チ動物ニ於テ

發達法ト以
後ノ發達法
ト相異ナル
アリ

モ社會ニ於テモ最初ノ發達法ト之ニ代テ行ハル、以後ノ發達
法トノ相異ナルアルコト是ナリ
全体ノ上ヨリ動物界ノ醇化ヲ觀察スルキハ下等動物ノ機關ハ
極メテ微ナル變遷ヲ積ミ以上ノ諸段落ヲ經過シテ高等動物ノ
機關ニ進ムヲ見ルト雖モ一箇ノ高等動物ニ就テ其機關ノ發達
ヲ觀察スルキハ其順序更ニ簡ニシテ一層速カナル方法ニ因リ
テ發達スルヲ見ルナリ斯クテ胎生動物ノ未成胎兒ノ肝臟ハ集
聚セル數多ノ細胞體ニ由リテ組成セラレ此等ノ細胞體ハ直チ
ニ相結合シテ腹壁ヨリ突出セル一團体トナリ之ト同時ニ腹壁
ヨリ此團体ニ傾下スル盲腸ヲ生スルナリ而シテ此盲腸ガ肝臟
ノ溝渠トナルト同時ニ細胞體ノ間ニ此盲腸ヨリ岐分セル小管
ヲ生シ又下等動物ノ機關ヨリ高等動物ノ機關ニ進ムノ際ニ於
テハ順ヲ追フテ漸次ニ起ル可キ他ノ諸變化ノ如キモ凡テ同時

ニ起ルナリ社會ノ産業機關ニ於ケルモ亦然リ製造所營業ノ有
 様能ク確立シ産業機關ノ此有様ハ社會ノ体ニ深く浸染セル今
 日トナリテハ余輩ハ苟モ此有様ニ適ス可キ産業ハ最初ヨリ直
 ニ此有様ヲ取ルヲ見ルナリ若シ或ル場所ニ於テ鐵鑛ノ發見
 セラレシガ爲メニ製鐵事業ノ興起ヲ促スアリトセン歟若シク
 ハ或ル他ノ場所ニ於テ酒ノ釀造ニ適當セル水ノ發見セラレハ
 アリトセン歟然ル時ハ一人營業、家族營業、集合家族營業等ノ諸
 段落ヲ經過スルヲ爲サズシテ俄カニ材料及ヒ職人此等ノ場所
 ニ吸引セラレ直ニ高等ナル有様ノ産業機關ヲ生スルナリ加之
 一箇ノ大會社ノ斯ク速ニ生セラレ、ニ止ラズシテ一團ノ大會
 社凡テ斯ク直ニ生セラレ、ナリ夫ノバルロウノ如キハ大ナル
 製鐵會社ヲ具ヘ輸入及ヒ輸出ニ從事スル數多ノ大商社ヲ具ヘ
 又大船渠及ヒ通信ノ便ヲ具フル所ノ一市邑ガ僅カニ二三年ニ

シテ起リタル實例ヲ余輩ニ示ス者ニシテ最始ノ社會ニ於テハ
 數百年ヲ經過シ漸次ニ種々ノ變遷ヲ受ケシ後ナリテハ斯カル
 産業機關ヲ發スルヲ能ハザルナリ
 醇化ノ作用ニ於テ前記ノ變化ト相類シテ更ニ著シキ今一ノ變
 化ノ如キモ動物ト社會トガ共ニ現ハス所ナリ高等動物ノ未成
 胎兒ニ於テハ下等動物ノ現ハス發達ノ順序ト相異ニシテ種々
 ノ機關ノ緊要ナル部分先ツ最初ニ發生シテ恰モ俟ツアル者ノ
 如シ之ト同シク体軀ノ全部ニ就テ觀察スルモ下等動物ニ於テ
 通ク發生スル機關ハ高等動物ニ於テハ反テ早ク發生スルナリ
 此變化ハ博士ヘツケル氏ガ順序顛倒ノ變化ト稱スル所ニシテ
 最下等ノ脊髓動物ニ於テハ曾テ腦髓ノ發生セザル者アルニ拘
 ラズ胎生動物ノ未成胎兒ニ在テハ腦髓ノ早ク發生スルガ如キ
 又下等ノ脊髓動物ニ於テハ消化機關ノ既ニ完成セル後ト雖モ

尙ホ脊髓管ニ關節ヲ生スル甚々微カナル徴ヲ示スニ過キザルニモ拘ラズ胎生動物ノ未成胎兒ニ在テハ毫モ消化機關ノ發生セザル前ニ既ニ脊髓管ニ關節ヲ生スルガ如キ皆此變化ヲ示ス者ナリ而シテ社會ノ醇化ニ於テモ機關發達ノ順序ニ同一ノ變化アルコトハ古社會ノ確立セル風習ヲ繼承セル新社會ニ於テ之ヲ示スナリ例セバ合衆國ノ遙カニ西部ノ市邑ニ於テハ建築セラレタル人家ノ尙ホ甚々僅々ナルニモ拘ラス其街道及ヒ造營地ニ於テ旅館、寺院、郵便局等ノ早ク既ニ發シ又將來ノ殖民地ノ興ランテ豫期シテ荒野ニ鐵道ノ通スルヲ見ルナリ又オーストラリアノ殖民地ニ於テモ新發見ノ鑛山ノ周圍ニ鑛夫ノ小屋ノ僅カニ集聚スルヤ二三年ニシテ忽チニ活版所及ヒ新聞紙等ヲ發スルニ至リシナリ然ルニ母國ニ於テハ斯カル小ナル市邑ニ於テ斯カル高等ナル機關ヲ發スルニ至ルマデニハ數百年ヲ經

本章論ス可キノ點

動物ニ於テモ社會ニ於テモ構造ノ疎密ニ從ヒ元素相依ル

過ヒシナリ

第五章 社會ノ職能

第二百三十四節、構造ノ變化ハ必ス職能ノ變化ヲ生ゼズンバアラザルナリ故ニ前章ニ説キシ所ハ多クハ語ヲ更ヘテ之ヲ本章ニ再説スルヲ得可シ實ニ社會ニ於テハ構造ノ變化ハ直ニ見ルヲ得ズシテ職能ノ變化ニ徴シテ之ヲ知ルヲ得可キモノ多キガ故ニ前章構造ノ變化ヲ論スル際ニ職能ノ變化ヲモ既ニ暗示シタリト言フテ可ナラン

然リト雖モ構造ノ變化ニ因テ十分ニ暗示セラレザル或ル職能ノ變化アルガ故ニ聊カ數葉ヲ歸シテ之ヲ論セント欲ス

第二百三十五節、全體ノ構造ニシテ其元素ヲ互ニ相依ルノ作用ヲ爲シ得ヒシムル如キ者ナラノ歟然ル時ハ其構造ノ愈々疎ナルニ從ヒ各自ノ元素愈々獨立ノ作用ヲ爲スヲ得ベク之ニ反

ノ度ヲ異ニ
ス

シテ其構造ノ愈々密ナルニ從ヒ各自ノ元素相依ルノ度愈々大ナルヲ加ヘ若シ分離スル時ハ各自元素ノ生活ニ害アルニ至ル可シ此事ヤ動物ニ於テモ社會ニ於テモ共ニ之ヲ明示スル所ナリトス

最下等ノ動物ニ於テハ之ヲ組織スル各自ノ元素ハ其觀相ヲ相同クシ又同一ノ作用ヲ爲スナリ而シテ此等ノ動物ニ於テハ其元素ノ或ハ自然ニ相分離シ或ハ人爲ヲ以テ分離セシメラル、
 一アルモ各自元素ノ生活ニハ殆ト毫モ害アルナキナリ第一級ノ動物タル「リス」ポツド」動物ヲ組成スル所ノ元素ハ各自殆ト相異ナラザル斑點ニシテ若シ或ル變故ノ爲メニ分離セシメラル、
 一アルモ斯ク分離セシメラル諸部分ハ依然トシテ從前ノ如クニ其生活ヲ營ムナリ而シテ第二級ノ動物ニ於テモ之ヲ組成スル元素ハ殆ト同一ノ有様ニシテ相分離スル一アルモ其

生活ヲ失ハザルナリ左ノハ夫ノ生キタル海綿ノ織緯ヲ覆フ所ノ邊毛的ノ微元素ノ如キモ互ニ各自ノ協力ヲ要スルヲ甚ク少ナクシテ若シ海綿ヲ二部ニ切斷スルモ爲メニ毫モ妨ケラル、
 所ナクシテ從前ノ如クニ其作用ヲ行フナリ加之尋常ノ「ポリプ」種ノ動物ニ於ケルガ如ク其元素ノ間ニ幾分カノ不同ヲ生シタル動物ニ於テモ其分離セルガ爲メニ起ル所ノ擾亂ハ唯一時ノ間ニ止マルナリ蓋シ斯ク分離セルニ若クハ二以上ノ部分ハ暫時ニシテ其通常ノ單純ナル作用ヲ回復スルニ適當ナル有様ニ其元素ヲ整フルナリ最下等ノ社會ニ於テモ同一ノ理由ヨリシテ同一ノ事起ルナリ首長ヲ具ヘスシテ漂泊スル所ノ最始人類ノ群集ノ如キハ之ヲ分離スルモ曾テ不便ヲ生スルヲナキナリ
 各人ハ勇者ヲリ獵夫ヲリ武器製造者ヲリ小屋建築者タルノ諸性質ヲ一身ニ兼ヌルガ故ニ何レノ場合ニ於テモ同一ノ賤役ニ

從事スル所ノ妻婦ト共ニ隨意ニ四方ニ漂泊スルヲ得テ戰爭ヲ行フ時及ヒ田獵ヲ行フ時ノ外ハ絶ヘテ他人ト協力スルヲ要セザルナリ左レハ戰爭ヲ行フ時ノ外ハ半部ノ民族ト協力スルモ全部ノ民族ト協力スルモ同様ニシテ便否ノ別アルナキナリ首長起リテ元素ノ間ニ幾分カノ不同ヲ生シタル後ト雖モ其或ハ好シテ分離シ或ハ止テ得スシテ分離スルコトアルニ當リ尙ホ左マデノ不便ヲ感セザルナリ蓋シ民族ノ一部ガ移住スル前ニ於テ若クハ移住セル後ニ於テ更ニ或ル人ヲ立テ、首長トナシ以テ最下等ノ社會ヲ經營スルヲ得レバナリ

動物ニ於テモ社會ニ於テモ其構造ノ高等ナル者ニ於テハ決シテ斯ノ如クナル能ハザルナリ吾人若シ一ノ胎生動物ヲ二部ニ切斷スルアラバ歟忽チニ其死ヲ起サズンバアラザルナリ一羽ノ鳥ノ頭ヲ撚テ取ル時ハ必ズ死セシ又爬虫ノ如キハ其尾ヲ失

フニモ拘ラズ其生ヲ保ツコトアリト雖モ尙ホ其体ヲ切斷セラル、時ハ死スルナリ又環節類ノ動物中ニテモ其下等ナル者ニ在テハ之ヲ二部分ニ切斷スルモ其二部分各々死セズト雖モ羽虫、蜘蛛類ノ虫、甲虫ノ如キハ之ヲ二部分ニ切斷スル時ハ其二部分各々死スルナリ而シテ高等ナル社會ニ於テハ切斷ノ結果高等ナル動物ニ於ケルガ如クニ甚クシカラズトスルモ尙ホ大ナル者アルナリ試ミニミツドリヒツキスチシテ其四邊ノ地方ヨリ分裂セシメヨ然ル時ハ僅カニ數日ニシテ需要品ノ供給ヲ欠クガ爲メニ其社交上ノ作用ハ凡テ止息スルナラシ又綿花産出地方チシテリゾアール及ヒ其他ノ諸港ヨリ分裂セシメヨ然ル時ハ産業ノ止息ヲ起シ續テ人民ノ死亡ヲ起スナラシ又石炭ノ採掘ニ從事スル人民ト近隣ニ在テ礦物ノ鑛解ニ從事スル人民若クハ機械ヲ使用シテ織物ヲ製造スルコトニ從事スル人民ト相

分裂セシメヨ然ル時ハ此等ノ人民ハ其作用ノ止息スルガ爲メ
 先ツ社交上ノ生活ヲ失ヒ次キニハ各人一箇ノ生活ヲモ失フ
 ナラシメ若シ一ノ文明社會相分裂シテ中央ノ統制機關ヲ失フ
 アラシメハ假令ヒ直ニ他ノ統制機關ヲ起スアルニモセヨ尙ホ
 其際ニ於テ社會ノ全ク破壊スルノ大危險アルナリ而シテ再組
 織ノ稍々功ヲ奏スルニ至ル迄ニハ久シキ間ハ紊亂脆弱ノ有様
 ナリ經サル可カラザルナリ
 左ノ巴醇化ノ愈々進ムニ從ヒ職能ノ協力ハ愈々蜜トナリ下等
 社會ニ於テモ下等動物ニ於テモ元素ノ作用ハ互ニ相依ルニ甚
 タ薄シト雖モ高等社會及ヒ高等動物ニ至テハ元素相互ノ協力
 作用ニ因リテ全体ノ生活ヲ保チ又之ガ爲メニ各自元素ヲシテ
 各自ノ生活ヲ保チシムル者タルヲ見ル可キナリ
 第二百三十六節、理論ニ於テ其然ル可キヲ豫示シ事實ニ於テ

動物ニ於テ

モ社會ニ於
 テモ諸部分
 ノ殊別愈々
 確定スルニ
 從ヒ互ニ職
 掌ヲ代行ス
 ルニ愈々難
 キヲ加フ

其然ルニテ徵證シタル動物ト社會トガ類同セル他ノ點ヲ茲ニ
 記セザル可カラズ蓋シ諸部分ノ殊別ノ未タ明カニ確定セザル
 場合ニ於テハ一ノ部分ハ容易ニ他ノ部分ノ職掌ヲ代行スルヲ
 得ルト雖モ其殊別ノ既ニ明カニ確定セル場合ニ於テハ各自ノ
 部分ハ他ノ部分ノ職掌ヲ代行スルモ甚ク不完全ニシテ或ハ毫
 モ之ヲ代行スル能ハザルヲアルナリ
 此點ニ關シテモ夫ノ尋常ノ「ポリプ」種ノ動物ハ明ナル例證ヲ供
 スルナリ此等ノ袋狀ノ動物ハ内面外面相表裏スルヲ得テ然
 ル時ハ以前外面ニ在テ皮膚タリシ元素ハ入リテ胃腑トナリ又
 以前内面ニ在テ胃腑タリシ元素ハ出テ、皮膚トナリ以テ互ニ
 其職務ヲ代行スルナリ而シテ愈々高等ナル動物ニ至ルニ從ヒ
 余輩ハ斯ク職掌ヲ代行スルノ愈々難キヲ加フルヲ見ルナリ然
 レニ最モ發達セル動物ニ於テモ尙ホ幾分カ斯ク職掌ヲ代行シ

得ルヲ見ルナリ現ニ人体ノ如キモ今日ニ於テハ物質ヲ吸收スルノ職掌ハ獨リ食道ニ於テ之ヲ專行スルト雖原ト皮膚ニ於テモ物質ヲ吸收スルノ力ヲ有シタリシノ徵跡ヲ示スアルナリ即チ皮膚ノ面ニ物質ヲ摩リ付クルハ其少量ヲ内部ニ吸收スルヲ見ルナリ然レニ斯ク職掌ヲ代行スルノ作用ハ今日ニ於テモ類似ノ職掌ヲ行フ所ノ元素ノ間ニ最モ著シク現ハルヲ見ルナリ例セハ肝臟ニ於テ分泌セル膽汁ヲ排出スルノ作用妨ケラル、キアラシニハ他ノ分泌機關即チ腎臟及ヒ皮膚ハ膽汁ヲ排出スルノ道トナルナリ又食道ニ癌腫ヲ生シ爲メニ食物中途ニ停滯シテ胃腸ニ達スル能ハザル時ハ停滯セル食物ハ食道ヲ張開シ茲ニ小ナル袋ヲ生シテ不完全ナル消化器新設セラレ、ナリ然レニ斯ク僅カニ他ノ部分ノ職掌ヲ代行スルノ方ハ構造ト職掌トナ大ニ異ニセル部分ニ在テハ之ヲ有セザルナリ

左レバ種々ノ孔口ニ於テ皮膚ト接続セル粘膜ハ若シ外面ニ表出セラレ、ハ大ニ皮膚ト同様ノ性質及ヒ力ヲ現ハスト雖此物乙膜ノ如キハ然ルヲ能ハザルナリ又諸臟ニ於テ其職掌ノ一部ヲ行フ能ハザルヲアルモ骨及ヒ筋ハ之ヲ代行スルヲ能ハザルナリ

下等及ヒ高等ノ社會ニ於テモ同様ニ職掌代行ノ力ニ多少アルヲ見ルナリ民族ノ各人何レモ同様ノ生活法ヲ營ム如キ有様ニ於テハ職掌ニ不同ナキガ故ニ固ヨリ之ヲ代行ス可キ様ナシ而シテ民族中ノ武器製造ニ最モ熟練セル族員ト左程ニ之ニ熟練セザル族員トノ間ニ武器ト他物トノ交易行レテ少シク職掌ニ不同ヲ生シタル如キ場合ニ於テ若シ武器製造ニ最モ熟練セル族員ノ破壞セラル、ヲアルモ敢テ大害ヲ生セザルナリ何トナレバ他ノ族員ハ此族員ノ如クニ巧ミニ武器ヲ製造スルヲ得

スト雖能尙ホ自カラ之ヲ製造スルヲ得レバナリ加之範圍大ナル確立セル社會ノ如キニ於テモ尙ホ同様ノ事情ノ大ニ行ハルハナリ見ルナリ古昔ノメキシコ人ニ關シテズウリタ氏ノ説ニ曰ク非常ノ熟練若クハ精功ノ器具ヲ要セザル如キ手藝ハ各人皆之ヲ知レリト又ピリウー人ニ關シテアレンスコット氏ノ説ニ曰ク各人ハ皆家内生活ノ快樂ニ必要ナル手藝ハ悉ク之ヲ知ル者ト期セラレタリト左レハ此等ノ場合ニ於テハ社會ノ諸部分ハ唯僅ニ其職掌ヲ異ニスル者ニシテ互ニ其職掌ヲ代行スルノ容易ナルヲ知ル可キナリ然レモ吾人ノ社會ニ於ケルガ如クニ産業止及ヒ其他ノ點ニ關シテ高度ニ殊別セラレタル社會ニ於テハ一部分ニシテ若シ其職掌ヲ行フ能ハザル時ハ他ノ部分ニ於テ之ヲ代行スルヲ能ハザルナリ農民ノ職業ノ如キハ他ノ職業ニ比スレバ熟練ヲ要スルヲ大ニ少ナキ者ナレ尙ホ農民ガ

連合シテ其職業ヲ拒ムニ當リ市邑ノ人民ヲシテ之ヲ代行セシムルニ於テハ甚ク不完全ナラザルヲ得ザルナリ而シテ我カ製鐵事業ノ如キハ特ニ此事業ニ熟練セル職人ノ罷工スルアルニ當リ農民若クハ綿布製造ノ職人ヲシテ之ヲ代行セシムルニ於テハ殆ト全ク止息ス可シ況ンヤ立法裁判等ノ如キ更ニ高等ナル職掌ヲ炭坑夫及ヒ土工夫ヲシテ代行セシメントスルニ於テナリ其決シテ能ハザルヲ固ヨリ明ナリトス

此異同ノ理由ハ動物ニ於テモ社會ニ於テモ一ナルヲ明ナリ動物ニ於テハ或ル部分ヲ組成セル元素ガ食物ヲ吸收スルヲ若クハ液ヲ分泌スルヲ若クハ筋ヲ伸縮スルヲ若クハ刺衝ヲ通スルヲ如キ或ル一種類ノ職掌ニ局限セラレテ益々此職掌ニ適合スルニ至ルニ從ヒ益々他ノ職掌ニ適合スルノ力ヲ失フナリ而シテ社會ニ於テモ特別ノ職掌ヲ有効ニ行ハンガ爲メニ要スル

動物ト社會トカ職能上ニ於テ類同セル他ノ點

所ノ教則及ヒ研究ハ他ノ特別ノ職掌ヲ行フノ力ヲ減セシムルナリ

第二百三十七節動物ト社會トガ其職能上ニ於テ相類同セル前記ノ二要點即チ醇化ノ尙ホ進マザル間ニ於テハ分裂若クハ毀損ヲ受クルモ小不便ヲ起スニ過キスト雖ヒ醇化ノ大ニ進ミタル場合ニ於テハ爲メニ大混亂若クハ死亡ヲ起スヲ及ヒ下等ナル動物并ニ社會ニ於テハ諸部分ハ互ニ職掌ヲ代行スルヲ得ルト雖ヒ高等ナル動物并ニ社會ニ於テハ然ル能ハザルヲノ二事ノ外ニ此二者ノ職能上ニ於テ相類同セル種々ノ點アリテ若シ餘白アレバ十分ニ之ヲ詳論スルヲ得可シト雖ヒ餘白ナキヲ以テ之ヲ略セザル可カラズ

蓋シ動物ニ於テモ社會ニ於テモ諸部分職掌ノ殊別愈々確立スルニ從ヒ活力愈々増加スルナリ何レニ於テモ異ナル作用ニ適

合セル異ナル機關ノ發スル前ニハ此等ノ作用甚ダ不完全ニ行ハレ若シ互ニ各自ノ作用ヲ利用スルコトヲ獎勵スル發達セル機關ナキニ於テハ之ヲ利用スルコト極メテ少ナシトス然レモ構造ノ進歩スルニ從ヒ各部分ノ職掌益々區分セラレテ一層有効ニ其職掌ヲ行フコトナリ互ニ利益ヲ交換スルノ便増加シ各部分他ノ諸部分ヲ助ケ他ノ諸部分又各部分ヲ助ケ其相協力スルコト一段下密ヲ加ヘ遂ニ余輩カ動物若クハ社會ノ生命ト稱スル所ノ活力大ニ増加スルナリ

又職掌ノ殊別ヲ生スルニ至ル所以ニ變化ノ如キモ動物ト社會ト相類同シ此點ニ關シテモ記セザル可カラザル所多シト雖ヒ此點及ヒ動物ト社會ト相類同セル他ノ諸點ノ如キハ余輩ガ下文ニ動物及ヒ社會ノ諸大機關ノ系制ニ就キ其構造上及ヒ職能上ノ性質ヲ併セ論スル段ニ於テ之ヲ示スチ最モ好シトス

各種動物普通ノ發達法アリテ各種社會ニモ亦之ニ類同セシ普通ノ發達法アリ

第六章 機關ノ系制

第二百三十八節、醇化ノ說ハ各種動物ハ到底如何ニ相異ナル有様ニ變スルモ最初ニハ何レモ同一ノ方法ヲ以テ發達ノ端ヲ開ク者ナリト云フノ一眞理ヲ含ム者ニシテ此一眞理ハ醇化ノ說ニ關係ナクシテ確立セラレタル者ナリ相異ナル各種動物ガ共ニ經過シ來リタル第一ノ構造上ノ變化ハ各種動物ノ兒子ニ於テ又最初ニ之ヲ受クル者ナリ此事ニ關シテハ例外ニ置ク可キ場合ナキニ非ズシテ寄生動物ニ於テハ特ニ然リトスルニ雖モ此等ノ例外ノ場合ヲ除クノ外ハ此事ヲ以テ一般ノ大則トナス可キナリ

各種動物ガ共有スル此發達法ニ對シテ余輩ハ各種社會モ之ニ比ス可キ同様ノ發達法ヲ共有スルナラフヲ豫期ス可キナリ而シテ余輩ノ豫期ハ事實ニ於テ其當レルヲ證スルナル可シ

動物ニ於テモ社會ニ於テモ先ツ外部機關ト内部機關トノ殊別ヲ生ス

第二百三十九節、哲學原理及ヒ生物學之原理ニ於テ余ハ元素中

外部ニ在ル者ト内部ニ在ル者ト事情ヲ異ニスルヨリシテ起ル所ノ第一ノ構造上ノ變化ヲ說述セリ今余輩ハ最初ノ段落ハ之ヲ不論ニ經過シ之ニ結果スル所ノ最も單純ナル機關ノ系制ヲ余輩ニ示ス所ノ段落ニ就テ之ヲ論ス可シ
最下等ノ「シ」レンテラ種ノ動物ヲ組成スル所ノ元素ヲ構造ヲ見ルニ直ニ外物ニ觸ル、所ノ外層アリ又食物ノミニ觸ル、所ノ消化器ノ内面ヲ覆フ内層アリ而シテ外層ヲ組成スル元素中ヨリ感觸器ト所謂糸狀細胞體ナル者トヲ發生シ此感觸器ニ因リテ微動物ヲ捕ヘ又此糸狀細胞體ヨリ自己ヲ襲フ所ノ動物ヲ防禦スルニ用ユル微小ナル武器ヲ投出スルナリ然ルニ又内層ヲ組成スル元素中ヨリ食物ヲ溶クノ液ヲ注出シ此液ノ爲メニ溶カレタル食物ハ内層ノ元素及ヒ其他體ノ諸部分ヲ養ハシ

ガ爲メニ吸收セラレ、ナリ左レハ余輩ハ茲ニ於テ各種動物ノ構造上ニ普ク行ハル、所ノ根本ノ殊別ノ最初ノ有様ヲ見ルナリ根本ノ殊別トハ外物即チ捕ヘテ食トナス可キ動物及ヒ自己ヲ襲フ所ノ動物等ニ對スル外部機關ト此ノ外部機關カ捕ヘタル食物ヲ全体ノ資給ノ爲メニ消化スル所ノ内部機關トノ殊別是レナリ而シテ高等ナルシレンテラ種ノ動物ニ至テハ更ニ複雑ヲ加フルヲ見ルナリ此等ノ動物ニ於テハ單ニ内外各々一層アルノミニ非ズシテ内外各々二層アリ而シテ外層ト内層トノ間ニ空所ヲ生セリ此空所ハ此等ノ動物ニ於テハ消化器ト半バ相別カル、ニ過キスト雖ヒ更ニ高等ナル動物ニ至テハ此空所閉チテ囊狀ヲ成シ消化器ト全ク相別カル、ナリ即チ更ニ高等ナル此等ノ動物ニ於テハ外部ノ二層ハ体ノ外壁トナリ内部ノ二層ハ食道ヲ隔界スル所ノ内壁トナリ而シテ内外層ノ

間ノ空所ハ其吸收セル滋養質ヲ含有シ所謂包藏囊ナル者トナルナリ而シテ前段ニ記シタル動物カ有スル所ノ中間ニ元形質ヲ存スル内外ノ單層ハ高等動物ノ外部機關及ヒ内部機關ト異体同功ナルニ過キスト雖ヒ次キニ記シタル動物カ有スル所ノ中間ニ空所ヲ存スル内外ノ複層ニ至テハ高等動物ノ外部機關及ヒ内部機關ト異体同格ナリトス何トナレバ其外部ノ二層ノ發達スルニ從ヒ骸骨、神經、筋、五官、及ヒ体軀ヲ保護スルノ機關等起リ又其内部ノ二層ハ發達シテ殆ト体内ノ凹窪ヲ專占スル所ノ食道及ヒ其數多ノ附屬機關トナル者ナレバナリ社會ノ醇化ニ於テモ之ト理ヲ同スル所ノ段落ヲ示スナリ下等ノ民族ニ於テハ諸員ノ間ニ異同ヲ示スナシト雖ヒ之ヨリモ一段ヲ進ミタル民族ニ於テハ主人ト奴隸トノ階級ヲ生スルヲ見ルナリ即チ主人トハ勇者トシテ民族ノ爲メニ攻伐防禦ノ業

夫行ヒ特ニ外圍ノ力ニ對スル者ニシテ奴隸トハ特ニ内部ノ業
 ナ行ヒ主人及ヒ自己ノ爲メニ需要品ヲ供給スル者ナリ固ヨリ
 最初ニ於テハ此殊別甚ク曖昧ニシテ民族ガ重モニ野獸ニ食ス
 ル如キ場合ニ於テハ主人ハ單ニ勇者タルノミナラズシテ又獵
 夫ヲモ兼テ斯ノ如クニシテ火ニ食物供給ノ業ヲ分擔シ而シテ
 戰爭ニ於テ捕ヘタル如キ僅少ナル囚虜ヲ奴隸トシ此等ノ奴隸
 ハ産業中ノ熟練ヲ要スルコト少クシテ勞ヲ要スルコト多キ部分
 ニ服スルナリ然レモ更ニ進ンテ農業ヲ營ム有様ニ達シタル民
 族中ニ於テハ此殊別更ニ明確ヲ加フルナリ有權者ハ野ニ出テ
 奴隸ノ業ヲ監督シ或ハ其業ヲ手傳ヒ小酋長加之大酋長ノ如
 キモ往々此事ヲ爲スト雖モ尙ホ從屬者ハ直接ニ食物供給ノ業
 ニ從事シ有權者ハ食物供給ノ業ニ關シテハ之ヲ指揮スルノミ
 ニシテ其關係遠ク而シテ攻戰防戰等ノ如キ外部ノ業ニ關シテ

ハ自ラ之ヲ行ヒ又之ヲ指揮スルナリ斯ノ如ク相接スル所ノ内
 外二層ヨリ組成セル社會ノ如キモ其内外二層中ニ各々更ニ階
 級ノ異同ヲ生シテ複雜ヲ加フルニ至ルナリ蓋シ小民族ニ取テ
 ハ前記ノ如キ構造ニテ足ルト雖モ數民族ノ合併セル如キ場合
 ニ於テハ勢ヒ一層發達セル政治機關防禦機關ト又之ニ資給ス
 可キ一層發達セル産業機關ト有セザルヲ得ザルガ故ニ内外
 二層中ニ於テ夫々ニ殊別ヲ生スルニ至ルナリ即チ有權者中ニ
 ハ地方ニ從テ起ル所ノ小殊別ノ外ニ重モニ勇者ヨリ成ル所ノ
 附屬ノ階級ヲ生シ又從屬者中ニモ奴隸勞者ト自由勞者トノ殊
 別ヲ生スルニ至ルナリマレテ、ボリテシアノ或ル數社會ハ此段
 落ヲ余輩ニ示ス者ナリ又東部亞非利加ニ於テハコンゴ民族、
 「ユースト」ニグロ「民族」インランド、ニグロ「民族」ハ同様ノ小殊
 別ヲ示スナリ王及ヒ王族、貴族、平民、奴隸ノ殊別アリテ王ヨリ貴

動物ニ於テ
モ社會ニ於
テモ内外二
部ノ機關ノ
生シタル後
ハ其間ニ存
スル第三部
ノ機關生ス

族マアハ其麾下ノ從屬者ト共ニ社會共同ノ業ヲ行ヒ平民奴隸
ノ二階級ハ種々ノ業ニ從事シテ凡テ生活ノ必需品ヲ生スル
第三百四十節動物ニ於テモ社會ニ於テモ外部機關ト内部機關
トノ殊別ヲ生シタル後ハ此二部機關ノ間ニ介在シテ其協力ヲ
便ニスル所ノ第三部ノ機關ヲ生スルニ至ルナリ蓋シ外部内部
ノ機關ガ互ニ協力ヲ行ハシムルニ其間ニ存スル中介物ナクシバ
アル可カラザルナリ而シテ此二部機關ノ愈々發達スルニ從ヒ
產物ヲ運輸シ刺衝ヲ傳通スルノ機關モ亦益々發達セザルヲ得
スシテ余輩ハ事實ニ徴シテ其然ルヲ見ルナリ
前節第一ニ記シタル内外各々一層アリテ其間ニ元形質アル如
キ最下等ノ「シ」レンアラタ種ノ動物ニ於テハ内層元素ガ外層
元素ヲ捕ヘタル食物ヨリ吸收セシ所ノ滋養質ハ殆ント直接ニ

之ヲ外層元素ニ送達スルナリ然レモ更ニ高等ナル動物ニ至テ
ハ然ラザルナリ此等ノ動物ニ於テハ二層ノ外壁ト二層ノ内壁
トノ間ニ半バ之ト相別レタル空所アリテ此空所ハ消化セラレ
タル物質ノ貯蓄所トナリ四邊ノ元素ハ之ヨリシテ其養料ヲ分
取スルナリ即チ余輩ハ茲ニ於テ分配機關ノ萌芽ヲ見ルナリ而
シテ軟肉動物ニ於ケルガ如ク一層高等ナル動物ニ於テハ此空
所閉チテ包臟囊ナル者トナリ体中ニ通走スル所ノ枝管ヲ有シ
テ滋養質ヲ体ノ重モナル諸機關ニ運送シ又包臟囊ノ中央部ニ
緊縮管ナル者ヲ生シ其時々ノ鼓動ニ因リテ滋養液ノ不規則ナ
ル流動ヲ起スナリ之ヨリ更ニ發達スルニ從ヒ此包臟囊ハ益々
長キヲ加ヘ益々枝分シ遂ニ一組ノ血管トナリ而シテ其中央部
ハ心臟トナルナリ而シテ此變化ノ進ムニ從ヒ消化機關ヨリ吸
收セル滋養質ハ此等ノ血管ニ因リテ其需要ノ多少ニ應シ内外

ノ諸機關ニ分配セラレ、ナリ抑々此分配機關ナル者ハ既ニ存
 スル諸機關ノ間ニ生セザル可カラサル者ニシテ滋養質ヲ分配
 ス可キ諸部分ノ愈々遠隔トナリ愈々數多トナリ愈々密雜トナ
 ルニ從ヒ此分配機關モ亦愈々密雜ヲ加ヘ愈々岐分セザル可カ
 ラザルヲ明ナリトス

社會ニ於テモ同様ノ事起ルナリ最下等ノ社會ニ於テハ道路モ
 ナク商人モナク分配機關ナル者存セザルナリ第一ニ發スル二
 階級ハ互ニ相接シ有權者ノ所有セル奴隸ハ之ト密着スルヲ以
 テ產物ヲ運送ス可キ中介ノ機關ヲ要スルヲナク又各家族ハ皆
 ナ自ラ給シテ足レリトスルガ故ニ互ニ產物ヲ交易スルヲ要
 セザルナリ而シテ此二階級中ニ更ニ幾分ノ小殊別ヲ發シタル
 後ニ於テモ各自別々ニ其需要スル產業ヲ行フ所ノ諸民族ヨリ
 組成セル如キ社會ニ在テハ殆ト分配機關ト稱ス可キ者ヲ見ル

以上三部機
 關ノ社會ニ
 生スルハ動
 物ニ於ケル
 ト同様ノ順
 序ト理由ト
 ニ因ルナリ

能ハスシテ唯時々相集合シテ市ヲ開クアルノミ然レヒ斯カル
 諸民族ノ結合愈々進ミテ地方ニ從ヒ產業ノ異同ヲ生シ得ルニ
 至ル時ハ始テ特ニ商品分配ヲ行フ機關ヲ生シ此機關ハ或ハ單
 獨ノ行商ヨリ成リ或ハ一隊ノ行商ヨリ成リ而シテ道路ノ開達
 スルト共ニ各所ニ周布スル所ノ卸賣商人及ヒ小賣商人ヨリ成
 ル所ノ一機關トナルナリ

第二百四十一節、然ラハ則チ此三部機關ニ就テ動物ト社會トノ
 相類同スルヲ見ル可キナリ且ヤ社會ニ此三部機關ノ起ルハ
 動物ニ於ケルト同様ノ順序ト理由トニ從テ起ルナリ

社會ハ土地ヨリ物質ヲ吸收シテ生活スルナリ即チ建築新炭等
 ニ供センガ爲メニ鑛物ヲ吸收シ又食物衣服等ニ供センガ爲メ
 ニ地面ニ生スル植物ヲ吸收シ又タ人ノ飼養ヲ受ケ若クハ受ケ
 ズシテ植物等ヨリ醇化シ來ル所ノ動物ヲ吸收スルナリ而シテ

此等ノ物質ヲ取リテ之ヲ商品流動ノ幹脈ニ運送スルノ機關ニ
 渡ス者ハ社會ノ最下層ヲ組成スル元素ニシテ此最下層ノ上段
 ニ在ル元素ハ工場及ヒ製造所ニ於テ此等ノ物質ニ製造ヲ加ヘ
 テ消費者ノ需要ニ適ヒシムルナリ故ニ社會ニ於テ體軀上ノ勞
 役ニ從事スル者ハ動物ノ體ニ於テ食道ノ内面ニ在ル元素ト同
 様ノ供給ノ職掌ヲ行フ者タルヲ爭フ可カラザルナリ又各種ノ
 商品ヲ賣買シ各地方各市邑各消費者ニ達スル種々ノ管ニ沿フ
 テ之ヲ送リ斯ノ如クニシテ之ヲシテ其作用ヲ行フガ爲メニ失
 フ所ヲ補フヲ得ヒシムル卸賣小賣ノ商人等ハ動物ノ體ニ於テ
 諸機關及ヒ其元素ニ其各自ノ作用ノ多少ニ應ヒテ多少ノ滋養
 質ヲ送ル所ノ血管ト同様ノ分配ノ職掌ヲ行フ者タルヲ明ナリ
 トス又動物ノ體ニ於テ腦髓、五官及ヒ之ガ指揮ヲ受クル四肢等
 ハ消化機關ヨリ遠隔ノ地位ニ居テ迂曲セル血管ニ由リテ其養

料ヲ受クルト同シク社會ニ於テモ統制部ハ産業部ヨリ最モ遠
 隔ノ地位ニ居テ往々非常ニ迂曲セル分配ノ手續キテ經テ其需
 要品ノ供給ヲ受クルナリ
 又醇化ノ順序ハ動物ニ於テモ社會ニ於テモ相同シキヲハ明ナ
 リトス水蛇ノ如ク甚々小ニシテ且甚々不活潑ナル動物ニ於テ
 ハ内層ヨリ直接ニ滋養質ヲ外層ニ吸收スルヲ以テ足レリトス
 ルナリ然レニ外部ノ機關更ニ活潑トナリ更ニ開展スル時ハ單
 ニ近邊ノ肉ヨリ滋養質ヲ吸收スルノミニテハ消費ヲ補フ能ハ
 ザルニ至ルナリ而シテ體積愈々大テ加ヘ隨テ滋養質ヲ製造ス
 ル分部ト之ヲ消費スル分部ト愈々相隔離スル時ハ茲ニ至テ運
 輸ノ機關ノ必要ヲ生スルナリ未タ外部機關ト内部機關トノ殊
 別ヲ生セザル前ニ在テハ第三部ノ機關ハ行フ可キノ職掌ヲ有
 セザルナリ而シテ外部機關ト内部機關トノ殊別ヲ生セシ後ハ

此三部機關ハ第三部機關ノ同様ニ發達スルニ非ザレバ獨リ發達スルコト能ハザル也社會ノ醇化ニ於テモ余輩ハ其事一ナルヲ見ルナリ互ニ相密着セル有權者ノ階級ト奴隸ノ階級トノミ存スル場合ニ於テハ產物ヲ運送スルノ機關ヲ發ス可キノ地ナキナリ然レモ社會大ニ加ヘ種々ノ統制ノ職掌ヲ行フ種々ノ階級起リ異ナル地方ニ於テ異ナル產業ヲ行フニ至ルニ及ンデハ分配機關ヲ發ス可キノ地ヲ生スルノミナラズ此機關ノ發達スルニ非ザレバ社會ハ成長シ且密雜ヲ加フル能ハザルナリ今此等ノ三部機關ノ關係ヲ論シタルヲ以テ余輩ハ是ヨリ別々ニ此三部機關ノ醇化ヲ論ス可シ

第七章 供給系

第二百四十二節 動物ニ在テハ消化ヲ行フ部分及ヒ社會ニ在テハ產業ヲ行フ部分ハ共ニ全体ヲ養フノ職掌ヲ行フ者ニシテ是

動物ニ於テモ社會ニ於テモ場所ニ

從テ供給系ノ職掌ニ殊別ヲ生ス

レ即チ各自ノ供給系ナリ而シテ此等ノ部分ハ動物ニ於テモ社會ニ於テモ相同シキ一定ノ法律ニ從テ殊別ヲ生スル者ニシテ此等ノ法律中ニテ最も普通ナル者ハ場所ニ從テ殊別ヲ生スルニ是ナリ植物ニ於テ此法律ヲ行ハルニ示スノ一例トシテ地下ノ部分ト地上ノ部分ト其職掌ヲ異ニスルコトヲ記ス可シ即チ地下ノ部分ハ水素及ヒ礦物質ヲ吸收シ地上ノ部分ハ日光ニ助ケラレテ空氣中ヨリ炭素ヲ吸收シ互ニ其職掌ヲ異ニスルナリ職掌ノ此殊別ハ原ト二部分ガ外物ニ對スル關係ノ異ナルヨリ起リシ者ナルコトハ試ミニ不透明ナル木皮ヲ以テ覆ハレザル如キ植物ノ根ヲ地上ニ出ス時ハ綠色トナリ炭素ヲ吸收スルニ至リ又之ニ反シテ植物ノ枝ヲ曲ケテ地下ニ埋ムル時ハ根ヲ生スルニ至ルノ事實ヲ以テ之ヲ證ス可キナリ即チ植物ノ此二大部分ガ全

体ヲ養ハシガ爲メニ行ク所ノ職掌ニ此殊別ヲ生スル者ハ事情
 ノ異同ノ然ラセシムル所ナリト云フ可キナリ動物中ニテハ「エシ
 ト」類ノ或ル動物ニ如キハ滋養物質中ニ埋存シ其体ノ外面
 ヲリ養料ヲ吸收スルニ雖モ其他ニ般ノ動物ニ於テハ体ノ外面
 ハ消化ノ職掌ニ與カテザルナリ既ニ論セシガ如ク第一ニ内外
 層ノ殊別起リテ外層ニ保護膜ヲ職掌ニ專行シ内層ハ吞
 込ミタル食物ヲ消化スルニ職掌ニ專行スル也而テ余輩ハ茲ニ
 於テ食道ノ諸部分ガ其食物ニ對スル關係ヲ異ニスルニ從ヒ其
 行ク消化ノ職掌ニ殊別ヲ生スルニテ論セザル可カラズ夫ノ下
 等動物ガ有スル如キ形ニモ職掌ニモ殊別ナキ單純ナル消化管
 下鳥若クハ胎生動物ガ有スル如キ職掌ニ大殊別アリ小殊別ア
 ル所ノ密雜ナル消化機關ト對照セハ以テ醇化ノ作用ノ大概
 ナ知ル可キナリ初メ食物ヲ吞込キ固形体トシテ以テ先ツ之

ナ碎塊セザル可カラズ故ニ碎塊ノ仕掛ヲ具フル如キ動物ニ於
 テハ此仕掛ハ食道ノ入口若クハ其入口ノ近邊ニ左ルナリ即チ
 高等動物ハ齒ヲ具ヘ又鳥ノ如キハ胃中ニ碎塊ノ仕掛ヲ具フル
 ナリ斯ク碎塊セラレテ胃中ニ投セラレタル食物ハ尙ホ体ノ諸
 部分ニ吸收スルニ適キザルヲ以テ食道ノ次キ部分ニ消化液
 ヲ分泌スル腺ヲ有スル所ノ緊縮囊アリテ更ニ之ヲ溶解スルノ
 職掌ヲ行フナリ又此緊縮囊ニ於テ製造セラレタル柔軟ナル物
 質ハ食道ノ次キノ部分ニ至テ更ニ他ノ作用ヲ受クルナリ然レ
 モ最早之ヲ碎塊ヲ溶解スルニ要セザルヲ以テ次キニ行フノ職
 掌ハ吸收ニ適キシメシメガ爲メニ分泌液ヲ注クニ在リ而シ
 テ製造ノ作用既ニ完了シタル後ハ之ヲ吸收スルノ外ナキ故
 ニ其吸收ニ得可キ有機トナシテ又食道ニ附屬セル諸大腺ノ如キモ
 吸收スルノ職掌ヲ行フナリ又食道ニ附屬セル諸大腺ノ如キモ

同様ノ理ニ因リ職掌ノ殊別ヲ生スルヲ行フ所ノ諸種ノ産業ガ
 社會ニ於テモ相合メ全体ヲ養フノ職ヲ行フ所ノ諸種ノ産業ガ
 地方ニ從テ殊別ヲ生スル者ハ同様ノ理ニ因リ然ルヲ蓋シ
 社會ノ占ムル地域中ニ於テ有機無機ノ外勢ハ通常各地方相同
 シカラスシテ社會ノ供給系ハ地方ニ從ヒ其遭遇スル所ノ外勢
 ナ異ニスルガ故ニ始メテ各地方産業ノ殊別ヲ生スルナリ又次
 キニハ斯ノ如クニシテ一地方ノ産業既ニ定マル時ハ隨テ其近
 邊ニ於テ該地方ノ產物ヲ特ニ要スル如キ他ノ産業ヲ生スルナ
 リ而シテ右第一ノ原因ヨリ起ル産業ノ殊別ハ半開民族ニ於テ
 モ之ヲ示スナリジャンクソン氏ハフイロ諸島中ニテ或ハ木造ノ
 器具ヲ製スルニ有名ナル者アリ或ハ蓆及ヒ籠ヲ製スルニ有名
 ナル者アリ或ハ壺及ヒ顔料ヲ製スルニ有名ナル者アルヲ記
 セリ而シテ此殊別ノ原因ハ諸島産スル所ヲ異ニスルニ在ルナ

リ又タルナリ氏ノ説ニ據レバサモアニ於テハ網ヲ製スルコトハ
 重モニ内地ノ村落ノミニ限レリト云ヘリ而シテ氏ハ内地村落
 ハ網ヲ製スルニ用ユル材料ノ產所ニ近接スルニ因ルナリトナ
 セリ亞非利加ノ少シク進歩セル諸社會ニ於テモ同一ノ原因ヨ
 リ同一ノ殊別ノ起レルコトヲ示セリプロヤイト氏ノ説ニ據レハ
 ロアンゴトニ於テハ海岸ニハ漁獵ヲ常職トスル漁夫アリト云
 フ又海ノ近邊ニ住シ海水ヲ火上ニ蒸發セシメテ鹽ヲ製スル者
 アリト云フ然ラバ此等ノ職業ノ起リシハ地方ノ之ニ便ナルニ
 因リト明カニシテアシントンノ市邑ガ特ニ陶器製造ニ從事ス
 ルガ如キモ同様ノ理ニ因ルナリ亞米利加ノ滅絶セル諸社會ハ
 更ニ數多ノ同様ノ例證ヲ示スナリロトレンズナ氏ノ説ニ曰ク
 イグスタバルガ及ヒイクスタバラバ地方ノソキニコ人ハ大ニ
 硝石ノ商賣ヲ行ヒ且此等ノ地名ハ硝石ノ集マリタル場所ヲ意

味スルナリト又クラジグロイ氏ノ書ニ於テチョールラノ陶工、
 ナシカノンノ石工、キイトラヒニアクノ漁夫、ホチエミルコ
 等ノ語ヲ讀ム時ハ余輩ハ此等ノ職業ガ之ニ自然ノ便利アル場
 所ニ起リシコトヲ疑フ能ハザルナリ又古昔ノピリウイ人ニ關ス
 ル同様ノ例證中ニテガレシラツソノ氏ノ説ヲ擧ク可シ曰ク靴
 ハ「アロ」木ヲ最モ多キ地方ニ於テ之ヲ製セシナリ何トナレバ
 靴ハ「アロ」木ノ一種ナル「マグアイ」木ノ葉ヲ以テ之ヲ製スル者
 ナレバナリ又武器ノ如キモ之ガ製作ニ用ユル材料ノ最モ多キ
 地方ニ於テ製作セラレシナリト而シテ以上ノ諸例證ハ前記法
 律ノ普通ナルコトヲ示シ吾人ノ間ニモ同様ノ事實アルコトヲ想起
 セシムルナリ蓋シ吾人ノ間ニ於テモ海岸ニ住スル人口ハ其位
 置ノ爲メニ直接若クハ間接ニ海業即チ漁獲、航海、造船等ノ職業
 ニ從事スルコトナリ又或ハ海岸ノ市邑ハ其地形ノ爲メニ商品

輸出入ノ場所トナリ又内部諸地方ノ人口ハ夫々ニ其地味ト氣
 候トニ適スル如キ食物ヲ專ラ耕作シ而シテ近邊ニ之ガ材料ア
 ルトハ或ハ石若クハ磐石ヲ切出シ或ハ瓦ヲ製造シ或ハ礦物ヲ
 採掘スル等ノ業ニ從事スルナリ次キニハ右第一ノ殊別ニ因リ
 テ更ニ第二ノ殊別ヲ生スルコトハ前文ニ於テ既ニ之ヲ豫示セシ
 ガ如シ製造所ノ如キハ水力ノ便アル場所ニ集聚シ然ラザレバ
 石炭多クシテ蒸氣力ヲ廉ナラシムル如キ地方若クハ其近邊ニ
 集聚スルナリ又二種ノ材料ヲ要スル如キ産業ハ此二種ノ材料ノ
 産所ノ遠近ニ因リテ其場所ヲ定ムルナリ例セハストウルブリ
 ツツ及ヒ其近邊ニ製釘事業ノ行ハルコトノ類ニシテ該地方ハ鐵
 ノ産所ニモ石炭ノ産所ニモ近キナリ又多種ノ鐵器ヲ製造スル
 ビルミンガムノ如キモ同様ニ鐵及ヒ石炭ノ産所ニ近ク又綿布
 ナ製造スルマンチエスターノ如キモ綿花ヲ輸入スル港ト石炭ノ

產所トニ近接シ又乃物ヲ製造スルニツフィールドノ如キモ水力
 ナ與フル所ノ五條ノ水流ヲ有シ鐵、石炭、木炭等ノ產所ニ近接ス
 ルノミナラズ世界第一ト稱セラレタル砥石ト爲ス可キ石ヲ有
 スルナリ抑々此等ノ事實ハ世人ノ熟知スル所ナリト雖也之ヲ
 熟知スルノ故ヲ以テ此等ノ事實ニ緊要ノ趣味アルコトヲ看過ス
 可ラザルナリ

動物ニ於テ
 モ社會ニ於
 テモ供給系
 ハ統制系ノ
 區畫ニ關係
 セズシテ發
 達ス

第二百四十三節、體ヲ養フニ要スル所ノ物質ヲ製造スルコトニ從
 事スル供給系ガ場所ニ從テ其職掌ノ殊別ヲ生スルコトニ關シテ
 動物ト社會トガ共有スル今一ノ性質アリ即チ供給系ハ更ニ別
 種ノ須要ニ應シテ統制機關トハ異ナルノ方法ニ從テ分化シ發
 達スルコト是ナリ
 此共有ノ性質ハ最初ニハ數箇ノ同様ナル別體ヨリ連成シ漸次
 ニ凝固シテ一體トナル如キ動物及ヒ社會ニ於テ最モ明ニ見ル

可キナリ而シテ動物中ニ在テハ關節類ノ動物ガ此變化ト及ヒ
 之ト同時ニ起ル他ノ諸變化トハ最モ能ク示スナリ例セハ「シル
 リス」動物ノ如キ下等ノ游泳的ノ蠕蟲ニ於テハ之ヲ組成スル所
 ノ各關節ハ節々何レモ同様ノ構造ヲ有スルナリ即チ各節共ニ
 食道ノ張開ヲ有シ緊縮管ヲ具ヘタル大血管ヲ有シ二重ノ神經
 線ヲ有シ又其神經節ヲ有スル如キ者ニ在テハ各節共ニ之ヲ有
 シ又各節ハ他ノ諸節ト同様ニ神經幹及ヒ幹脈ヨリ發スル所ノ
 枝管ヲ有シ又各節同様ニ一組ノ筋ヲ有シ其體壁ニ於テニ對ノ
 孔口ヲ有シ加之生殖器ノ如キモ各節別々ニ之ヲ有スルナリ又
 外部ヨリ觀察スルモ各節別々ニ同様ノ運動器ヲ有シ又別々ニ
 同様ノ體ヲ有シ加之或ル場合ニ於テハ各節何レモ一對ノ目ヲ
 有スルナリ然レモ甲虫及ヒ羽虫ノ如キ一層高等ナル關節動物
 ニ在テハ之ヲ組成スル所ノ各關節ハ更ニ相凝固シ其或ル者ニ

至テハ全ク相混和シテ其區分ヲ見ル能ハザル者アリテ其消化
 機ハ各關節ニ對スル最初ノ關係ヲ失フヲ見ルナリ夫ノ飛蛾及
 ヒ滑虫ノ如キハ肚腹ノ外面ニ於テハ尙ホ關節ノ跡ヲ存スルト
 雖モ消化ヲ行フ所ノ内部ノ構造ニ至テハ前記ノ蜻蛉ニ於ケル
 ガ如ク各節別々ニ同様ノ構造ヲ有スルニ非ズシテ口胃、胃腑、腺、
 腸等ハ或ハ二節ニ通スルアリ或ハ三節ニ通スルアリ或ハ四節
 若クハ其以上ノ數節ニ通スルアルナリ然ルニ統制ヲ行フ所ノ
 神經節ハ此等ノ動物ニ於テハ各關節ニ對スル最初ノ關係ヲ失ハザルナ
 呈スルト雖モ決シテ各關節ニ對スル最初ノ關係ヲ失ハザルナ
 リ飛蛾ニ於テハ外部ノ作用ヲ統制スル外部ノ神經節ハ大ニ位
 置ヲ變シテ相混和スルト雖モ肚腹ノ各關節ニ在ル神經節ハ依
 然トシテ從前ノ位置ニ存シ唯稍々小トナリシノミ
 小社會ノ合併ニ成レル大社會ノ產業機關ニ於テモ同様ノ事

起ルナリ即チ產業機關ハ政治上ノ大小ノ區畫ニ關係セズシテ
 延張スル者ニシテ吾人ノ間ニ此事ノ數多ノ例證ヲ有スルナリ
 余輩ハ先ツ農業部中ニ於テ或ハ專ラ穀物ノ耕作ニ從事スル地
 方アリ或ハ專ラ牛ノ牧蓄ニ從事スル地方アリ或ハ山岳地方ニ
 於ケルガ如ク專ラ羊ノ牧蓄ニ從事スル地方アリ此等ノ殊別
 ハ毫モ州ノ區畫ニ關係セザレトテ記シ次キニハ諸種ノ製造ニ
 從事スル地方ノ範域ハ從前ノ政治上ノ區畫及ヒ今後ノ政治上
 ノ區畫ニ毫モ關係ナキヲ特記ス可シ吾人ハウイスター州、ス
 ヲツフォルド州、ウーリツキ州ニ袴レル製鐵地方ヲ有シ又綿布製
 造地方ノ如キモランカ州ニ局限セラレズシテデルピール州ノ北
 部ニ袴リ又ニウカツスル及ヒダラムノ近邊ノ石炭及ヒ鐵ヲ出
 タス地方ノ如キモ其ノ事一ナリトス而シテ之ヨリモ一層小ナ
 ル政治區畫及ヒ產業區畫ニ就テ考フルモ又相同シキナリ製造

ニ從事スル市邑ハ區ノ境界ニ關係セズシテ延張シ加之一製造所ノ家屋數區ニ倚ル者往々ニシテ之アリトス又之ヲ大ニシテハ我大都府ノ如キモ同様ノ事實ヲ示スナリ即チ倫敦府ノ如キハ數多ノ區ニ倚リミッドルセツキストサレトノ境界ノ爲メニ妨ケラルレヨナクシテ益々延張スルナリ加之國界ト雖モ時トシテハ産業機關ガ斯ク延張スルヲ妨クル能ハサルナリ例セハハラム氏ノ記セルガ如ク羊毛製造地方ガフランデルライオン河畔ニ沿ヒテ佛蘭西ノ北部ニマデ延張セル事實ノ如キ是ナリ然ルニ統制機關ニ至テハ其相互ノ大小輕重ニ於テハ大ニ變スルアルモ産業機關ノ如クニ各區畫ニ對スル最初ノ關係ニ失ハザルナリ我州郡ノ地方統制機關ハ依然トシテ昔時ノ獨立ナル政府ヲ今日ニ代表スル者ナリ蓋シ昔時ニ於テハ我英國ノ州郡ハ侯侯ノ支配ニ屬シタル領地ニシテ侯侯ノ權力ノ多少

ニ應シテ州ニ大小アリシナリスタウプス氏ノ說ニ曰ク現時ノ州郡ノ制度ハ古昔ウエスト、サキソン「征克」ノ時ニ立テタル地方區ノ制度若クハノルシテ王國ガ西方ニ向テ延張スルニ從ヒ該王國ニ合併セラレタル古昔ノ殖民地ノ區畫若クハ「ウエスト、サキソン」家ノ王ガ自州ニ行レタル方法ニ從ヒ英陸全地ノ區畫ヲ改メタル時ノ制度ヲ代表スル者ナリ「下又古昔佛蘭西ノ地方ヲ占メタル夫ノゴールノ八十ノ小州ニ關シテド、クトランサエト氏ノ說ニ曰ク此等ノ古來ノ小州ハ羅馬人ノ爲メニモ日耳曼人ノ爲メニモ封建制度ノ爲メニモ王政ノ爲メニモ破ラレザリキ」ト而シテ此等ノ小州ハ佛蘭西革命ノ時ニ至ルマデ州及ヒ郡即チ地方小政區トシテ依然存續セシナリ（按）古昔英蘭島ハ七州ニ分レタス「州」即チ「ウエスト、サキソン」州ノ爲メニ統ニセラレタル「ウエスト、サキソン」征克ト云フ而シテ「ウエスト、サキソン」州ノ王ノ血統ヲ家ト云フナリ

以上共有ノ性質ヲ更ニ大體上ヨリ論ス

第二百四十四節、動物ノ供給系ト社會ノ供給系トガ其發達上ニ現ハス所ノ以上共有ノ性質ハ其趣味ヲ十分ニ了解センニハ更ニ大體上ヨリ之ヲ論セザル可カラズ

大體上ヨリ之ヲ言フハ動物ノ供給系ノ醇化ノ法律トハ何ノ消化機關全部ノ構造ト職能トガ香込ミテ之ト相觸ル、所ノ物質即チ動物物質若クハ植物物質ヲ取扱フニ適スルニ至ルヲ及ヒ消化機關ノ諸部分ガ夫々ニ前部ノ作用ヲ受ケ來リタル此等ノ物質ヲ取扱フニ適スルニ至ルヲ是ナリ更ニ他語ヲ以テ之ヲ言フハ消化機關全部ノ一般ノ性質及ヒ其諸部分ノ特別ノ性質ハ消化機關ガ其作用ヲ施ス可キ體ノ養料トナル所ノ外物ノ如何ニ因テ定マルト是ナリ然ラバ又大體上ヨリ之ヲ言フハ社會ノ供給系ノ醇化ノ法律トハ何ゾヤ産業機關ノ全部ノ職能ト構造トハ職人ト相觸ル、所ノ礦物、植物、動物ノ如何ニ因テ定マル

動物ニ於テモ社會ニ於テモ分配系ヲ發達スルニ非サレバ他ノ諸系獨リ

一及ヒ産業機關ノ諸部分ノ別異ノ職掌ハ其諸部分ガ取扱フ所ノ有機無機ノ地方產物ノ如何ニ因テ定マルト是ナリ

左ノハ産業機關ノ職掌ノ殊別ハ種々ノ度ト種々ノ利益トヲ以テ消費品ヲ供スル有形外物ノ如何ニ因テ定マルト雖ニ統制系即チ政治機關ノ職掌ハ此ノ如クニシテ定マラザルヲハ余前節論辨ノ際ニ之ヲ一言シ置キタリ而シテ供給系ト統制系ト此點ニ於テ相異ナル所以ノ理ハ後文統制系ノ醇化ヲ論スルノ章ニ於テ之ヲ示ス可シ

第八章 分配系

第二百四十五節、第六章ニ於テ統制供給分配ノ三大系ノ關係ヲ略論セシキ動物ニ於テモ社會ニ於テモ分配系ノ同様ニ發達スルアルニ非サレバ獨リ供給系若クハ統制系ノ發達スル能ハザルヲ示セリ蓋シ別々ニ自カラ給スル如キ諸民族ノ薄弱ニ

發達スル能
ハズ

結合セル社會が進マテ産業ノ殊別ヲ生シタル強固ニ結合セル社會トナラシムルハ商品ヲ運送スル機關ノ發スルニ非ザレバ能ハズ。ザルコトハ猶ホ動物ニ於テ各自同様ナル多脚物ノ群集が進マテ「ドレイノス」種ノ動物ニ見ルガ如キ結合ヲ得シムル消化器ニシテ體ノ諸部分ニ滋養質ヲ分配スルノ機關發スルニ非ザレバ能ハズ。然ルガ如キノミ中古ノ社會ノ如キノ各々其境內ニ特別ノ首長ヲ有スルノミナラズ又諸種ノ職人商人等ヲ有スル所ノ殆ト獨立ナル數多ノ小州ヨリ成リシ者ニシテ此等ノ社會ハ恰モ關節類ノ動物が各々特別ノ神經節ヲ有スルノミナラズ又肢體、總及ヒ食道ノ張開等ヲ有スル所ノ數多ノ關節ヨリ組織セラレバニ同シキナリ故ニ此等ノ社會ガ地方ニ從テ産業ヲ異ニセル強固ニ結合セル社會トナラシムルハ道路及ヒ商人ノ階級起ルニ非ザレバ能ハズ。然ルコトハ猶ホ關節類ノ動物ガ部分及作用ニ種々ノ不

動物及ヒ社會ノ分配系ハ其發達ノ諸段落ニ於テ相類同ス

同アル甲虫若クハ羽虫トナラシムルニハ中央ノ血管發スルニ非ザレバ能ハズ。然ルガ如キノミ

左ノハ余輩ハ右記スル所ヲ以テ動物ノ分配系ト社會ノ分配系ト其發達ノ諸段落ニ於テ相類同セルコトヲ暗示セル者ナリ

第二百四十六節「アポトメア」類ノ「メオポット」種ノ動物ニ於テハ部分ト部分トノ間ニ運輸ノ管ヲキナリ蓋シ諸部分互ニ相近接シ諸部分ノ行ハ職掌相同シク且諸部分ノ位置常ニ變スルガ故ニ分配系ニ要セス又分配系發スルコト能ハザルナリ加之「ミギン」ミゼチ「大」種ノ動物ノ如キノ其體甚ク大ナリト雖モ尙ホ其諸部分ニ不同ナク滋養質ノ流通ス可キ管ヲ有セザルナリ下等社會ニ於ケルモ斯ノ如シ小ニシテ且移住シ分業ノ行レザル如キノ民族中ニ於テハ分配ノ機關發スル能ハザルナリ一群集ハ十二

三人若クハ二十四五人ヨリ成リテ此等ノ人々ハ相往來スルコト極メテ稀レニシテ且不定ナルガ故ニ小屋ト小屋トノ間ニ殆ト足跡ヲ遺スコトナク又斯カル民族ハ屢々移住スルガ故ニ其一時ノ住所ニ於テ纔カニ起ラントシタル細徑モ忽チニシテ荆棘ノ覆マ所トナリ又斯カル民族ノ一所ニ定住セル時ト雖モ廣ク相離散シ各自ノ職業不同ナキハ人々相往來スルコト稀レニシテ未キ足跡ヲ遺スニ足ラザルナリ然レニ年集成全体ノ諸部分ガ互ニ相異ナル事情ニ接シ互ニ相異ナル職業ヲ行フキハ全体ノ益々成長スルニ從ヒ益々發達スル所ノ運輸ノ機關ヲ有セザル可カラザルナリ夫ノ水蛇ノ如キハ二層ノ壁ヲ以テ覆フ所ノ囊ニ成リ内層ヲ吸收セル滋養質ニ別ニ見ル可キノ孔口ナクシテ外層ニ達スルナリ憶フニ最初ニ最モ抵抗ノ少ナキ如キ部分ヲ經テ達シ斯ク一トトモトモ通路ノ

開クルキハ常ニ是ニ由リテ達シ隨テ此通路ハ益々通行シ易キニ至ルコトナル可シ而シテ胃腸ヨリ隔離セル部分アル如キ更ニ大ナル動物ニ至テハ始テ岐分セル胃腸ヲ發スルナリ即チ食物ヲ通ス可キ凹窪ノ体中ニ岐分セルアルナリ「メヂュト」種ノ動物及ヒ「アテ」種ノ動物ニ於テハ斯カル凹窪アリテ之ニ由リテ粗生ナル滋養質体中ニ分配セラル、ナリ然レニ低サレタル滋養質ヲ入ル、所ノ夫ノ包臟囊ヲ有スル如キ更ニ高等ナル動物ニ至テハ分配機關ノ萌芽タル此包臟囊ハ中央ノ凹窪トナリテ之ニ由リテ体中ニ通走スル枝管分出スルナリ蓋シ此等ノ枝管ハ初メ滋養液ガ体ノ諸部分ノ爲メニ吸引セラレテ通行セシヨリ起リ爾後屢々通行スルニ遂ニ永久ノ通路トナリシ者ナル可シ動物ニ於ケルガ如ク社會ニ於テモ運輸ノ道路ハ初メ通行セシガ爲メニ起リ而シテ此道路ハ其後ノ通行ヲ便ニスルナリ即

チ通行スル一回路ヲ加フル毎トニ益々爾後ノ通行ヲ容易ナラシムルナリ時トシテハ動物ノ開キタル線路ヲ通行スルヲアリ例セバ「チガ」民族ノ如キハ野獸ガ叢林ノ間ニ開キタル線路ヲ通行スルト云フ而シテ人ノ開キタル道路ノ如キモ最初ニ於テハ動物ノ開キタル線路ニ殆ト優サルヲキナリタキソン氏ノ説ニ據レバベキニアチ民族ノ道路ハ驢馬及ヒ於羊ノ開キタル道路ト區別スルヲ難シト云フボルトソ氏ノ説ニ曰ク東部亞非利加ニ於テハ最モ屢々通行スル道路ト雖モ踏ミ開キタル足跡ニ過キスシテ山羊ノ通路ニ同シト加之アピシニアニ於テモバトキゾス氏ノ説ニ據レバ大道ト稱スル者ト雖モ人ノ屢々踏ミ付ダタル足跡ニシテ之ヲ通行スル足數ノ多キガ爲メニ羊ノ通路ニ比スレバ稍々大ナルヲミナリト云ヘリ而シテ互ニ屢々交通チ行フ所ノ市邑ト生ゼシ如キ更ニ進歩シタル社會ニ於テモ最

初ノ路ハ障礙ニ少ナキ部分ヲ屢々通行シテ不知不識踏ミ開キシ者ニ過キザルナリボルトソ氏ハベキニアチノ舊都府ト新都府トノ間ノ道路ヲ形容シテ曰ク此道路ハ單ニ一人ノ通行シ得可キ數條ノ足跡ニ成レル者ニシテ或ハ數條ノ足跡相併行スルアリ或ハ其互ニ斜ニ相横キルアリ余ハ僅カニ二三ヤードノ幅員ノ中ニ十二條乃至十八條若クハ二十條ノ足跡アルヲ數ヘ下等動物ニ於テハ滋養液ハ肉中ノ最モ透入シ易キ部分ニ由リテ通行シ更ニ進ミタル動物ニ於テハ曖昧ナル通路開ケ滋養液ハ此通路ニ由リテ時々ニ徐々ナル運行ヲ爲シ遂ニ一層高等ナル動物ニ於テハ一定ノ境壁ヲ有スル血管アリテ血液ハ是ニ由リテ絶ヘズ流通スルニ至ルナリ而シテ前ニモ説キシガ如ク真正ノ血管ハ中央ノ部ヨリ起リテ四方ニ延張スル者ナルガ故ニ

先ツ第一ニハ包臟囊ノ中ニ開キタル兩口ヲ有スル所ノ短管ヲ
 生シ此管ノ鼓動ニ因リテ周邊ノ血液或ハ其一口ニ入り或ハ其
 他ノ一口ニ入りテ絶ヘズ攪擾セラレ、ナリ而シテ此初成ノ心
 臟ハ漸次ニ延張シテ枝管ヲ生シ遂ニ一組ノ血管ヲ成スニ至ル
 事リ社會ノ分配機關ニ於テモ同一ノ事起ルナリ最初ニ於テハ
 道路ハ凡テ一定ノ境界ヲ有セズト雖モ往來ノ最モ繁ナル部分
 ニ於テ先ツ一定ノ境界ヲ生スルナリ東部亞非利加ノ道路ハ多
 クハ山羊ノ通路ノ如キ者ナリト雖モポルトン氏ハ該地ノ道路
 ニ關シ記シテ曰ク田畑及ヒ村落ノ多キ邊ニ於テハ盜倫及ヒ陷
 ミ荒ラシテ防カンガ爲メニ或ハ粗ナル生増ヲ造リ或ハ木幹ヲ
 横タヘ或ハ粗ナル木柵ヲ設ケ以テ道路ノ境界ヲ立テタリト又
 ダホミシレノ道路ノ如キモ多クハ足跡タルニ過ギズト云フト雖
 モポルトン氏ノ説ニ據レバ海岸ニ達スル道路ハ二三ノ場所ヲ

除クノ外ハ一輪車ヲ通スルニ足リ都府ト都府トノ間ノ六七英
 里ノ道路ノ如キハ其廣キハ英國ノ最モ廣キ道路ニ比シテ敢テ
 讓ラズト云フ又アッシュントンノ都府ニハ廣クシテ且清潔ナル街
 道アリテ都府ヨリ遠隔ナル地方ニ向テ代々ノ諸王ガ森林ヲ切
 リ開キテ造リタル八條ノ官道アリト云フ憶フニ此等ノ官道ハ
 足跡ノ爲メニ起リタル最始ノ道路ニ代ヘン者タルニ疑ヒナキ
 ナリ羅馬人ガ英國ニ開キタル道路ノ如キハ英國諸地方ノ開化
 ニ因リテ起リシ者ニ非ザルガ故ニ之ヲ例外ニ置クハ英國ノ
 歴史ニ於テモ分配ノ機關ガ先ツ中央ノ部ヨリ發達セルイノ實
 證ヲ示スナリ蓋シ倫敦ノ中央ノ街道ニ石ヲ敷クイハ十一世紀
 後マデハ起ラザリキ而シテ十五世紀ノ初年ニ於テハ石ヲ敷キ
 タル街道大ニ延張シテホルンニマデ達シ十六世紀中ニハ
 更ニ延張シテ郭外ノ或ル場所ニマデ達セリヘンリト八世ノ時

ニ於テハ道路ノ泥濘深クシテ旅行ス可カラザルニ至ル時ハ之ヲ廢シ新クニ一條ノ足跡ヲ求メテ道路トナセシナリ而シテ一千七百五十年ニ至ルマデハ倫敦ヨリ北部ニ達スル大道ハ百英里間ハ善良ナル道路ニシテ關門ヲ設ケテ道路ノ修繕ニ供セシガ爲メニ旅人ヨリ通過稅ヲ徵收シ百英里以北ノ道路ハ粘土ヲ以テ兩側ヲ界シタル荷馬ノ通行ス可キ狹隘ナル高道ニ過ギザリキ此時ニ當リテハ英蘭ノ北部及ヒ中部ノ道路ハ多クハ未ダ一定ノ境界ヲ立テザリシナリ而シテ石片ヲ敷テ道路ヲ改良スルノ方法ハ當世紀ノ發明ニ係リ先ツ往來ノ最モ繁ナル重モタル街道ヨリ始マリ漸次ニ地方ニ達スル大道ニ及ヒ次キニハ各區間ノ道路ニ及ヒ遂ニ私道ニ及ヒシ者タルヲ見ル可キナリ今一ノ類同ノ點ヲ記セシ蓋シ交通ノ愈々繁ク加フルニ從ヒ道路ノ外ニ鐵道ナルモノ起リ此鐵道ハ一線路ヲ以テ往返ノ兩川

ニ供スルニ非スシテ通常ハ往返ノ兩用ニ供ス可キ二線路ヲ有スルナリ是レ恰モ高等ナル動物ニ於テ動脈靜脈アリテ動脈ニ由リテ血液中央部ヨリ流出シ靜脈ニ由リテ血液中央部ニ流入スルガ如キナリ又動物ノ完全ナル分配系ニ於テハ中央ノ大血管ハ最モ直線ニシテ之ヨリ岐分セル第二ノ諸血管ハ稍々迂曲シ更ニ之ヨリ岐分セル第三ノ諸血管ハ一層迂曲シ遂ニ毛細管ニ至テハ最モ迂曲セリ之ト同シク社會ノ分配系ニ於テモ鐵道ハ最モ直線ニシテ大道ハ稍々迂曲シ各區間ノ道路ハ一層迂曲シ遂ニ原野ノ車轍ニ至テハ最モ迂曲セリ更ニ今一ノ類同ノ點アリ數多ノ軟肉動物ノ如キ大ニ發達セル動物ノ分配系ニ於テハ中央ノ動脈ハ筋ヲ以テ之ヲ被覆シ内面ニハ細胞體ヲ敷キ稍々完全ナル者アリト雖モ四邊ノ枝管ニ至テハ依然トシテ不完全ナル有様ニ止マリ其枝管ノ端末ハ下等動物ト異ナラザルナ

リ之ト同シク發達セル社會ノ分配系ニ於テモ中央ノ重モナル
 道路ハ一定ノ境界ヲ有シ表面モ堅固ニシテ繁ナル往來ニ耐ユ
 ルニ足ルト雖比之ヨリ岐分セル往來ノ更ニ繁ナラザル道路ハ
 其構造之ニ劣リ愈々岐分スルニ從テ愈々不完全トナリ遂ニ其
 端末ニ至テハ或ハ原野及ヒ森林ヲ走リ或ハ沼澤ヲ渡リ或ハ山
 岡ヲ越ユル所ノ境界モナク敷石モナキ細經トナリ唯農車、馬、徒
 歩者ヲ通シ得ルニ過キザルナリ
 動物ニ於テモ社會ニ於テモ外敵ト争フ可キ機關ノ大ニ發達ス
 ルニ從ヒ内部ノ運輸ヲ職トスルノミナラス半バ若クハ重モニ
 供給部ヨリ此等ノ機關ニ物質ヲ運輸スルヲ職トセル分配機
 關ノ起ルニ至ルガ如キモ亦之ヲ記セザル可カラズ大ナル神經
 系及ヒ筋ヲ有スル如キ動物ニ於テハ諸臟ヨリ腦髓及ヒ四肢ニ
 血液ヲ運輸ス可キ動脈ハ一ノ臟ヨリ他ノ臟ニ血液ヲ運輸ス可

物質ノ体中
 ニ運行スル

キ動脈ヨリモ大ナリトス之ト同シク掠奪ヲ事トスル如キ社會
 ニ於テハ重モナル道路ハ軍用ノ爲メニ造リシ者ナリ蓋シ戰
 争ニ於テハ兵士及ヒ軍器糧食ヲ消費スルガ故ニ之ヲ供給ス可
 キ道路ヲ起スニ就中最モ緊要ニシテ隨テ此等ノ道路先ツ整フ
 ニ至ルナリ前文ニ掲ケタルアシャントイノ官道ノ如キハ此事ヲ
 證スル者ニシテ古昔ノピリウニ於テ兵士ヲ運フ可キ官道ア
 リシガ如キモ亦之ガ一例ナリ而シテ又余輩ハ羅馬帝國ガ遠隔
 ナル地方ニ於テ屢々軍ヲ起セシガ爲メニ隨テ整ヒタル道路ア
 リシヲ想起スルナリ然レモ英國ノ商業用ノ鐵道タリモ又ハ
 露西亞ノ軍用ノ鐵道タリモ供給部ヨリ消費部ニ物質ヲ運輸
 スルノ機關タルノ理ニ於テハ全ク一ニシテ唯一ハ平和ニ於テ
 物質ヲ消費シ一ハ戦争ニ於テ之ヲ消費スルノ異ナルアルノミ
 第二百四十七節、動物ニ於テ血球及ヒ血水ヲ運輸スル所ノ管ト

有様ノ如キ
モ動物ト社
會ト相類同
ス

社會ニ於テ人及ヒ商品ヲ運輸スル所ノ管トノ相類同スルハ
以上論セシガ今ヤ轉シテ物質ノ此等ノ管ニ沿フテ運行スル有
様ヲ見ルニ又動物ト社會トノ相類同セルヲ知ル可キナリ
下等動物ニ於テハ分配ノ管ナキヲ以テ滋養質ノ肉中ニ運行ス
ルヲ極メテ徐々ニシテ且不規則ナリ之ト同シク最始ノ社會ニ
於テハ單ニ小額ノ物品交易行ハル、ニ過キザルヲ以テ交易セ
ラレタル物品ノ派散スルヲ徐々ニシテ其方法モ不定ナリ即チ
運行ノ力微弱ニシテ未タ以テ流動ト稱スルニ足ラザルナリ而
シテ或ル軟肉動物ノ如ク中ニ收縮管ヲ具ヘタル包臟囊ヲ有ス
ル所ノ更ニ高等ナル動物ニ於テハ滋養質ノ分配セラル、狀ハ
未タ以テ流動ト稱スルニ足ラズト雖モ尙ホ甚ク遠カラザルナ
リ蓋シ收縮管ノ鼓動ニ因リテ周邊ノ滋養液ニ攪擾ヲ起シ爲メ
ニ滋養液ハ微弱ナル力ヲ以テ枝管ニ奔注シ忽チニ反動ノ勢ニ

因リテ返流スルナリ斯ノ如ク滋養液ガ波ヲ起シテ一方ニ向テ
奔注シ再ヒ反動ノ勢ニ因リテ返流スルノ有様ハ恰モ發達セル
社會ニ於テ第一ニ起ル商品流動ノ有様ニ同シキナリ何トナレ
ハ最初商品ハ絶ヘズ同一ノ方向ニ流動スル者ニ非スシテ時々
或ル場所ニ向テ流動シ再ヒ其場所ヨリ返流スル者ナレバナリ
夫ノ市ト稱スル者ハ商品流動ノ最初ノ有様タルヤ疑フ可カラ
ズシテ余輩ハ少シク進歩セル社會ニハ市ノ行ハル、ヲ見ルナ
リサントウツチ嶋ノ土人ハ其產物ヲ交易センガ爲メニ定時ニ
ウヰイルク河畔ニ會スルナリ又フィジ「諸嶋ノ土人ハ物品ヲ交
易センガ爲メニ時々一定ノ場所ニ會スルナリ而シテ無論ニ人
口ノ繁殖スルニ從ヒ人口及ヒ商品ノ或ル場所ニ向テ流集シ又
是ヨリ流散スルヲ益々數時トナル者ニシテ亞非利加ノ半開ノ
諸社會ハ此段落ノ有様ヲ示スナリロ「ウヰル、ナイウヤ「河畔ノ

各市邑ニ於テハ四日毎トニ一回ノ市ヲ開キ又此河畔ノ諸所ニテ二週間毎トニ一回ノ大市ヲ開クト云フ又パーク氏ノ説ニ據レバサンサンドングノ如キニ於テハ日々ノ賣買幾分カ行ハレ此外ニ一週間毎トニ大市ヲ開キ近邊地方ヨリ多人數之ニ會スルト云フ而シテトイムバクトトイノ如キ最モ盛大ナル場所ニ於テハ定時ノ交易既ニ廢セラレテ日常絶ヘズ交易行ハルハナリ又スマトラノパッタ地方ニ於テハ交易ノ爲ニ四日毎トニ會合スルト云フ又マダガスカルニ於テハ都府ニ日々市ヲ開クトノ外ニ地方ノ市邑ニテモ數日ヲ隔ツル毎トニ市ヲ開クト云フ又古昔ノ亞米利加ノ諸社會ノ如キハ此段落ヨリ更ニ高等ナル段落ニ進ム有様ヲ示セリ「チブチヤ」民族中ニテハ絶ヘズ交易行ハレ此外ニ八日毎トニ大交易ヲ行ヒシナリ又メキシコニ於テモ日々ノ交易行ハレ且諸市府ニ於テ互ニ期日ヲ異ニシテ各々五日

毎トニ大市ヲ開キシナリ而テサハガン氏ノ説ニ據レバ大市ノ間斷ニハ全國ニ巡回スル商人アリテ一地方ニ物品ヲ購買シテ之ヲ他地方ニ販賣シタリト云フ左レバ此等ノ有様ハ一層發達セル有様ヲ豫示スル者ト云フ可シ蓋シ最初ニハ商品ガ時々ニ集聚シテ時々ニ派散シ且此事ハ益々數時トナリ遂ニ日々ノ賣買行ハルニ至ルナリ即チ供給部ヨリ消費部ニ向テ絶ヘズ商品ノ波動ヲ起スニ至ルナリ而シテ斯ノ如ク最初ニ在テハ商品ガ或ハ此處ニ於テ或ハ彼處ニ於テ時々ニ集聚シ時々ニ派散シテ其運行甚々遅々タリト雖モ社會ノ進ムニ從ヒ漸次ニ其迅速ヲ加フルニ至ルコトハ我英國ノ歴史ヲ以テスルモ之ガ證ヲ見ル可キナリ古昔英國ニ於テハ商品分配ノ重モナル方便ハ年々若クハ其他定時ニ開ク所ノ大市ニテアリキ且此等ノ大市ハ十七世紀ニ至ルマデハ甚々緊要ニシテ當時村落ノミナラズ市邑ト

雖其小ナル者ニ至テハ店舖ノ設ケナカリシヲ以テ此等ノ大市ニ於テ商品ヲ買集メタル行商ニ由テ不規則ニ其供給ヲ受ケシナリ然ルニ人口繁殖シ一層大ナル中心市場起リ運輸ノ便更ニ改良スルニ從ヒ地方ニ商品ヲ供給スルヲ容易トナリ賣買益々常時ニ行ハレテ間斷長キ定時ノ市ヲ開クヲ要セザルニ至レリ爾後重モナル場所ニ於テハ重モナル商品ノ市場數多起リ或ル場合ニ於テハ日々取引ヲ行フニ至レリ而シテ遂ニ或ル食物ノ如キハ毎朝各市邑ニ流入シ加之一日一回ニ止ラスシテ數回流入シ商品ノ分配絶ヘス行ハル、トトナレリ蓋シ場所ト場所トノ間ニ人口及ヒ商品ヲ各自別々ニ送り其運行遅クシテ且稀シナル時代ヨリ數日ヲ隔テ、發スル所ノ一時間ニ僅ニ四里ヲ走ル共同ノ車ヲ用ユル時代ニ進ミ次キニハ此等ノ共同ノ車ガ發車ノ度數ヲ加ヘ且其線路ノ増加スルト同時ニ其速力ヲモ加

体中ニ流動スル物質ノ性質及ヒ此等ノ物質ト體ノ諸部分トノ關係ニ於テモ動物ト社會ト相類トス

ヘタル時代ニ進ミ遂ニ鐵道ノ各線路ニ沿フテ日々數回非常ノ速力ヲ以テ商品ノ大波ヲ送ル吾人ノ時代ニ進ムヲ見ルキハ社會血液ノ流動ハ微弱且遲徐ニシ不規則ナル有様ヨリ迅速且強勢ニシテ常規アル有様ニ進ムヲ知ル可キナリ
 第二百四十八節、分配ノ管及ヒ此等ノ管ニ沿フテ物質ノ流動スル有様ハ動物ニ於テモ社會ニ於テモ相類同スルヲハ以上論セシ所ノ如クナルガ更ニ此等ノ管ニ沿フテ流動スル物質ノ性質及ヒ此等ノ物質ト體ノ諸部分トノ關係ヲ見ルニ又動物ト社會トノ相類同セルヲ知ル可キナリ
 滋養液ノ成分ハ下等動物ニ於テハ單純ナリト雖ヒ高等動物ニ於テハ複雑ヲ加フルナリ即チ體ノ諸部分ニ於テ需要シ又其諸部分ニ於テ製造スル所ノ種々ナル普通用ノ物質及ヒ特別用ノ物質ノ混合物トナルナリ之ト同シク下等社會ニ於テハ場所ニ

リ場所へ運行スル所ノ商品ハ其種類ノ異同少ナシト雖ヒ高等ナル社會ニ至ルニ從ヒ其種類ノ異同益々増加スルナリ且又体中ニ流動スル物質ノ複雑ヲ加フルニ關シテ動物ト社會トノ相類同スル今一ノ點アリ即チ動物ニ於テモ社會ニ於テモ此等ノ物質ノ單純ナルニ當テハ其性質モ粗ナリト雖ヒ其性質ノ精ヲ加フルニ從テ其複雑ヲ加フルニ至ルニ是ナリト下等動物ニ於テハ不完全ナル消化作用ヲ受ケタル物質ガ未タ精製セラレザル有様ニテ食道ノ歧路ニ由リテ之ヲ需要スル部分ノ近邊ニ運送モラルト雖ヒ高等ナル動物ニ於テハ精製セラレタル物質即チ脂肪質及ヒ糖質等ノ如キ者ノミ選別セラレテ分配セラルトナリ而シテ斯ノ如ク血液ガ需要ニ適シタル多種ノ物質ヲ含ムガ爲メニ其成分ノ異同ヲ増シ又消化作用等ニ與カル所ノ特別ノ用ニ適シタル血球ノ群ヲ得ルガ爲メニ更ニ其異同ヲ増ス

ト同時ニ又分子ノ代謝ヲ助クル所ノ無機的ノ元素ヲ加ヘ又分子ノ代謝作用ヲ受ケテ出テントスル所ノ廢物ヲ加フルガ爲メニ更ニ一層其異同ヲ増スナリ今余輩若シ下等社會ノ商品ノ流動ト發達セル社會ノ商品ノ流動トヲ對照スルキハ商品ノ種類ノ異同ヲ増ス所以ノ者ハ重モニ消費ニ適シタル製造品ノ種類類ヲ加フルニ因ルヲ見ルナリ而シテ社會ニ於テハ既ニ消費ニ屬シタル廢物ノ或ル部分ハ通常ノ分配系ニ由リテ返流セズシテ地下ノ溝渠ニ由リテ排泄セラルト雖ヒ尙ホ其他ノ或ル部分ハ消費ニ供ス可キ物質ヲ運送スル所ノ通常ノ分配系ニ由リテ返流スルヲ見ルナリ次キニ余輩ハ体中ノ所々ノ諸機關ガ流動スル物質ノ上ニ行フ特別ノ作用ヲ記セザル可カラズ動物ニ於テハ諸機關ハ体中ニ流動スル所ノ血液中ヨリ其資養ニ要スル所ノ物質ヲ分取シ排泄及ヒ分泌ニ從事スル諸機關ノ如キ

モ亦血液の中ヨリ特種ノ成分ヲ分取シテ或ハ之ヲ排泄シ或ハ之ヲ分泌スルナリ唾液ヲ分泌スル腺ハ其分取スル所ノ成分ヲ以テ澱粉ヲ糖質ニ化スルノ液ヲ製造シ斯ノ如クニシテ食物ガ次キニ受クル消化作用ヲ助ケ又胃液ヲ分泌スル腺ハ胃中ノ食物ヲ溶解スルヲ助ケル所ノ液ヲ製造シテ之ヲ注出シ又肝臓ハ或ル廢物ヲ分取シ膽汁トナシテ之ヲ膽ニ注出シ又或ル他ノ成分ヨリ「グリコゼン」ト稱スル物質ヲ製造シテ之ヲ注出スルナリ而シテ此等ノ諸機關ヲ組成スル所ノ元素ハ其職ヲ行フガ爲メニ生活シ成長シ増殖スルナリ社會ノ諸機關ニ於ケルモ亦斯ノ如シ蓋シ社會ノ諸機關ハ後文ニ詳記ス可キ制限ニ從ヒ各々分配セラレタル商品中ヨリ其資養ニ要スル物質ヲ分取スルナリ又製造ヲ行フ大小ノ諸機關ハ社會ノ全体中ニ流通スル所ノ種々ノ物質中ヨリ其作用ヲ施ス可キ物質ヲ分取シ之ヲ製造シテ

體ノ諸部分
中ニ競争ノ
行ハルハ
動物ニ於テ
モ社會ニ於
テモ一ナリ

再ヒ全体中ニ流通セシムルナリ而シテ此手續ハ買賣ノ方法ニ因リテ行ハル、トハ吾人ノ日常親シク見ル所ナリト雖モ買賣ノ事ハ姑ク之ヲ論セズシテ單ニ外形上ヨリ之ヲ論スルハ各産業機關ハ全体中ニ流通スル所ノ種々ノ物質中ニ就キ其需要セザル者ハ其流通スルニ任シテ敢テ之ニ觸ル、トナク特ニ其作用ヲ施スニ適シタル者ノミヲ分取シテ之ニ製造ヲ加ヘ而シテ初メ物質ヲ分取シタルト同一ノ管若クハ其他ノ管ニ由リテ全体ノ消費ノ爲メニ其製造シタル物質ヲ再ヒ注出スルアルトハ決シテ争フ可カラザルナリ
動物ニ於テモ社會ニ於テモ共ニ競争ノ行ハル、事實ノ如キモ又之ヲ記セザル可カラズ通常競争ハ社會ニノミ行ハル、現像ノ如クニ思惟セラル、ト雖モ動物ニ於テモ行ハル、ナリ而シテ同一ノ職ヲ行フ諸部分ノ間ニ於ケルヨリモ異様ノ職ヲ行フ

諸部分ノ間ニ於テ此事特ニ明ナリトス抑々動物ノ全体中ニ流通スル所ノ滋養質ハ以テ全体ヲ扶持セザル可カラズシテ諸機關ハ其補足及ヒ生長ノ爲メニ成ル可ク多量ノ滋養質ヲ自己ニ分取セシテ欲スルナリ蓋シ一機關ニ於テ分取スル所愈々多クシテ他ノ諸機關ニ於テ分取ス可キ者愈々減セザルヲ得ズシテ是レ即チ諸機關ガ或ハ單獨的ニ或ハ共同的ニ他ノ諸機關ト相競争シテ成ル可ク多量ノ血液ヲ自己ニ分取セント欲スル所以ナリ故ニ諸機關ノ安全ハ間接ニ於テハ互ニ相依ルト雖モ直接ニ於テハ互ニ相反スル者ニシテ夫ノ腦髓ノ作用ヲ過度ニ刺激スルガ爲メニ多量ノ血液ヲ之ニ吸引シ隨テ消化機關ノ作用ヲ止ムルガ如キ又ハ多食ノ爲メニ血液腦髓ヨリ消化機關ニ流レ去リテ隨テ腦髓ノ睡眠ヲ催フスガ如キ又ハ非常ノ勞役ヲ行フガ爲メニ手足ニ血液ノ過度ノ供給ヲ要シ隨テ消化ヲ止メ思

想感覺ヲ減スルガ如キハ則チ之ガ爲メナリ此等ノ事實ハ競争ノ行ハル、コトヲ證スルト同時ニ又体ノ諸部分ノ血液供給ノ多少ハ其諸部分ノ行フ職掌ノ需要ノ多少ニ因テ定マルコトヲ證スルナリ高等ナル動物ニ於テハ余輩ノ後文ニ論ス可キガ如ク諸部分ノ斯ク相競争スルノ間ニ供給ト需要トチ一層速カニ平均セシム可キ一種ノ規制アリト雖モ第一ニハ諸部分ノ作用ノ繁閑ニ應シ血液供給ノ多少定マルナリ病ノ爲メニ体ノ一部分ニ贅肉ヲ生スルニ於テハ多量ノ血液ヲ此部分ニ吸引スルノミナラズメ此贅肉中ニ血液ヲ分配ス可キ血管ヲ生スルニ至ルヲ見ルキハ以テ体ノ一部分ニ生シタル新肉ハ滋養質ノ多量ノ供給ヲ起スノ原因トナルコトヲ證ス可キナリ而シテ尋常ノ有様ニ於テハ職掌ヲ行フガ爲メニ舊肉ノ衰フル度ニ應シ新肉生スル也今マ社會ニ於テモ各自ノ一箇人ノミナラズ各自ノ諸階

級ハ成ル可ク多量ノ商品ヲ自己ニ得ント勉ムルアリテ其之ヲ得ルノ力ハ通常其作用ノ繁閑ニ因ルコトハ吾人ノ日々ニ實驗スル所ナリ若夫ノ輸出ノ爲メ又ハ内地消費ノ爲メニ鐵ヲ要スルコト減スルアラフ然ルキハ鎔鐵爐ハ閉チラレ職人ハ業ヲ失ヒ滋養質ノ此地方ニ流入スルコト減シ隨テ其成長ヲ止メ此事若シ久キニ亘ルニ及ンテハ遂ニ此地方ノ衰滅ヲ來タス可シ若シ又綿花凶作ノ爲メニ毛織物ノ需要ヲ増加スルアラフ然ルキハ其製造所ノ作用活潑ヲ加ヘ此地方ヘ流入スル製造ノ材料及ヒ此地方ヨリ流出スル製造品共ニ多キヲ加ヘ隨テ人口、通貨、消費物ノ如キ種々ノ供給多ク此地方ニ來リ舊製造所ヲ擴張シ又ハ新製造所ヲ建築スルニ至ル可シ而シテ社會ノ諸機關ノ間ニ此作用ノ行ハル、者ハ動物ノ諸機關ノ間ニ於ケルガ如ク各自ノ元素ガ成ル可ク多量ノ滋養質ヲ自己ニ分取セント欲スルニ因ル

動物ノ分配系ト社會ノ分配系トノ不同ノ點

一 明ナリトス又各元素及ヒ各機關ノ斯ク相競争スルヨリシテ他ノ諸部分ノ爲メニ最モ需要セラル、如キ職掌ヲ行フ所ノ部分ハ最モ十分ニ滋養質ヲ受ケ最モ十分ニ生長スルノ結果ヲ生スルコトハ社會ニ於テモ動物ニ於ケルト同シキヤ明ナリトス
 第二百四十九節、動物ノ分配系ト社會ノ分配系ト類同スルコト此ノ如シト雖ヒ前ニ開示セル如ク動物ノ元素ハ凝固シ社會ノ元素ハ離散スルガ故ニ隨テ各自ノ分配系ニモ不同ノ點ナキヲ得ザルナリ余ハ先ツ前節ニ論シタル類同ノ點ニ伴フ所ノ不同ノ點ヲ示サントス
 若シ夫レ社會ヲ組成スル一箇人ニシテ動物ヲ組成スル元素ノ如クニ同一所ニ固着スル者ナランニハ之ニ滋養質ヲ供給スルニモ亦同様ノ方法ヲ以テセザルヲ得ザル可シ即チ各自一箇人ノ分取ス可キ滋養質ハ單ニ其近邊ニ之ヲ分配スルニ止ラズシ

一々之ヲ各自一箇人ノ在所ニ分配セザルヲ得ザル可シ一切
 ノ商品ヲ分配スルノ方法ハ夫ノ日用品ノ商賈ガ日々各家ニ就
 テ或ル種類ノ食物ヲ分配スル方法ノ如クナラザルヲ得ザル可
 シ然レニ社會ヲ組成スル一箇人ハ一定ノ住家及ヒ工場ヲ有ス
 ルト雖モ尙ホ自カラ運動スルヲ得ルガ故ニ商品ノ分配ハ一部
 ハ斯カル方法ニ由テ受クルモ又一部ハ自カラ出テ、之ヲ取ル
 ヲ得ルナリ又同一ノ理由ヨリシテ滋養質ノ流動ヲ起ス方法ニ
 關シテモ動物ト社會トノ間ニ異同ヲ見ルナリ蓋シ動物ニ於テ
 ハ諸部分ノ相凝固スルガ故ニ緊縮管ノ鼓動ニ因リテ滋養液ノ
 流動ヲ起スト雖モ社會ニ於テハ諸部分相凝固セズ且元素變體
 スル能ハザルガ故ニ斯カル方法ヲ以テ商品ノ流動ヲ起ス能ハ
 ザルナリ左レハ商品ノ流動ハ間接ニ於テハ他ノ力ニ因リテ之
 ヲ起スト雖モ直接ニ於テハ別ニ之ガ流動ヲ起ス力アルヲ要ス

ルナリ
 動物ト社會トノ間ニ斯カル不同ノ點アリト雖モ之ガ爲メニ
 者類同ノ分量ヲ少シク減スルノミニシテ要點ニ於テ其相類同
 スルトハ固ヨリ然リトス動物ニ於テモ社會ニ於テモ諸部分ノ
 殊別未ダ發セス若クハ尙ホ少ナキ時ニ當テハ諸部分中ニ通ス
 ル分配ノ管ヲ要セスシテ稍々諸部分ノ殊別ヲ發スルモ尙ホ其
 諸部分相密着スル如キ場合ニ於テハ分配ノ管ヲ要セザルナリ
 然レニ生理上若クハ社交上ノ分業進歩シ互ニ隔離セル部分ノ
 相協力スルニ及ンテハ分配機關ノ發生ヲ必要トシ此機關ノ發
 達ハ他ノ諸機關ノ發達ト駢進セザル可カラザルニ至ルナリ又
 動物ニ於テモ社會ニ於テモ同様ノ必要ヨリシテ同様ニ滋養質
 ノ運行其速力ヲ加フルナリ最初ニ於テハ作用微弱ニシテ交易
 ノ量少ナク運輸ノ障害多キヲ以テ滋養質ノ集散ハ遲緩且不規

則ニシテ其場所モ定ラズト雖ニ諸部分増加シテ其職掌ノ殊別
 明畫トナリ隨テ其作用効驗ヲ加ヘ全体ノ活力増加スルモハ一
 定ノ諸管ニ由リテ絶ヘズ多量ノ滋養質ヲ分配スルヲ要スルナ
 是ニ於テ平長キ間斷ヲ經テ起ル所ノ不規則ニシテ微弱且遲
 緩ナリシ流動ハ諸部分ノ需要急切不斷トナルニ從ヒ遂ニ速カ
 ニシテ秩序アル流動トナルナリ然レモ尙ホ之ニ止マラザルナ
 リ動物モ社會モ愈々其殊別ヲ加フルニ從ヒ最初ニハ二三ノ粗
 ナル成分ヲ含ミシ滋養質モ多種ノ精製セラレタル成分ヲ含ム
 所ノ滋養質トナリ益々其成分ノ種類ヲ加フルナリ又需要品ノ
 製造ニ從事スル諸機關ガ体中ニ流通スル滋養質ニ對スル關係
 ハ動物ニ於テモ社會ニ於テモ一ナリトス即チ滋養質ノ管ヨリ
 其作用ヲ施ス可キ物質ヲ分取シ直接若クハ間接ニ其產物ヲ再
 ヒ此管ニ返送スルナリ又諸機關ガ補足及ヒ生長ノ爲メニ成ル

本章論ス可
 キノ點

可ク多量ノ滋養質ヲ得ント欲シテ互ニ相競争シ其行フ職掌ノ
 多少ニ應シテ之ヲ得ルコトニ多少アルガ如キモ動物ニ於テモ社
 會ニ於テモ一ナリトス
 余輩ガ余輩ト共ニ携ヘテ進マント欲スル所ノ此事實ヲ最モ概
 略ニ記スルモハ動物ニ於ケルガ如ク社會ニ於テモ分配系ノ發
 達ハ互ニ相依ル所ノ諸部分ノ間ニ物質ヲ運輸スル必要ノ多少
 ニ因テ定マルト云フニ在リ蓋分配系ハ外ニ對シテ外事ヲ司ト
 ル所ノ統制系ト内ニ在テ需要品ノ製造ヲ司トル所ノ供給系ト
 ノ間ニ介在スルガ故ニ此二大系及ヒ其小部分ノ需要ニ應シテ
 之ニ物質ヲ運輸スルニ適スル如キ構造ヲ得ルニ至ルナリ

第九章 統制系

第二百五十節 動物及ヒ社會ニ於テ初メ如何ニシテ三大系ノ殊
 別ヲ生スル乎ヲ論セシキ余ハ体ノ外部ト内部トハ互ニ其遭遇

ヲ異ニシ一ハ外圍ノ作用及ヒ力ニ當ラザル可カラズシテ一ハ
 体内ニ取入レタル物質ヲ利用セサル可カラザルガ故ニ勢ヒ其
 職掌ノ殊別ヲ生スルニ至ルヲ示セリ又内部機關ノ醇化ハ之
 ト相觸ル、所ノ物質ノ性質及ヒ分配ニ因テ定マルヲハ既ニ之
 ヲ示セリ故ニ余ハ是ヨリ外事ヲ司トル機關ノ醇化ハ外圍ニ存
 スル事物ノ性質ニ因テ定マルヲ示ササル可カラズ
 余ガ茲ニ示サント欲スル事實ヲ一層有形的ニ記スレバ動物ノ
 消化機關及ヒ社會ノ産業機關ハ体ノ資養ニ要スル所ノ有機無
 機ノ物質ヲ取扱フニ適スル有機ニ醇化スルト雖モ統制部及消
 費部(動物ニ於テハ神經及ヒ運動器ヲ云ヒ社會ニ於テハ政府及
 ヒ軍兵ヲ云フ)ハ外圍ノ動物若クハ社會ヲ取扱フニ適スル有機
 即チ他ノ動物ヲ捕ヘ又ハ之ヨリ逃レ若クハ他ノ社會ヲ征服シ
 又ハ之ニ抵抗スルニ適スル有機ニ醇化スル者ナリト云フニ在

統制系ノ發
 スル間接ノ
 原因ハ他ノ
 集成体ト相
 争フニ在リ

リ他ノ集成体ト相争フニ當リ一箇ノ集成体ヲ共同一体ノ作
 用ヲ爲スヲ得セシムル所ノ統制機關ナル者ハ他ノ集成体ト屢
 ヲ相争フヨリシテ間接ニ起ル者ナリト云フニ在リ
 第二百五十一節、若シ夫レ歩行ニ驚ナラシメ敵ノ爲メニ捕ヘラ
 レザルヲ得ザルナリ飛走ニ遲ナラシメ敵餌食ヲ獲ルヲ能ハザル
 ナリ即チ何レノ場合ニ於テモ死ヲ招カザルヲ得ザルナリ若シ
 又視力ニシテ敏達ナラシメ敵食草類ノ動物ハ之ガ爲メニ遠方ニ
 肉食類ノ動物ヲ望ムヲ速カニ避クルヲ得可シ又驚ノ如キハ之
 カ爲メニ遙カニ下ニ在ル所ノ動物ヲ能ク攫ムヲ得可シ又此等
 ノ動物モ之ガ爲メニ能ク其難ヲ免ル、ヲ得可シ其他聽官ノ聰
 ナルガ如キ臭官ノ鋭ナルガ如キ手足ノ多力ナルガ如キ其輕快
 ナルガ如キ其運動ノ節度アルガ如キ攻撃防禦ノ具タル爪、牙、角
 等ノ強キガ如キ凡テ自衛ヲ助クル者ニ非ザルナキナリ然リ而

マテ五官ノ傳告ヲ受ケテ此等ノ外部ノ機關ヲ獎勵指揮スル所
 ノ神経系ノ發達スルガ如キモ斯ク發達セル神経系ヲ有スル者
 ナシテ餌食、敵、競争者ト相對スルニ當テ爲メニ利益ヲ得セシム
 ルアルニ因ルヲ明ナリトス今マ不完全ナル視力及ヒ微弱ナル
 運動力ヲ有スル下等動物ヨリ敏達ナル視力ヲ有シ智及ヒ力ニ
 富ム所ノ高等動物ニ至ルマテ上下ノ諸動物ヲ通觀スルキハ下
 等動物ニ在テハ此等ノ缺點ノ爲メニ其生命ヲ失フ場合ト雖モ
 高等動物ニ在テハ此等ノ優點ノ爲メニ其生命ヲ保ツテ得ル
 争フ可カラザルナリ然ラハ則チ五官及ヒ運動器ノ發達シ又之
 ナ指揮スル所ノ神経系ノ發達スルハ之ヲ關接ニシテハ他ノ集
 成体ト屢々相敵對シ相競争スルニ原因スル者タルヲ推知ス可
 キナリ

社會ノ統制系及ヒ統制系ノ指揮ヲ受テ作用ヲ行フ所ノ攻撃防

禦ノ機關ガ如何ニシテ發達スル乎ヲ見ルキハ又同様ノ事實ヲ
 示スナリ蓋シ初メ政治機關ノ起リ且其發達シテ他ノ社會ニ對
 シ有効ニ共同ニ一体ノ作用ヲ爲ステ得セシムルニ至ル者ハ戦争
 之ガ原因タルヲ各地然ラザルハナキナリ請フ先ツ結合ヲ獎勵
 スル所ノ此機關ノ未ダ發セザル如キ事情ヲ論シ次キニ此機關
 ノ初メテ現ハルハ如キ事情ヲ論セン

食物ニ乏シク人口隔離シ隨テ協力ノ妨ケラル、如キ場合ニ於
 テハ確立セル首長アルナシ「ヒローワン」民族、南米利加ノ「カヤギ
 ア」民族即チ「ウード、イシヂアン」民族、及ヒ「セーロン」ノ「ジャンクル、ヴェ
 ヴダ」民族及ヒ南亞非利加ノ「ブシメン」民族ノ如キ即チ是ナリ
 此等ノ民族ハ防禦ノ爲メニ結合スルナク唯有力ナル人ノ稍々
 權ヲ得テ首長ノ如キ狀ヲ呈スルヲ往々ニシテ之アルノミ未ダ
 確立セル首長アラザル也「エスキモ」民族ノ如キモ其事情ニ於

テ勢ヒ離散セザルヲ得ズシテ又首長アルナシヒールン氏ノ説
 曰ク該民族ハ何人モ權勢ヲ求ムルコトナク毫モ他人ニ服従ス
 ルコトナクシテ全ク自由ナル有様ニテ生活セリト而シテ該民族
 ハ會テ戰爭ノ何事タルヤチ知ラスト云フ之ト同シクチツベウハ
 民族ニ於ケルガ如ク土地不饒ニシテ人ノ集合スルコト甚々稀レ
 ナル場合ニ於テハ首長アルナク唯人物ノ如何ニ因リテ或ル人
 ヲ尊敬スルコトアリト雖モ其之ヲ尊敬スルヤ甚々薄シト云フ又
 他ノ場合ニ於テハ人民ノ氣質頑硬ニシテ社交服従ヲ忌ミ爲メ
 ニ結合ヲ妨クルアリテ印度ノ丘岡民族ノ一ナル「アポール」民族
 ノ如キハ即チ是ナリ蓋シ該民族ハ虎ノ如クニシテ二人一穴ニ
 住スル能ハズトハ其自カラ言フ所ニシテ其家屋ノ如キハ一々
 相隔離シ若クハ二三相集マレルニ過ギズ又前ニモ記セシガ如
 クマント半嶋ノ「マントラ」民族ノ如キハ苟クモ相争フコトアル

キハ直ニ分離シテ相交ルコトナキナリ斯カル場合ニ於テハ人口
 ノ離散ト社交ヲ忌ム氣質トノ二者相合シテ首長ノ發生ヲ妨ク
 ルナリ然レモ政治上ノ統制ノ行レザルハ斯カル場合ニノミ限
 ラズシテ固定ノ生活ヲ營ミ大ニ進歩セル民族ノ如キモ若シ戰
 争ヲ行ヒシコトナキニ於テハ齊シク統制機關ヲ有セザルナリ
 「ピニア」アラフ「民族」及ヒ「ダリム」土民ノ如キハ人々
 互ニ平和懇親ヲ以テ相交際シ長者ノ裁斷ノ外ハ別ニ統制ヲ要
 セズシテ未ダ酋長ナル者發セザルナリ又「ト」ダ「民族」ノ如キモ
 全ク軍兵ヲ有セズ平和温順友愛ニシテ政治上ノ首長ヲ有セザ
 ルナリ又夫ノ平和ナル「ボ」ド「民族」及ヒ「ダイマ」民族ニ於ケ
 ルモ斯ノ如キナリ此等ノ民族ハ正直信實ニシテ復讐猛惡粗暴
 ノ性質ハ毫モ之ナシト云フ而シテ其首長ナル者ハ名義上ニ止
 マリテ實權ヲ有セサルナリ余ハ更ニ同様ニ著明ナル一例ヲ附

記ス可シフーカーク氏ハ「レブチヤ」民族ニ關シテ眞ニ懇親ナル民
 族ナリト云ヘリ而シテ又カムベル氏ノ説ニ曰ク該民族ハ其正
 直ナルコト實ニ驚ク可キ者アリ其損害ヲ忍ブコト實ニ奇トス可キ
 者アリ互ニ相容レ相讓リテ敢テ争フコトナシ然レモ之ト同時ニ
 兵卒トナルコト大ニ嫌ヒ余ノ隊中ニ編入セントスルモ決シテ
 肯ンヒズ而シテ服従ヲ忌ムコト甚クシクシテ事口森林ニ逃レテ
 草根ニ食スルモ不正ナル處置ニ甘ンズルヲ爲サズ」ト
 今マ首長ナキ社會ガ如何ニ變遷シテ政治上ノ統制者ヲ發スル
 乎ヲ見ユエドワーズ氏ノ説ニ曰ク「カリブ」民族ハ平和ノ時ニ於
 テハ人ヲシテ權勢ヲ握ラシムルコトナクシテ唯老人ガ曖昧ナル
 一種ノ統制ヲ行フアルニミ」ト而シテ氏且曰ク然レモ該民族ハ
 戦争ノ時ニハ勇氣ト同ク服従ヲモ要スルコトヲ經驗ニ因テ學
 ム」ト又ハ「ボウルト」氏ハ該民族中ニ行ハル、聯合ノ事ヲ記

シテ曰ク該民族ハ戦争ヲ好ムノ民族ニシテ唯聯合シテ敵ヲ防
 クノ一事ノ外ハ別ニ交際ヨリ利益ヲ得ル者ト思惟セズ」ト又「ク
 リ」トク「民族ハ權力ニ服スルコト甚ク薄クシテスウアン氏ノ説ニ曰
 ク共同ノ危難ニ迫リシ時ノ外ハ該民族ヲシテ社交上ノ制束ヲ
 守ルノ必要ナルコトヲ悟ラシムルハ殆ト能ハザル所ナリ」ト又「ボ
 シウツク」氏ノ説ニ曰ク「スマ」ニハ民族中ニハ首長存セザルニ
 非スレテ世襲ニ因テ立ツニモ非ズ又ハ撰擧ニ因テ立ツニモ非
 スト雖モ尙ホ首長トシテ認メラレ就中戦争ノ時ニ當テハ特ニ
 推戴セラレ、ナリ而シテ戦争ノ止ムニ及ンテハ森林ニ退居シ
 テ安靜ニ日ヲ送ルナリ」ト又他ノ場合ニ於テハ永久ノ變化ヲ生
 スルアルヲ見ルナリコト「ブ」氏ノ説ニ曰ク「カム」チヤ「ダ
 民族ハ一人ノ首長ヲモ有セス」ト又「グ」リ「イ」氏ノ説ニ曰ク該民
 族中ニ行ハル、唯一ノ權力ハ老人若クハ勇氣ノ爲メニ名ヲ揚

ケタル人ノ權力ナリト而シテ此二記者ノ云フ所ハ露士亞人ガ
 該民族ヲ征服セザル前即チ該民族ガ共同シテ敵ニ抵抗セシ前
 ノ有様ニ係ルコトハ二記者ノ自註スル所ナリ斯ク他ノ民族ト等
 關スルガ爲メニ各民族中ニ特別首長ヲ生シ而シテ民族ト民族
 トノ間ニ更ニ大ナル戰爭ヲ發スルニ從ヒ數民族中ニ聯合首長
 ヲ生スルニ至ルヲ見ルナリバタゴニアノ諸民族ニ關シテア
 クナリ氏ノ説ニ曰ク諸民族ハ絶ヘズ互ニ相争フト雖ヒ西班牙
 人ニ對シテハ屢々聯合シテ戰ヘリト北亞米利加ノ「インデア
 ン」民族ニ於ケルモ亦然リ其六民族ガ相聯合シ定マレル規制ヲ守
 リテ協力セシ者ハ英人ト戰ヒシニ因ルナリ而シテ斯ノ如ク他
 ノ社會ト戰フガ爲メニ聯合首長ヲ生スルニ至ルコトハ大平洋諸
 島ノ諸民族ニ於テモ其例ヲ示スナリ或ル記者ノ説ニ曰ク
 「タモア」ニ於テハ八若クハ十ノ村落アリテ此等ノ村落ハ他ノ

點ニ於テハ互ニ相獨立スルト雖ヒ共同ノ防禦ノ爲メニハ相
 結合シテ一ノ聯合地方若クハ州ヲ組成セリ(中略)若シ他ノ聯
 合地方ヨリ戰爭ヲ起スコアルハ一聯合地方中ノ各村落ハ
 決シテ單獨ニ事ヲ行フコト能ハス(中略)此等ノ聯合地方若クハ
 州ノ中ニテ或ハ王ヲ有スル者アリ或ハ互ニ意見ヲ異ニシテ
 王ヲ定ムル能ハザル者アリ(中略)全島ノ諸村落ヲ總裁スル王
 アリテナク又全島ノ諸村落ニ權力ヲ及ホス所ノ聯合地方アル
 ナシ然レハ戰爭ノ起ルコト及シテハ諸村落ハ其々ニ聯合シテ
 二三ノ團結トナルナリト
 小ナル社會ガ攻撃若クハ防禦ノ爲メニ協力ヲ必要トスルヨリ
 シテ相聯合シテ遂ニ中央首長ヲ生スルニ至ルコトハ開化國ノ古昔
 ノ歴史ニ於テモ之ヲ證スルナリ例セハ數部ニ分レタルイスレ
 ール民族ガソール及ヒデヴィツドノ統制ヲ受ケテ相合シテ「ヒブ

「王國」立テシハ「モアバイト」民族「アムモナイト」民族「エドマ
 イト」民族「フリスタイン」民族等ト戰ヒシ際ニ在リ又希臘ニ於テ
 モアゼン聯邦ノ盟主ガ中央首長ニ發達シ之ニ次キ政治及ヒ海
 軍ノ機關起リタルハ此聯邦ガ絶ヘズ外圍ノ敵ト戰ヒシ際ニ在
 リ面シテ更ニ近キ例ヲ舉グレバ「チニート」ニツク「人種中ニ政府ノ
 起リシガ如キモ同一ノ事情ニ因ルナリ紀元ノ初年ニ當リテハ
 各民族中ニ特別首長アリテ戰爭ノ間ノミ同盟兵ヲ指揮スル聯
 合首長アリシニ過ザリキ即チ第一世紀ヨリ第五世紀ニ至ル迄
 ハ羅馬帝國ニ抵抗シ及ヒ之ヲ攻撃センガ爲メニ聯合ノ事行レ
 ント雖モ未ダ之ガ爲メニ永久ノ中央首長ヲ發セザリシナリ然
 ルニ五世紀ニ於テ此聯合ノ兵久シク戰ヒテ干戈止マザリケレ
 ハ遂ニ之ガ結果トシテ軍長ヲ生シ此等ノ軍長ハ固結セル州ヲ
 統制スル所ノ王トナレリ

斯ノ如ク初メニハ一時ノ軍長ヲ生シ次キニハ永久ノ軍長ヲ生
 シ而シテ此等ノ軍長ノ不知不識政治上ノ首長ニ變遷スル以所
 ナ者ハ之ガ原因他ノ社會ト相戰フニ在ルガ故ニ戰爭ノ續ク時
 ハ首長ノ權益々増加スルヲ固ヨリ以テ然リトス蓋シ他ノ事情
 ナ同一ナリトスルハ戰爭ヲ行フニ當リテ一社會ノ共同ノ作
 用ハ指揮者ニ服従スルヲ急々深キニ從ヒ急々其効驗ヲ加フル
 者ヲ而シテ能ク指揮者ノ命ヲ奉スル人民ハ勝利ヲ得隨テ指
 揮者ニ服従スルヲ薄キ人民ハ敗テ取リ若クハ滅亡スルガ故
 ニ勝利ヲ來タス所ノ服従ト戰爭ヲ事トスルヲトハ相併行シテ
 互ニ因トナリ果トナル者タルヲ明ナリ左レバ人口ノ非常ニ隔
 離セル如キ場合ヲ除クノ外ハ奪掠ヲ事トスル人民ハ又專制ニ
 服スルヲ各地然ラザルハナキナリ亞細亞ニ於テハ「キルシス」民
 族ノ如キハ之ガ例ヲ示ス者ニ該民族ハ人ヲ捕ヘテ奴隸トナ

及ヒ奪掠ヲ行フ事トシ其首長ヲ「マナブ」ト稱シ以前ニハ選
 舉ニ因テ立チシ者ナレトモ今ハ世襲ニ因テ立ツ者ナリ而シテ「マ
 ナブ」ニ關シテマイクル氏ノ説ニ曰ク「マナブ」ナル語ハ古昔ノ希
 臘風ノ壓政者ヲ意味シ最初ニハ殘忍ト嚴刻トシ爲メニ有名ナ
 リシ一人ノ長老ノ固有名詞ナリシニ爾來此語ハ一般ニ「キルシ
 ス」民族ノ首長ノ普通名詞トナレリ」ト又亞非利加ニ於テハ人肉
 ヲ食スル「コヤムニヤム」民族ヲ舉ゲテ其例ヲ示サン蓋シ該民族ノ王
 ハ人及ヒ物ニ對シテ無限ノ權力ヲ有スルト云フ又夫ノ「アマツ
 ヲ」兵ヲ有スル所ノ猛惡ナル「ダホミ」民族及ヒ各人悉ク武藝ヲ
 練ル所ノ戰爭ヲ好ム「アマン」トイハレ民族ノ如キハ何レモ最モ專制
 ナル政府ノ下ニ生活スル者ニシテ最高ノ官吏ト雖モ王ニ對シ
 テハ奴隸タルニ過ギズト云フ（按「アマツ」兵トハ「アマツ」人ニ
 ナリ又太平洋諸嶋ニ於テハ「アマン」民族ノ如キハ其例ヲ示ス者

ナリ該民族ハ絶ヘズ相戦ヒ相食スルノ民族ナレトモ而カモ其專
 制ナル首長ニ忠義ヲ盡ス「ハ想像シ得可キノ極ニシテ奴隸地
 方ノ人民ノ如キハ首長ノ爲メニ食物トナリ犧牲トナルハ自己
 等ノ義務タルヲ自カラ明言スルト云フ斯ク政治首長ノ權力
 ノ盛ナルノ度ト軍務ノ活潑ナルノ度ト相應スル「ハ古昔及ヒ
 現時ノ開化國ノ歴史ニ於テモ多ク其例ヲ見ルナリ「アツ」リア人
 ノ銘ヤ埃及ノ塗畫及ヒ舊記ヲ見ルニ此關係ヲ示スノ事實アル
 ナリ又夫ノ「スバル」大將ボ「サニアス」及ヒ之ニ類セル他ノ
 人々ノ如キハ大將ガ漸ク壓制者トナラントスルノ傾向ヲ示セ
 シ者少ク「ハスバル」人ノ自カラ認メシ所ナリ即チ近隣ノ社
 會ニ對シテ戰爭ヲ行ヒシガ爲メニ中央ノ政權ヲ覆セントスル
 ノ傾向ヲ示セシ者ナリ而シテ絶ヘズ軍兵ヲ指揮スルヨリシテ
 命令ヲ起シ且此命令ハ軍兵ガ社會ト混同セラル、度ニ應シテ

社會ニ影響ヲ及ボシ遂ニ變シテ政治上ノ命令トナルハ近代ノ歴史ニ於テモ余輩ノ屢々見ル所ナリ然ラハ則チ余輩ガ心ニ記ス可キノ事實ハ動物ニ在テハ外圍ノ動物ニ對シテ爭鬪ヲ行フ所ノ神經及ヒ筋ハ此爭鬪ニ因リテ起リ且發達スルト同シク社會ノ政治及ヒ軍兵ノ機關ハ社會ト社會トノ戰爭ニ因リテ起リ且發達スル者ナリト云フニ在リ更ニ適實ニ之ヲ云ヘバ政治機關中ニテ他ノ社會ニ對シテ有効ナル共同ノ作用ヲ起ス所ノ部分ハ斯カル原因ヨリ發達スル者ナリト云フニ在リ

第二百五十二節、請フ是ヨリ統制系ノ發達ヲ論セン而シテ先ツ政治機關ガ漸次ニ複雜ヲ加フルニ至ルノ順序ヲ記ス可シ動物ト社會トヲ問ハズ小ニシテ殊別少ナキ集成体ニ於テハ統制系ハ複雜ナラザルナリ蓋シ其複雜ナルヲ要セス又複雜ナル

動物ニ於テモ社會ニ於テモ其發達スルニ從ヒ統制系ニ地方部ト中央

部トノ殊別ヲ生ス

統制系ヲ組成シ且維持スルノ材料存セザルナリ然レモ合併セル集成体ニ於テハ統制系モ複雑ヲ加フルナリ而シテ動物ニ於テモ社會ニ於テモ統制系ガ複雑ヲ加フルノ初段落ハ劣等ノ統制機關ヲ支配スル一ノ優等ノ統制機關ヲ發生スルニ在リ動物ニ在テハ環体類ノ動物最モ明ニ此事ヲ示スナリ或ル環体類ノ動物ニ於テハ同様ノ各關節ハ同様ノ神經機關ヲ具ヘ地方ノ神經機關カ中央ノ神經機關ノ爲メニ制セラレ、ガ如キハ殆ト之ナキナリ然レモ醇化ヲ經テ各關節ノ益々結合ト殊別トヲ加ヘ爲メニ高等ナル環体類ノ動物ヲ發スルニ從ヒ前端ノ關節中ニ一層發達セル感覺器ト運動器トヲ生シ又之ト聯絡セル神經ノ中央房ヲ生スルナリ而シテ此中央房ヲ生セシ後ハ後部ノ各關節ニ在ル神經節ヲ制スルノ力増加スルナリ百足ノ如キ結合ノ整ハザル下等動物ニ於テハ此神經ノ中央房ハ微ニシテ明ナラ

ズト雖に高等ナル甲虫及ヒ蜘蛛類ノ動物ノ如キ結合ノ整ヒタル動物ニ於テハ其大ニ加フルナリ結合ノ微弱ナル社會ガ結合ノ固定セル社會ニ進ムニ於テモ同様ノ狀ヲ示スナリ勝チタル民族ノ酋長ガ唯自己ノ生ケル間ノミ近隣民族ノ酋長ヲシテ貢物ヲ呈セシムル如キ有様ニ於テハ中央權ハ未ダ確立セザルナリ故ニ前段ニ掲ケタル亞非利加ノ諸民族及ヒ其他ノ民族ニ於ケルガ如ク一時中央權ニ服從スルト雖モ荷モ之ヲ脱シ得ルニ於テハ地方權ハ直ニ再興スルナリ而シテ族々相離散セル段落ヲ越ヘテ進歩シタル如キ數多ノ人民中ニハ結合ノ種々ノ度ト地方統制府ガ中央統制府ニ服從スル種々ノ度トヲ余輩ニ示ス者アリ白人ガ始メテサノドウィツチニ行キシトキ該地ニハ王アリ且以前ニハ獨立ナリシ制御シ難キ地方酋長アリシナリ又

長ハ王ニ服スルニ甚ク薄シ又ニユウズイランドニ於テモ斯ノ如ク又マダカスガルニ於テモ百年前マデハ斯ノ如クナリシナリ而シテ此段落ニ於テ行ハル、政治機關ノ性質ハ中央酋長及ヒ地方酋長ガ各區ノ人民ニ對シテ行フ所ノ權力ノ度ヲ見テ之ヲ知ル可キナリタヒチニ關シテ或ル書ニ記スル所ヲ見ルニ地方酋長ノ權力ハ其各自ノ地方ニ於テハ無限ニシテ全人民ニ對スル權力ノ如キモ反テ王ノ上ニ在リト云フ「クツサ」民族ニ關シテリクテンスタイン氏ノ說ニ曰ク該民族ハ凡テ王ノ臣下ナリ地方酋長ノ制ヲ受クル人民及ヒ地方酋長其人ノ如キモ王ノ臣下ナリ然レモ人民ハ深ク地方酋長ニ懷キ其命ニ從ヒ王ニ抗スル程ナリトクリュックシャンク氏ノ說ニ曰クアシヤントイニ於テハ酋長ノ奴隸ハ其酋長ニ於テ之ヲ諾スルニ非ザレハ王ノ命ヲ奉スルヲ肯ンセズト又アラウカニア民族中ニハ三等ノ酋長アリ

ア之ニ關シテサムソン氏ノ説ニ曰ク最小ノ地方ヲ支配スル小
 首長ノ權力ハ大首長ノ權力ニ比スレハ之ヲ失フノ危険少ナシ
 ト斯カル例ハ更ニ之ヲ掲クルコ容易ナリト雖也以上ニ記シタ
 ル二三ノ例ヲ見ルキハ以テ余輩ヲシテ封建時代ニ行ハレタル
 中央首長ト地方首長トノ關係ヲ想起セシムルニ足ルナリ蓋シ
 封建時代ニ於テ諸侯ガ固ク王ニ服従スルニ至リシ迄ニハ久シ
 キ歲月ヲ經過シ此際ニ在テハ諸侯ガ王ニ叛キテ地方權ノ再興
 スルアリテ人民ハ中央首長ニ對スルヨリモ地方首長ニ對シテ
 多ク忠義ヲ盡セシナリ
 今余輩ヲシテ前文ニ暗示セシ所ヲ更ニ特記セシメヨ即チ地方
 統制機關ガ中央統制機關ニ服従スルニ至ル以所ノ者ハ通常他
 ノ集成本ト爭ハンガ爲メニ一集成本ノ元素ノ協力スルニ原因
 スルコト是ナリ羽虫及ヒ爪ヲ具ハタル甲虫ノ如キ前段ニ神經ノ

中央房ヲ有スルトシテ記セシ所ノ高等ナル環体類ノ動物ト微
 ナル運動器ヲ有スル所ノ數多ノ同様ナル關節ヨリ組成セル下
 等ナル環体類ノ動物トテ對照スルキハ一ハ神經ノ中央房ヲ有
 シ一ハ之ヲ有セサルノ異ナルアルノミニ非スシテ又一ハ有効
 ナル攻撃防禦ノ器ヲ有シ一ハ之ヲ有セザルノ異ナルアリトス
 蓋シ其高等ナル者ニ在テハ食トス可キ他ノ動物ト爭フニ當リ
 テ其全体ヲ保護スルノ用ヲ爲ス所ノ外部ノ肢體ノ發達スルニ
 從ヒ後部諸關節ノ神經節ハ首部關節ノ神經節ニ制セラレ、ニ
 至ル者ニシテ神經ノ中央房ハ外部機關ノ協力ヨリ起ル者ナリ
 社會ノ政治機關ニ於ケルモ亦斯ノ如シ一社會ノ各區分ガ互ニ
 内部ノ爭鬪ヲ起シテ相敵對スル間ハ之ガ爲メニ生スル服従ハ
 區々ニシテ未ダ政治機關確立セザルナリ然レ他ノ社會ト戰
 ハンガ爲メニ中央及ヒ地方ノ首長ガ相協力スルニ至ルニ從ヒ

政治機關ハ益々確立スルナリ日耳曼ノ近時ノ變革ノ如キハ現
 吾人ノ目前ニ於テ戰爭上ノ同盟ノ爲メニ政治上ノ集權ヲ起
 ス一ノ實例ヲ示セル者ニシテ中古時代ニ於テ屢々地方ノ領主
 ナ併セテ王政ノ起リシガ如キモ亦之ガ實例ナリ
 内部ヲ統制スル所ノ中央ノ政治機關ハ外敵ト戰ハンガ爲メニ
 全体ガ共同ノ作用ヲ爲スヨリ起ル者タルトハ軍兵ト國民トノ
 原ト同一物ナルヲ思ハバ以テ容易ニ其理ヲ了解ス可キナリ
 最始ノ民族中ニ於テハ各人凡テ勇者タルガ故ニ開化ノ初段落
 ニ在テハ軍兵トハ則チ奴隸以外ノ成年男子ノ總稱ナリ社會ノ
 元素中ニテ苟モ政治上ノ生活ヲ營ム者ハ凡テ軍兵ノ中ニ渾包
 セラルトナリ實ニ軍兵ハ則チ國民ノ運動セル者ニ國民ハ則
 チ軍兵ノ靜息セル者ナリ故ニ平和ノ時ニ於テハ内地ニ在テ地
 方ノ首長トナリ總大將ノ制ヲ受ケテ共同ノ敵ト戰フ時ニ於テ

物動ニ於テ
 モ社會ニ於
 テモ其發達
 スルニ從ヒ

ハ出テハ自己ノ卒ニル兵隊ノ指揮者トナル如キ人ハ遂ニ大首
 長ノ命ヲ奉スル小首長トナリ戰爭止ミシ後ト雖モ尙ホ戰爭ノ
 際ニ養成セシ服從ノ習慣ハ多少存スルカ故ニ戰爭間ニ發達セ
 ル軍制ハ平和間ノ政制トシテ存スルニ至ルナリ
 然レモ余輩ガ主トシテ茲ニ記セント欲スル所ハ社會ノ合併セ
 ンレ隨テ中央統制機關ノ發スルキハ初メ獨立ナリシ地方統制
 機關ハ漸ク獨立ノ性質ヲ失テ從屬ノ性質ヲ起シ遂ニ中央統制
 機關ノ命ヲ奉スル代理者トナルニ至ルトハ恰モ前段ニ記シタ
 ル各關節ノ神經節ガ頭部ノ神經節ノ制ヲ受クルニ至ルト相異
 ナラザルヲ即チ是ナリ
 第二百五十三節、斯ノ如ク統制系ニ中央ノ主宰部ト地方ノ從屬
 部トノ殊別ヲ生スルト同時ニ又動物ニ於テモ社會ニ於テモ中
 央ノ主宰部ハ益々大ニ加ヘ且複雜ヲ加フルナリ

統制系ノ中
央部ハ益々
大ニ加ヘ且
複雑ニ加フ

動物ニ於テハ傳告ヲ與フル所ノ五官ト傳告ニ應シテ指揮セラ
ル、所ノ四肢トテ發シ互ニ協力シテ餌食ヲ捕ヘ敵ヲ避クルヲ
得シニハ傳告ヲ受ケ調和セル刺衝ヲ發スル所ノ一ノ中央部ナ
クシバアル可ラザルナリ而シテ五官及ヒ四肢ノ愈々發達スルニ從
ヒ此中央部ハ益々多種ナル傳告ヲ受ケ益々調和セル運動ヲ指揮セ
ザル可カラザルガ故ニ勢ヒ其部分ニ數多ノ殊別ヲ生シ且其大
ニ加ヘザルヲ得ズ環休類ノ上下ノ動物ヲ通觀スルニ其高等ナ
ル者ニ至テハ視官、聽官及ヒ感動ヲ受クル他ノ神經節ハ重モナ
ル足及ヒ爪ノ運動ヲ指揮スル所ノ神經節ト共ニ同一所ニ集合
セルヲ知ルナリ又脊髓類ノ上下ノ動物ヲ通觀スルニ其最下等
ナル者ニ在テハ腦髓ノ指揮ヲ受ケザル地方神經節ヨリ成ル所
ノ各部分殆ト殊別ナキ神經線アルノミナシ且其高等ナル者ニ
至テハ小神經節ノ數多相群集シ之ニ附屬セル神經線アリテ此

等ノ小神經節中ヨリ發達スル所ノ或ル中央ノ主宰部ハ此等ノ
小神經節ヲ經由シテ其命令ヲ發スルヲ知ルナリ之ト同シク社
會ニ於テモ最高權ヲ得タル政治機關ハ益々異ナル職掌ヲ有スル
所ノ異ナル部分ヲ生シ漸次ニ大ニ加ヘ且複雑ニ加フルナリ即
チ首長中ノ大首長ハ其統制ヲ行ハンガ爲メニ輔官ヲ用ユルニ
至ル者ニシテ彼レハ傳告ヲ受取ル可キ人、諮議ヲ爲ス可キ人、其
命令ヲ實行ス可キ人等ヲ自己ノ身邊ニ集ムルナリ彼レハ最早
單獨的ノ主治元素ニ非スシテ宰相ノ萌芽ヲ成ス所ノ數多ノ主
治元素中ノ中央點トナルナリ而シテ政治機關ノ斯ク複雑ニ加
フルハ最初ニハ概テ一時ニ止マリ漸次ニ永續スルニ至ル者ニ
シテ各地諸民族ハ此進歩ノ種々ノ段落ヲ示セリサントウツチ
諸島ニ於テハ王及ヒ奉行ハ各々自己ニ待屬シテ其命令ヲ實行
スル所ノ若干ノ小酋長ヲ有セリ又エルリス氏ノ説ニ據レハタ

比チトノ王ハ自己ニ助言ヲ與フル所ノ大宰相及ヒ二三ノ小酋
 長ヲ有スルト云フ又タルナリ氏ノ説ニ據レバサモアニ於テハ
 各地方ノ首長ハ大宰相ノ如キモノヲ有スルト云フ又亞非利加
 ノ諸民族ヲ見ルニ一人ニシテ支配スル有様ヨリ代理人ノ手ヲ
 經テ支配スル有様ニ變進スル種々ノ段落ヲ示セリベキニアナ
 民族ノ一部ナル「ベツトシヤ」民族中ニ於テハ王ハ自カラ其命令
 ヲ執行シ罪人ヲ死刑ニ處スル時ノ如キモ自カラ之ヲ執行ス
 ルナリ又同民族ノ他ノ一部ナル「マツトシヤ」民族ニ關シテ
 リクテアシヌタイン氏ノ言フ所ニ據レバ人民ノ騷擾スルニ當リ
 テ王ハ犀ノ革ヲ以テ作リタル恐ル可キ鞭ヲ振り廻ハシ中ルニ
 任セテ左右前後ヲ打チ悉ク群民ヲ自己ノ面前ニ追ヒ集メ而シ
 テ廷臣ハ王ノ爲ス所ニ倣ヒ同様に事ヲ爲スト云フ又同民族ノ
 他ノ一部ナル「ハチヤン」民族ニ關シテホルチル氏ノ言フ所ニ據レ

バ酋長ノ兄弟ノ職トスル所ハ之ヲ要スル如キ場合ニ於テ酋長
 ノ命令ヲ傳ヘ而シテ其實行セラル、ヲ監視スルニ在リト云フ
 又「クツサ」民族ノ如キハ王及ヒ之ニ從屬スル諸酋長ノ爲メニ支
 配セラル、者ニシテ諸酋長ハ各自己ノ評議官ヲ有シ而シテ王ノ
 大評議會ハ特別ナル村落ノ酋長ヨリ組成セラル、ト云フ又「ズ
 ール」民族ノ王ハ其特選セル二人ノ兵士ニ權力ヲ分チ此等ノ
 兵士ハ民族中ノ最高ノ判事ナリト云フ而シテ更ニ大ニシテ更
 ニ組織ノ整ヒタル民族中ニ於テハ中央統制部ノ大ト複雑トナ
 加フル所ノ附屬機關モ更ニ多クシテ且確立セリダホミトニ於
 テハ王ノ身邊ニ在ル所ノ二人ノ大宰相ト其他種々ノ官吏トノ
 外ニ二人ノ判事アリテ其何レカノ一人ハ殆ト常ニ王ニ待シテ
 國內ニ起ル各事件ヲ奏報スルト云フ而テホルトン氏ノ説ニ據
 レバ各官吏ハ何レモ一人ノ附屬官吏ヲ有シ此等ノ附屬官吏ハ

實際ニ於テハ間諜ナリト云フ左レバダホミトニ於テハ王ハ自
 カラ聽訟ノ事ニ與カリ且行刑人ノ不熟練ナルキハ自カラ刀ヲ
 執リテ斬首ヲ行フト雖モ尙ホ自己ノ身邊ニ代理官ヲ置キ此等
 ノ職掌ハ漸次ニ代理官ノ手ニ移ルノ傾向アルヲ知ル可キナリ
 其狀恰モ前段ニ記セル複雑ナル神經系ニ於テ中央ノ主宰部ガ
 之ニ附屬スル神經節ヲ經由シテ傳告ヲ受ケ命令ヲ發スルト同
 シキナリ而シテ開化國ニ於テモ同様ノ變遷ノ起リシヲ我カ英
 國ニ於テモウレレム、セ、コシクエーロル王カ「ジャストイシアル」官ヲ以
 テ司法上及ヒ財政上ノ最高ノ官吏トナシ且此官ノ下ニ一体ノ
 同僚ヲ置テ大法官ヲシテ之ガ首坐ニ立タシメシヲ、此「ジャストイシ
 アル」官ハ變遷シテ大宰相トナリ其同僚ハ又變遷シテ最高ノ政
 院トナリ財政上并ニ裁判上ノ事及ヒ法律ノ改訂ニ從事スルニ
 至リシヲ、爾後歲月ヲ經テ其取扱ヘル職掌ニ種々ノ殊別ヲ生シ

更ニ附屬官ヲ設クルニ至リシヲノ如キハ之ヲ詳記スルヲ要セ
 ザルナリ蓋シ中央ノ統制機關ハ其大ヲ加フルニ從ヒ常ニ異ナ
 ル職掌ヲ有スル異ナル部分ヲ生シテ益々其複雑ヲ加フル也而
 シ夫ノ神經系ニ於テハ司令部ト執行部トノ殊別ヲ生シ複雑ノ
 或ル點ニ達シタル後ハ更ニ考察部ヲ生シ此考察部ハ最初ニハ
 微ニシテ明ナラズト雖モ終ニ最モ盛榮ナル有様ニ達スルト同シ
 ク社會ノ政治機關ニ於テモ政治事務ノ遠大ノ結果ヲ考察スル
 所ノ議會ヲ生シ最初ニハ中央統制部ノ一附屬物タルニ過ギズ
 ト雖モ終ニ他部ニ越ヘテ最大ノ勢力ヲ有スルニ至ルナリ而シ
 最後ニ起ル所ノ最高ノ統制機關タル此考察部ハ動物ニ於テモ
 社會ニ於テモ同様ノ職掌ヲ行フト明ナリトス人類ニ於テハ大
 腦ハ重モニ將來ニ關シ一般ニ行爲ヲ計畫指揮スルヲ從事シ
 通常ノ舉動ニ至テハ一層下等且單純ニ以前ニ發シテ所ノ神

經節ニ之ヲ放任シ加之機械上ノ職業ノ如キモ之ニ放任スルナ
 リ之ト同シク社會ノ考察部タル議會ハ常規ノ事務ハ之ヲ諸種
 ノ行政機關ニ放任シ專ラ目前ノ事ニ關セザル大勢ニ注意シ利
 害ヲ異ニセル諸部人民ノ求ムル所ヲ察シ互ニ其利害ヲ平均セ
 シメシメテ勉ムル也且此考察部ハ動物ニ於テモ社會ニ於テモ
 直接ニ告知ヲ受ケズ又直接ニ命令ヲ發セズシテ劣等機關ノ手
 ナ經テ其判斷ノ資料トナス可キ事實ヲ傳ヘ受ケ又劣等機關ノ
 アラズ運動ノ中心ニモアラズノ唯運動府ヲ如何ナル運動ヲ
 命令セシム可キ乎ヲ判斷セシメガ爲メニ感覺府ヨリ傳告スル所
 ノ事實ニ就テ考察スルヲ職トスルノミ之ト同シク發達セル
 立法院ハ直接ニ事實ヲ感スル能ハサルニ非スト雖モ尙ホ通常
 ハ款圖書、新聞紙、國會委員及ヒ委任官吏ノ報告書、内閣ノ諸相ノ

陳述等ニ由リテ間接ニ之ヲ感シ而シテ其下ヲセル判斷ハ直接
 ニ自己ノ命令ヲ以テ之ヲ實行セシムルニ非スシテ行政部司法
 部等ノ如キ劣等機關ノ手ヲ經テ之ヲ實行セシムルナリ
 同時ニ起ル今一ノ變化ヲ記セザル可カラズ蓋シ動物ニ於テモ
 社會ニ於テモ統制系ノ中央部ノ醇化スル際ニ在テ其早ク發シ
 タル部分ハ益主位ヨリ賓位ニ移ルノ傾向アルナリ夫ノ受感及
 シ傳令ノ纖維ヲ具フル單純ナル神經節ハ毫モ他部ノ爲メニ助
 ケラル、トナク又妨ケラル、トナクノ自ラ感テ受ケ自ラ令テ
 發スルナリ然レモ此中央神經節ノ邊圍ニ種々ノ感覺ヲ傳告ス
 ルノ神經節ト種々ノ運動ヲ起ス可キ刺衝ヲ傳達スルノ神經節
 トノ起ルニ及ンテハ最初ニ主位ヲ占メシ此神經節ハ漸ク此等
 ノ新發ノ神經節ニ依屬シ自己ハ反テ感覺府ノ受ケタル衝動ヲ
 漏ラシメシメガ爲メニ之ヲ運動府ニ通スル媒介者タルノ性質ヲ

得ルニ至ルナリ而シテ附屬ノ部分益増加シ此等ノ部分ヨリ最初
 ノ中央神經節ニ傳送スル所ノ感覺其數ト種類トヲ加ヘ隨テ運
 動府ニ通ス可キ刺衝増加スル時ハ此中央神經節ハ益々感覺府ヨ
 リ刺衝ヲ運動府ニ送ルノ通路トナリ其行フ所ハ益々一定不變ノ
 機械的ノ作用トナル也請フ之ガ一例トシテ脊隨類動物ノ進歩ノ
 三段落ヲ記セン蓋シ其下等ナル者ニ在テハ各部分殆ト殊別ナ
 キ一線ノ脊隨アリテ其各部分ニ於テ其々ニ体中ノ感覺神經ヲ
 受ケ又其各部分ヨリ其々ニ運動神經ヲ体中ニ送ル也即チ此段
 落ニ於テハ脊隨線ヲ以テ最高ノ主治者トナス也而シテ更ニ進ミ
 タル脊隨類動物ニ於テハ此脊隨線ノ上部ニ位スル所ノ呼吸神
 經節及ヒ感覺神經節ハ脊隨線ノ他ノ部分ニ比スレバ多ク感覺
 ヲ受ケ之ヲ運動ニ漏サレメシガ爲メニ脊隨線ノ他ノ部分ニ送
 ル也故ニ脊隨線ノ他ノ部分ハ此等ノ神經節ノ爲メニ支配セラ

レ其行フ所ハ益々一定不變ノ機械的ノ作用トナル也即チ此段落
 ニ於テハ感覺神經節ヲ以テ最高ノ主治者トナス也然ルニ更ニ
 進ミタル脊隨類動物ニ至テハ大腦小腦發シ夫ノ感覺神經節及
 ヒ之ト聯絡スル所ノ運動神經節ハ益々感覺ノ傳告者トナリ刺衝
 ノ傳達者トナル也即此段落ニ於テハ最後ニ發シタル大腦小腦
 ハ最高ノ主治者トナリ之ヨリ以前ニ起レル諸神經節ハ凡テ之
 ガ從屬者トナル也國王宰相立法院ノ關係モ亦斯ノ如シ最初ニ
 於テハ國王ハ政治上ノ首長トシテ最モ多ク職掌ヲ行ヒ自己ノ身
 邊ニ輔官ヲ集メテ之ヲ判斷ノ資料トナス可キ事實ヲ報セシ
 メ且其判斷ヲ實行セシムルト雖ヒ漸次ニ國王ノ判斷ト稱スル
 者ハ實ハ其顧問者及ヒ助言者ノ判斷トナリ又國王ノ命令セル
 施政ハ多クハ行政官ニ於テ矯ムルニ至ルナリ即チ宰相ガ眞ノ
 主治者トナリ最初ノ主治者タル國王ノ手ヲ經テ統制ヲ行フニ

至ルナリ而シテ更ニ社會ノ進歩スルニ及ビ立法院ナル者起リ
 宰相亦從屬ノ有様ニ陷ルニ至ルナリ蓋シ宰相ハ議院多數ノ贊
 助ニ因リテ其位地ヲ保ツ者ニシテ實ニ議院多數ノ意見ヲ代行
 スル所ノ代理者タルニ過ギザレバナリ斯ノ如ク宰相ガ初メ國
 王ガ其實權ヲ失ヒシト同シク益々考察的ノ職ヲ失テ執行的ノ職
 ヲ得ルニ從ヒ國王ノ行フ所ハ更ニ一定不變ノ機械的ノ作用ト
 ナリ國王ノ職掌ハ舉ケテ官吏之ヲ行ヒ國王ノ勅詞ト云フモ實
 際名義ノミトナリ國王ノ制可ト稱スルモ實際虛式ノミトナル
 ナリ社會醇化ノ此大法ハ我カ英國憲法ノ歴史ニ於テ最モ能ク
 之ヲ證スル所ニシテ又夫ノアゼンノ政治上裁判上行政上ノ諸
 制度ノ發達ノ狀ヲ見ルモ以テ之ヲ證ス可キナリ即チ從來ノ古
 官職存セザルニ非スト雖モ益々從屬ノ位地ニ陷リ單ニ活動ナキ
 定例ノ職務ヲ行フニ至ルナリ

統制部ノ命
 令ヲ通スル
 機關ノ發達
 法ノ如キモ
 動物ト社會
 ト相同シ

第二百五十四節、以上ニ於テ統制系ノ一般ノ職掌ト其中央部ノ
 構造トヲ論シタルバ次キニハ據テ以テ統制ノ實行セラル、機
 關ヲ論ゼサル可カラズ何トナレハ動物ト社會トヲ問ハズ凡ソ
 全体ノ作用ヲ調和セシメシニハ中央統制部ヲ要スルノミナラ
 ズ又此統制部ガ元素ニ支配ヲ及ボスノ方便ナクンバアル可カ
 ラザレバナリ

動物界ヲ通觀スルニ其下等ナル者ニ於テハ此方便殆ド毫モ整
 ハズト雖モ其高等ナル者ニ至テハ十分ニ整ヘリ海綿及ヒ「タル
 ラ」シ「コルリ」類ノ動物ノ如キハ中央統制機關ノ毫モ存スルナ
 ク又元素ヨリ元素ニ刺衝ヲ通スルノ方便ナクシテ外圍ノ力ニ
 對シテハ共同ノ作用ヲ起スヲ能ハザルナリ又「ヒドロゾア」類及
 ヒ「アクトイノズア」類ノ動物ニ於テハ見ル可キ程ノ中央統制機關
 存セズノ唯微分子ノ波動ニ因テ全体ノ諸部分ノ間ニ刺衝ヲ相

通シ緩カニ遲緩ナル感應ヲ起スノミ而シ若シ此等ノ動物ノ感
 覺器ニ強ク觸ル、キハ全体漸クニ屈縮シ又其感覺器ノ滋養質
 ニ觸ル、キハ全体漸クニ之ヲ圍ミテ閉ツル也左レハ此等ノ動
 物ニ於テハ一種ノ刺衝ノ全体中ニ通スルアリテ其諸部分ハ全
 體ノ利益ノ爲メニ微弱且遲緩ナル共同作用ヲ起スヲ知ル可シ
 而シテ更ニ進ミタル「ポリステア」類ノ動物ニ至テハ特別ノ中央神
 經節起リ且前記ノ動物ニ於ケルガ如クニ一般ニ分子ヲ經由シ
 テ遲緩ニ刺衝ヲ通スルニ非スシテ一定ノ線ニ沿テ迅速ニ之ヲ
 通スル所ノ特別ノ神經纖維起ルナリ故ニ此類ノ動物ハ外圍ノ
 突然ノ力ニ應シテ迅速ニ全体諸部分ノ共同作用ヲ起スヲ得ル
 ナリ而シテ通信線ノ益々増加シ其連接ノ益々整備スルニ從ヒ
 發達セル中央神經節ノ命令スル如キ複雜ナル共同作用ヲモ能
 ク起シ得ルニ至ルナリ今マ社會ニ於テモ通信機關ノ發達ニ同

様ノ段落アルコトハ甚タ明ナリトス政治機關ノ未タ起ラザル如
 キ民族ノ住スル地方ニ於テハ外敵ノ來襲ヲ受クルモ其新聞ハ
 人ヨリ人ヘ傳フルガ故ニ全地方ニ達スルハ甚タ遲緩ナリ故ニ
 離散セル元素ノ相協力スル能ハザル者ハ中央統制機關ノ存セ
 ザルニ因ルノミニ非スシテ又通信機關ノ存セザルニ因ルナリ
 然レモ外敵防禦ノ爲メニ協力シ爲メニ政治上ノ統制ノ少シク
 行ハル、キハ遠隔ナル同盟者ニ刺衝ヲ通スルノ機關起ルナリ
 夫ノ「ヒートリアン」民族ノ如キモ報知ヲ與ヘンガ爲メニ烽火ヲ舉
 クルナリ「スマニア」民族及ヒ「タンゴ」民族ノ如キモ亦相圖ノ
 火ヲ舉クルナリ而シテ或ル事件ノ起ルニ及ンテ諸部分ノ間ニ
 曖昧ナル協力ヲ起ス此方法ハ他ノ未開民族中ニモ行ハル、ナ
 リ然レモ更ニ進歩シ攻撃防禦ノ爲メニ一層多種ニシテ且確定
 セル協力ヲ行ハザル可カラザル如キ民族ニ於テハ使者ヲ用ニ

ルナリ例セハフイシ一民族中ニ於テハ新聞及ヒ命令ヲ傳ヘンガ爲メニ人ヲ送り又或ル記憶ヲ助クル方法行ハレ、ナリ又ニユウズイラノド民族ハ戦争ノ際ニ於テハ往々記號ヲ附シタル果實ノ殼ヲ送リテ遠隔ナル民族ニ報知ヲ與フルコトアリ而シテ古昔ノ亞米利加ノ諸民族ノ如キ稍々進ミタル民族ニ於テハ新聞ヲ通知スル此方法大ニ發達セル者アリメキシコニハ飛脚アリテ此等ノ飛脚ハ一驛六英里ノ間ヲ疾走シ相續ヒテ報知ヲ送リシ者ニシテ此方便ニ依リ一日ニ三百英里ノ遠キニ報知ヲ送ルヲ得タリト云フ又ピリウニ於テモ叛亂ノ起リシキハ火及ヒ煙ヲ擧ケテ相圖トナシ且前記同様ノ飛脚アリシナリ斯ノ如ク初メニ於テハ社會ノ全体ヲ通シテ元素ヨリ元素ニ刺衝ヲ傳フルト遲緩ナリト雖モ社會ノ進歩スルニ從ヒ一定ノ線路ニ由リテ迅速ニ之ヲ傳フルコトナリ隨テ迅速ニシテ整備セル協力作用

ヲ行ヒ得ルニ至ルナリ且統制系ノ此部分ノ如キモ他ノ部分ト同シク外敵ニ對シテ協力作用ヲ行フノ必要ヨリ發スル者タルコトヲ記セザル可カラズ蓋シ更ニ後世ニ至リハイランドノ諸民族中ニ於テハ軍兵ヲ催促センガ爲メニ十字架ヲ携ヘタル疾走者ヲ諸方ニ廻ラシムルノ方法行ハレ又之ト同シク古昔ノ英國ニ於テモ通信ハ專ラ主治者ト其代理者トノ間ニ行ハレ且重モニ軍事ニ關セシナリ而シテ斯カル政府ノ通信ノ外ハ全社會ニ報知ノ達スルヲ甚タ遲緩ニシテ政府ノ通信ト雖モ古昔ノ粗惡ナル道路ニ於テハ迅速ナルヲ能ハザリシナリ又通信ノ遲緩ナルハ近世ニ至ルマア然リシコトニシテ女王エリズベスノ死セシコトハデヴォンノ或ル地方ニ於テハ朝廷ガ既ニ喪ヲ脱セシ後ニ至ルマア知ラレザリキ又クロムウールガ英國ノ守護職トナリシ新聞ハ十九日ヲ經テ始メテブリツフウターニ達シタリキ且

又諸部分ノ協力ニ要スル刺衝ヲ傳フルノ遲緩ナリシ一事ノ外ニ斯ク傳ヘラル、刺衝ハ初メニハ其分量極メテ小ニシ其種類極メテ少ナカリシニ漸次ニ其數ト種類トヲ加フルニ至ルヲモ記セザル可ラズ蓋シ初メニハ僅々ノ場所ニ於テ不規則ナル間斷ヲ經テ一ノ主治官ヨリ他ノ主治官ヘ軍事上若クハ政治上ノ一書信ヲ傳フル飛脚アリシノミナレト終ニ日々及ヒ一日ニ數度數萬通ノ郵信ヲ各方位ノ各階級ノ人民ニ發送シ協力ヲ起ス所ノ種類ヲ異ニセル多量ノ刺衝ヲ迅速ニ傳フルノ有様ニ達スルナリ而シテ社會ノ更ニ進歩スルニ及ヒ一層發達セル二種ノ通信機關ヲ生スルニ至レリ教育ヲ受ケタル人民間ニ絶ヘズ書狀ヲ受授スルニ及ヒ此書狀ハ發達シテ新聞信書トナレリ此新聞信書ナル者モ初メニハ重大事件ノ起リシキニノミ之ヲ發行シ其一部ノミニ文字ヲ填シテ餘白ヲ殘セシト雖モ漸次ニ

全面悉ク文字ヲ填シテ餘白ナキニ至リ時々ノ刊行ハ變シテ定時刊行トナリ即チ更ニ發達シテ新聞紙トナレリ爾來此新聞紙ハ愈々益々其大ヲ加ヘ繁ヲ加ヘ種類ヲ加ヘ發行度數ヲ加ヘ之ガ爲メニ以前ニハ久シクシテ且不规则ナル間斷ヲ經テ傳ヘラレタル微弱遲緩ナル報知ハ今日ニ於テハ一日ニ二三回ノ明瞭且迅速ナル報知トナリ全國中ノ數百萬ノ人民ハ千種萬様ノ刺衝及ヒ沮止ヲ受ケテ迅速ニ相互ノ舉動ヲ調和セシメ得ルニ至レリ而シテ終ニ社會ノ政治上軍事上商業上等ノ協力ヲ起ス所ノ之ヨリモ遙カニ迅速ナル一ノ通信機關發セリ此機關ハ初メ合圖傳信機トシテ起リシ者ニシテ野蠻人が舉クル號火ト其理ヲ同フシ唯一ハ單一旦曖昧ナル報知ヲ通スルニ過ギズト雖モ一ハ複雜且明瞭ナル數多ノ報知ヲ通シ得ルノ異ナルアルノミ然ルニ此合圖傳信機ハ更ニ發達シテ電氣傳信機トナリ其速カ

ナルコ實ニ言フ可カラザル者アリテ如何ナル種類ノ報知ト雖
 此如何ニ混雜セル報知ト雖此之ニ由リテ明瞭ニ通スルヲ得ル
 ナリ且合圖傳信機ノ如キハ重モニ政府ノ爲メニ二三ノ方位ニ
 刺衝ヲ通スルニ過ギザリシト雖此電氣傳信機ハ各方位ニ向テ
 建設セラレ如何ナル方位ニ對シテモ瞬間ニ信ヲ通シ又如何ナ
 ル目的ニモ之ヲ用ユルヲ得ルナリ而シテ此電信ノ便ノ爲メニ
 離散セル社會元素ノ相感應スルノ速カナルハ凝固セル動物元
 素ニ比シテ同シキノミナラズ反テ之ニ過クル者アリ社會ノ元
 素ハ離散スルガ故ニ動物ノ元素ニ於ケルガ如クニ神經ニ因テ
 刺衝ヲ通スルヲ能ハスト雖此尙ホ言語ニ因テ之ヲ通シ得ル
 ハ第二十二節ニ於テ之ヲ論シタリ然レモ今ヤ連續セル針
 金ノ線ヲ利用シテ社會ノ全体中ニ極メテ迅速ニ刺衝ヲ通スル
 ヲ得テ假令社會ヲシテ動物ノ如クニ凝固セル全体ヲ成サシム

ルモ反テ之ニ及バザルナリ蓋シエドインバロー府ノ一市民ガ電
 信ニ因テ倫敦府ノ一市民ニ通信ヲ與フルニ要スル時間ハ電信
 局ニ電信ヲ依頼シ及ヒ電信局ヨリ之ヲ受取ルノ時間ヲ算入ス
 ルモ尙ホ甚々僅少ニシテ此二府ノ間ニ動物ノ如ク肉ノ連續ス
 ルアル場合ニ於テ神經ニ因テ刺衝ヲ通スルニ要スル時間ノ四
 分ノ一ヨリモ更ニ僅少ナリトス且又動物ニモ社會ニモ同様ノ
 通信ノ需要アリテ隨テ通信機關ノ構造モ亦同一ナルガ如キモ
 茲ニ之ヲ記セザル可カラズ社會ノ中央都會ニ於テハ數多ノ電
 信線會合シテ大團房ヲ成シ之ヨリ遠キニ達スルニ從ヒ其間ニ
 小團房ヲ起シ更ニ又之ヨリ分派セル線路ニ於テ一層ノ小團房
 ヲ發スルナリ其狀恰モ動物ニ於テ神經ノ中央ノ大團房ガ四方
 ニ達スル間ニ於テ處々ニ支節ヲ生シ又此等ノ支節ノ間ニ更ニ
 小支節ヲ生スルニ異ナラザルナリ又大都會ニ於テハ此等ノ通

信線ハ通常鐵道及ヒ道路ノ如キ重モナル分配機關ト相併行ス
 ルト雖ヒ其愈々岐分スルニ從テ往々相併行セザルニ至ルナリ
 其狀恰モ脊髓動物ニ於テ神經幹ハ通常動脈ト相併行スルト雖
 ヒ其邊隅ニ達スルニ及ンテハ相併行セサルニ至ルニ異ナラザ
 ルナリ又動物ニ於テモ社會ニ於テモ一通信線ノ終始分配機關
 ニ併行スルアリ即チ動物ニ於テハ到ル所ニ動脈ニ伴隨スルノ
 一神經アリテ此神經ハ動脈ニ由リテ流動スル所ノ血液ノ運行
 テ規制スルヲ職トスルナリ之ト同シク社會ニ於テモ到ル所
 ニ鐵道ニ伴隨スル所ノ一電信線アリテ鐵道ニ由リテ流動スル
 貨物等ノ運行ヲ刺衝セ若クハ沮止スルヲ職トスルナリ且又
 動物ニ於テモ社會ニ於テモ各自ノ通信線ノ相分隔セラル、
 ノ如キモ記スルニ足ルノ事實ナリ社會ノ体中ニ傳フル刺衝ト
 動物ノ体中ニ傳フル刺衝トハ全ク其性質ヲ異ニスルニモ拘ラ

ス尙ホ一定ノ線路ニシテ限リテ之ヲ通セザル可カラザルヲハ
 二者相同シトス空架電信線ハ他ノ方法ニ因テ分隔セラル、ト
 雖ヒ地下電信線ニ至テハ動物ノ神經纖維ノ分隔セラル、ト同
 様ノ方法ヲ以テ分隔セラル、モ即チ一團房中ニ併行スル所
 ノ諸線ハ何レモ覆フニ不傳的物質ノ鞘ヲ以テシテ互ニ之ヲ分
 隔スルヲ猶ホ動物ニ於テ同一ノ幹中ニ併行スル所ノ諸神經纖
 維ガ各々髓ノ鞘ヲ被リテ相分隔セラレ、ガ如キナリ
 左ノハ前文述ズル所ヲ概括セバ動物ニ於ケルガ如ク社會ニ於
 テモ諸部分ガ益々相依ルノ作用ヲ行ハンニハ益効驗ヲ加マ
 所ノ統制機關ナクシバアル可カラズノ隨テ發達セル中央統制
 部ノミナラス此統制部ノ命令ヲ布クノ方便ヲモ要スルト云フ
 ニ在リ而シテ余輩ハ動物ノ醇化スルニ從ヒ統制ヲ助クル所ノ益
 効驗ヲ加フル通信機關ノ發スルト同シク社會ノ醇化ニ於テモ

統制系ノ三
大部ニ分ル
、ガ如キモ
動物ト社會
ト相同シ

亦然ルヲ示セリ
第二百五十五節、今一ノ一層著明ニシテ且一層緊要ナル類同ノ
點ヲ示サバ、ル可カラズ蓋シ動物ニ於テモ社會ニ於テモ統制系
ノ醇化スル際ニ在テ二大部ニ分レ終ニ此二大部ノ外ニ更ニ半
バ之ト相分レタル第三部ヲ生スルニ至ルナリ而シテ統制系ノ
斯ク三大部ニ分ル、原因ノ如キモ動物ニ於テモ社會ニ於テモ
相同シキガリ
前諸章ニ於テ屢々例解セシ所以醇化ノ大法ハ職掌ノ異ナルニ
從ヒ異ナル構造ヲ起スト云フニ在リ職掌ノ最モ強ク異ナルニ
ハ又最モ強ク異ナル構造ヲ起スト云フニ在リ此理ニ從テ最
初ニ區分セラレタル三大系ニ中ニ於テモ亦同一ノ理ニ從ヒ更
ニ第二ノ區分ヲ起スト云フニ在リ故ニ動物ト社會トヲ問ハズ
苟モ統制ノ職掌ニシテ大ニ異ナレハ二部分ノ殊別ヲ生スルハ

ハ統制機關ノ如キモ之ニ應シ二部分ニ區別セラレ各自稍々獨
立ニ其職掌ヲ行フニ至ルナリ豫メ推知シ得可キ所ニシテ事實
ニ徴シテ果シテ其然ルヲ見ルナリ
余輩ガ發達セル動物ニ於テ見ル所ノ根本ノ殊別ハ外圍ノ事物
ヲ取扱フ所ノ外部機關ト供給ヲ司下ル所ノ内部機關トノ殊別
是ナリ而シテ有効ナル協力作用ヲ行ハシニハ外部機關ノ作用
ト内部機關ノ作用トガ相調和スルヲ要スルノミナラズ又内外
機關中ノ各部分ノ作用モ互ニ相調和スルヲ要スルナリ各手各
足中ノ骨及ヒ筋ガ互ニ節度ヲ合シテ相協力シ又諸手足ガ凡テ
有効ニ相協力シ又手足ノ運動ガ觸官視官聽官等ノ感覺ニ應シ
テ相調和シテコソ始メテ能ク餌食ヲ捕ヘ敵ヲ避クルヲ得ルナ
レ而シテ諸種ノ感覺器ト運動器トノ數多ノ作用ヲ調和セシメ
ニハ其共同ノ作用ノ愈々多様複雜ニシテ強キニ從ヒ愈々大ニシ

雜ナリ神經系ヲ要スルナリ又供給系ノ諸作用ノ間ニ要スル調
 和ノ如キモ複雜ノ大ニ小ナシト雖生理ニ於テハ相同シキナ
 リ唯ミタル食物ノ咽喉ニ投セラレ、ニ當リテ若シ之ヲ飲込
 ヲ非サレバ之ヲ消化スルニ由ナキ也又食物ノ胃中ニ在ルニ當
 リ分泌液ノ注カレ、ナク若クハ胃液ハ注カレ、ト雖モ適當
 運動起ラザルニハ消化作用ハ茲ニ於テ止マラザルヲ得ズ又消
 化機關ニ附屬セル諸大腺ガ各自ノ分泌液ヲ十分ニ腸ニ注ク
 ナク又ハ不適當ナル時若クハ不適當ナル割合ニ於テ之ヲ注ク
 キハ消化作用完成スル能ハズ其他消化ノ一般ノ職掌ヲ組成ス
 ル所ノ數多ノ同時若クハ逐次ニ起ル所ノ小作用ノ相調和ナ
 ニ非サレバ供給系ノ職掌ヲ遂クル能ハサルナリ故ニ又刺衝
 及ヒ禁止ヲ傳ヘテ此等ノ諸作用ノ調和ヲ維持スル所ノ神經機
 關ナクンバアル可ラザルナリ而シテ今外部機關ノ間ニ要スル

調和ト内部機關ノ間ニ要スル調和トノ如何ニ異ナル乎ヲ見
 夫レ外部機關ノ作用ハ迅速ニ變セザル可カラザルナリ即チ運
 動ノ速カナリト及ヒ突然ニ其運動ノ方向ヲ變シ若クハ突然ニ
 之ヲ止息スルトヲ要スルナリ又筋ノ伸縮スルニハ能ク平均
 維持シ能ク飛跳ヲ起シ能ク搏噬ヲ避ケ得ル如キ方法ヲ以テセ
 ザル可カラズ且ヤ同時ニ多種ノ作用ヲ起サ、ル可カラズ何ト
 ナレバ取扱フ可キ外圍ノ力ハ多數多種ナレバ也又同時ニ起ス
 多種ノ作用ノ如キモ常ニ變シテ同一ノ作用ヲ再起スルガ如キ
 ハ甚ク稀ニナリ何トナレバ同一ノ事情ノ再起スルト甚ク稀
 ナレバ也又目前ノ必要ニ應セザル可カラザルノミナラズ多少
 隔タル將來ノ必要ニモ應セザル可カラザルナリ然ルニ内部
 機關ノ調和ニ至テハ斯カルトナキナリ食事ヲ爲ス毎トニ同一
 ノ作用ヲ行フノミニシテ唯食物ノ分量并ニ性質及ヒ之ヲ嚼ミ

ナル度ノ異ナルニ從ヒ小異アルニ迅速適切ニシテ且精密ナル調和ヲ要スルコトク唯諸作用ノ割合ト秩序トニ於テ大体ノ調和ヲ得レバ足レリ其諸作用ヲ起ス時刻諸作用ノ分量諸作用ヲ終ル時刻等ニ關シテハ詳細ナル定規アルナキナリ故ニ外部機關ヲ整理スル統制機關ト供給系ヲ整理スル統制機關トノ間ニ大殊別ヲ生シ統制系ノ此二大部ハ終ニ實際ニ於テ區分セラル、ニ至ルナリ左レハ臟腑神經系即チ他稱ヲ以テ之ヲ言ハバ内部生活ノ神經系ハ原ト髓及ヒ脊髓ヨリ分派セシヤ否ヤハ始ク之ヲ措キ要スルニ高等ナル脊髓動物ニ在テハ實際之ト相獨立シテ其作用ヲ行フナリ此神經系ハ筋ヲ使用シテ重モナル消費ヲ起ス所ノ一層高等ナル神經系ヨリ影響ヲ受ケ又之ニ影響ヲ及スルニ非スト雖モ尙ホ此二ノ神經系ハ相獨立シテ各自ノ職掌ヲ行ヒ重モニ全体一般ノ需要及ヒ阻止ニ因テ互ニ

相影響スルニミ唯心臟及ヒ肺臟ハ供給系ニ取テモ外部機關ニ取テモ共ニ欲ク可カラザルニ協力者ナルヲ以テ此二臟ノミニ關シテハ前記ノ劣等神經系モ優等神經系モ共ニ統制ノ職掌ヲ分行スルヲ見ルナリ心臟ハ外部作用ノ爲メニ要スル血液供給ニ多少ニ應ジテ腦脊神經系ノ爲メニ刺衝セラレ又消化作用ニ要スル血液供給ノ多少ニ應ジテ臟腑神經系ノ爲メニ刺衝セラレ、ナリ而シテ肺臟如キモ其張開スルハ一部ハ外部機關ニ屬スル所ノ肺筋ノ作用ニ因ル者ナレバ大ニ腦脊神經系ノ爲メニ支配セラレ、者ト云ハザル可ラズト雖モ又消化機關ガ作用ヲ行フ際ニ在テハ臟腑神經系ノ爲メニ支配セラレ、ナリ且精々一定不變ナル内部作用ハ夫ノ變化窮マリナキ外部作用ヲ統制スル所ノ神經系トハ相異ナル神經系ノ爲メニ統制セラレ、ニ至ルノ傾向アルヲ證セシガ爲メニ腦脊神經系ガ心臟

決シテ斯ノ如クナラズ此等ノ諸機關ノ行フ作用ノ如キモ固ヨリ變化ナキニ非ズシテ戰爭ノ需要ニ應スル時ニ於テハ特ニ甚シキナリ然レニ概シテ之ヲ云フハ外部機關ノ作用ニ比スルニ一定不變ナリトス各種ノ食物ヲ産スルニ必要ノ變化ニ應セザル可クスト雖ニ其變化ナル者ニハ大抵ノ度アリテ格外ノ度ニ達スルヲ稀レナリ又衣服ノ需要ノ如キモ概テ一定シ其變化ノ如キ突然ニ起ラスシテ徐々ニ起ル也其他諸種ノ商品ニ於ケルモ亦然リ故ニ産業機關ノ諸作用ハ迅速適切ニシテ且精密ナル調和ヲ要セザルナリ故ニ又之ニ適スル一種ノ統制系ヲ發スルナリ而シテ此統制系ハ供給系ノ複雜ヲ加フルニ從ヒテ又益其複雜ヲ加フルヲ見ルナリ諸ノ余輩其發達ノ順序ヲ記シテ最始ノ野蠻社會ニ行ハルノ職業ノ如キハ防禦ノ作用ヲ統制スル機關ト供給ノ作用ヲ統制スル機關トノ殊別ヲ生スルヲ妨ク

ル者アリ如何ニテ此ニ作用殆ト同一ナレバナリ「マシ」メン民族中ニ於テハ各家族相合シテ田獵ヲ爲シ其獲シ所ヲ互ニ平分スルナリ蓋シテ共同ノ利益ノ爲メニ野獸ニ對シテ行フ戰爭ト又共同ノ利益ノ爲メニ大ニ對シテ行フ戰爭トハ殆ト同一ニシテ何レモ公務ナルナリ又「マシ」メン民族中ニ於テハ家畜獸ヲ守護スルニハ軍事上ノ警衛ト同様ノ方法ヲ以テスルナリ斯ノ如ク家畜獸ヲ守護スルニモ人身ヲ保護スルニモ各人其利害ヲ「マシ」メン共同ノ作用ヲ以テスル故ニ此ニ作用ヲ支配スル統制機關モ同一ナルナリ且單純未開ノ民族中ニ行ハル、權力ハ其種類ノ如何ナルヲ問ハズ凡ソ度ニ於テハ無限ニシテ他ノ諸作用ト同シク産業作用ヲモ統制スルナリ未タ奴隸ナクシテ妻孥ヲ奴隸ニ代用スル民族若クハ奴隸階級ノ起リタル民族中ニ於テハ攻代防守ノ業ヲ行フ有權者ハ又自ガラ産業上ノ勞役ヲ

モ指揮スルナリ又大權力ヲ有スル酋長ノ起リシ場合ニ於テモ此酋長ハ獨リ戰爭ノ時ニ於テ軍兵ノ指揮者タルノミナラズ又平和ノ時ニ於テハ日々ノ産業ヲ指揮者タルナリ「ゴンド」民族「ヒル」民族「ナガ」民族「ミジミ」民族「カウマツク」民族及ヒ其他數多ノ民族ハ政治統制系ト産業統制系トノ二ナルヲ余輩ニ示セリ而シテ少シク進ミタル民族中ニ於テハ稍々二系ノ異同ヲ示スト雖モ未ダ十分ニ區分セラレザルナリ左レハ「クキ」民族中ニ於テハ酋長ハ勞役ヲ催促シ且規制シ村落ヲ移住人ヲ監督シ又新地ヲ開拓スルニ當テハ各家族ニ土地ヲ分配スルヲ司トル也又「サソ」民族ノ酋長ハ半ハ人民ノ勞作ヲ支配シ又「コンド」民族ノ酋長ハ商人ノ長トシテ商業ヲ行フト云フ又太平洋諸嶋ニ於テモ同種ノ事實ヲ見ルニ「ウズアイ」ラント嶋ノ酋長ハ耕作及ヒ建築ノ事業ヲ監督シ「サド」ラント嶋ニ於テハ市ヲ開キ酋

長ガ諸物ノ相場ヲ定ムルアリト云フ又「ト」ガ嶋ニ於テハ酋長ハ商業ヲ監督スルト云フ又「カダ」ガ民族中ノ酋長ハ米ノ相場ヲ定ムルト云フ又「セ」ハス嶋ニ於テモ植付ヲ行フノ日ハ主治者ニ於テ之ヲ定メ人民ハ種ヲ賜ラヌヲ合圖トシテ出ツルナリ又東部亞非利加ニ於テハ播種及ヒ收護ノ時ハ酋長ノ意ヲ以テ之ヲ定ムルナリ又「オ」ラント「ニ」グロ「ト」民族中ニ於テハ酋長ノ差圖ニ從テ市ヲ立ツルト云フ又「サ」ナル「ヴ」ドル民族ノ如キ亞米利加ノ或ル古昔ノ民族中ニ於テハ酋長ガ植付ヲ指揮セシナリ又今日ニ在テモ亞米利加ノ或ル地方ニ於テハ同様ノ事行ハル、ナリ又「ム」ンドラ「キ」ト「民族」ト稱賣スル者ハ其商品ヲ小酋長ニ分配シ之ガ代價トシテ物品ヲ得ル迄ニハ數ヶ月ヲ俟ダザル可ク「ズ」ト云フ又「バ」ゴ「ニ」ア「ニ」於テ「ウ」ル「グ」ス「氏」ノ隊ガ土人ヨリ武器及ヒ衣服ヲ買ハントセシキ土人ハ酋長ノ許可ヲ得スノハ之

ヲ賣ル能ハザリシト云フ而シテ更ニ發達セル他ノ社會ニ於テハ政治統制系ト産業統制系トノ合同セル此有様ノ漸ク變スルヲ見ルナリ即チ統制系ノ漸ク二重トナルヲ見ルナリ例セハ「サカルラソ、ダイアツク」民族中ニハ尋常ノ酋長ノ外ニ商業酋長アルナリ又「ダホミ」民族中ニ於テ「モホワイ」港ニ一人ノ商業酋長アリト云フ又「フイ」ハ他ノ點ニ關シテモ大ニ進歩セル社會ガ該社會ニハ産業酋長アリト云フ而テ更ニ發達セル社會ニ於テハ此商業酋長ハ變遷シテ最モ嚴ナル監督ヲ行フ所ノ政府官吏トナルナリ古昔ノ「グアラ」ニ於テハ政府ノ官吏ガ市場ノ諸物價ヲ定メシナリ又「ソキン」ニ於テモ政府ノ官吏ガ未耕ノ土地ヲカラシメ「メ」ガ爲メニ巡視セシナリ余輩此等ノ事實ヲ見ルルハ歐洲諸國又如キモ曾テ同様ノ段落ヲ經過シ來リタルヲ想起スルナリ十世紀ニ至ル迄ハ佛蘭西各領地ノ職人及

ヒ藝術者ハ領主ノ制束ヲ受ケ若クハ單ニ半バ自由ヲ有セシ者ニシテ領主ノ爲メニ指揮セラレ領主ヨリ食及ヒ物品ヲ給セラレシナリ十一世紀ヨリ十四世紀ノ間ニ於テ封建的ノ優者タル諸侯貴族ハ其僭ト俗トヲ問ハズ何レモ製産及ヒ分配ヲ統制シ製産上及ヒ商業上ノ特許ヲ之ヨリ買ハザル可カラザリシナリ更ニ降テ王治ノ世ニ至テハ勤勞ニ對スル權利ハ王ノ特權ニシテ王ハ之ヲ賣ルヲ得可ク臣民ハ之ヲ買フヲ得可シトノ一語ハ法律上ノ格言トシテ行ハレ革命ノ時ニ至ルマテ佛蘭西ニハ職業ノ免許ヲ與ヘ産業ヲ規制シ產物ヲ檢査スル等ノ數多ノ官吏充滿セシナリ而シテ革命後モ政府ノ干涉ハ大ハ則チ大ナリト雖モ尙ホ以前ニ比ズレバ大ニ減シ産業上ニ要スル統制ハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ行フニ至レリ而シテ我英國ノ歴史ハ發達シ此順序ヲ一層明カニ示セリ古昔ニ在テハ地方ノ政治長即チ長老

投、街道、取締人、海港、取締人及ヒ市長ト稱スル者ハ又商人組合ノ
 長ニシテ商人組合其物ノ如キモ一部ハ政治体タルノ性質ヲ有
 セシナリ而シテ買賣及ヒ交易ハ役人ノ面前ニ於テ行ハザル可
 ラスシテ耕作及ヒ製造ノ事業ハ法律ヲ以テ之ヲ規制セシナリ
 爾來星霜ヲ經ルニ從ヒ官吏ノ干涉漸ク減セシト雖ヒ尙ホ同様
 ノ干涉永ク近世ニ至ルマテ行レシナリ即チ十六世紀ノ頃ニ至
 ル迄ハ政治上ノ權ヲ有スル府會及ヒ市會アリテ物價及ヒ賃銀
 等ヲ定メシナリ然レモ更ニ後世ニ至テハ禁止及ヒ保護金ノ事
 廢ルヲレ利息制限法ノ如キモ止ミ商業上ノ結合ノ自由大ニ増
 加セリ
 未ダ發達ヒザル産業機關ガ酋長ノ爲メニ統制セラル、如キ最
 始ノ有様及ヒ産業機關ノ稍發達スルニ從ヒ半バ區分セラレタ
 ル政治統制系ヲ生ズル如シ中間ノ有様ヲ以テ産業機關ノ昌盛

ナ極ムル吾人ノ社會ノ如キ有様ニ對照スルヒハ余輩ハ産業機
 關中ニ實際獨立セル一ノ統制系ヲ生スルヲ見ルナリ今日ニ在
 テハ政府ノ令ヲ以テ物價ヲ定ムルヲ又職業者ノ方法ヲ定ム
 ルヲ又特許等ノ事モ甚ク僅少ニシテ人民ハ其好ム所ニ從
 ヒ如何ナル職業ヲモ行ヒ欲スル所ニ買ヒ欲スル所ニ賣シテ得
 ルナリ生産ノ高、製造ノ高、輸入及ヒ輸出ノ高等ハ毫モ法律ヲ以
 テ之ヲ規制スルコトナク改良セル方法モ法律ハ之ヲ命令セズ弊
 害アル方法モ法律ハ之ヲ禁止セズ各人ハ自カラ其最良ト思惟
 スル所ニ從テ其職業ヲ行ヒ唯契約ヲ履行セザル可ラズ隣人ヲ
 侵ス可ラズトノ法律上ノ一制限ヲ奉スルノミ然ラバ則チ産業
 上ノ諸作用ハ如何ニシテ之ヲ調和セシムルヲ得ル乎他ナシ一ノ
 通信機關ニ因テ調和セシメラル、ノミ各種産業機關ハ此通信
 機關ニ因テ各自產物ノ消費ノ増減ヨリ起ル所ノ刺衝及ヒ沮止

ヲ受ケ戰爭ノ爲メニ格外ノ消費ノ起ル如キ場合ニ於テハ各種ノ産業機關共ニ刺衝ヲ受クルナリ重モナル市府ニ於テハ一々市場アリテ穀物、家畜、綿布、毛織物、鑛物、石炭等ノ價格ハ此等ノ市場ノ賣買取引ニ因テ定マリ以テ需要供給ノ變スル關係ヲ世人ニ示シ而シテ此等ノ市場ニ起リタル取引ノ景況ハ即刻ニ新聞紙ヲ以テ各地方ニ報告スルガ故ニ此報告ニ應シテ各地方ハ其產物ノ製産ヲ増減スルナリ且各地方ハ何レモ其小中心市場ニ因テ其作用ヲ整理セラル、ト同時ニ更ニ大都府ニハ大中心市場及ヒ取引所アリテ此處ニハ各地方ヲ代表スル所ノ代理商店及ヒ代理商人聚マリ其取引ニ因テ各種ノ現在未來ノ需要ヲ一般ニ平均スルガ故ニ各種産業機關ノ作用ノ間ニ能ク適當ノ調和ヲ保ツテ得セシムルナリ即チ之ヲ更言スレバ政治統制系ノ外ニ獨立シテ統制ヲ行フ所ノ産業統制系ヲ生シ此二系ハ相聯

絡スルト雖ヒ尙ホ二部ノ別線ヲ成スナリ

前段ニ豫示セシガ如ク動物ニ於テモ社會ニ於テモ此二系ノ外ニ之ト半ハ相異ナル第三ノ一系更ニ發スルナリ迅速ニ職掌ヲ需要ニ應セシメンニハ作用ヲ起ス部分ニ必要ノ消費物ヲ迅速ニ送ラザル可カラズ動物若クハ社會ノ一機關ニシテ突然ニ格外ノ作用ヲ起スニ當リ尋常ノ遲緩ナル分配系ノ外ニ之ニ物質ヲ供スルノ方法ナクンバ其増加セル作用ハ須臾ニシテ衰ヘザルヲ得ザルナリ故ニ増加セル需要ニ應シテ久シク増加セル作用ヲ行フヲ得ンニハ其作用ニ要スル餘分ノ物質ヲ供セザル可カラズ即チ將サニ行ハントスル職掌ニ先チテ物質ヲ前取スルノ方法ナクンバアル可ラサル也動物ニ於テハ此目的ハ沿脈神經ニ因テ之ヲ遂クルヲ得ルナリ此神經ハ動脈ニ沿テ到ル所ニ岐分シ此神經ヲ經テ來ル所ノ刺衝ノ如何ニ從ヒ動脈ヲ弛張ス

ルナリ此大法ハラッドウグ氏及ヒラヴェン氏ノ發見セシ所ニシテ今之ヲ説カンニ若シ体ノ一部分ニ於テ活潑ナル作用ヲ起サントシ其感動ノ感覺神經ヲ經テ達スルキハ沿脈神經ハ忽チニ其部分ニ刺衝ヲ送リテ其微細ナル動脈ヲ俄カニ張開セシメ而シテ之ト同時ニ体ノ不活潑ナル諸部分ニ通スル沿脈神經ヲ經テ此等ノ諸部分ニ刺衝ヲ送リテ其動脈ヲ少シク弛縮セシムルナリ即チ此方法ニ因テ之ヲ需要セサル諸部分ニ注流スル血液ヲ減シ最モ之ヲ需要スル部分ニ多ク血液ヲ注流セシムル也而シテ現時ノ吾人ノ社會ノ如ク大ニ開化セル社會ニ於テハ此類ノ統制ハ銀行及ヒ之ニ附屬セル貸金仲間ニ於テ之ヲ司トルナリ若シ一地方ノ産業機關ガ其產物ノ消費ノ増加セルガ爲メニ格外ノ作用ヲ起スキハ第一ニ其地方ノ銀行ニ向テ辨金ノ需要ヲ通スルナリ然ルキ銀行ハ其地方ニ起ラントスル活潑ナル作用

ノ感動ヲ受ケ即チ之ニ應シテ其規制スル資本ノ動脈ヲ張開シ而テ此感動ノ倫敦ナル中央金融市場ニ達スルキハ其地方ノ信用擴張シ人口及ヒ貨物之ニ向テ注流スルナリ斯ク一地方ニ資本ヲ吸引スルニ當リテハ其作用ノ刺衝セラレザル他ノ諸地方ノ産業機關ハ十分ノ利息ヲ拂フ能ハザルガ故ニ之ニ通スル資本ノ動脈ハ稍弛縮シ之ニ注流スル資本減スルナリ而シテ此第三ノ統制系即チ動物ノ沿脈神經及ヒ社會ノ金融系ハ實際獨立シテ其統制ヲ行フナリ之レヲ事實ニ徵スルニ社會ノ各地方ニハ小金融市場アルガ如クニ動物ノ沿脈神經ニモ諸部分ニ小中心アリテ各自ノ部分ヲ統制スルヲ爭フ可カラズ且動物ニ於テモ社會ニ於テモ此統制系ノ大中心アルヲラント雖モ中央部ニ於テハ地ノ統制系ト相混スルガ故ニ之ヲ明瞭ニ指摘スルヲ難シ斯ノ如ク此系ハ他ノ統制系ト相混スルト雖モ其職掌上ニ

於テハ殊別アルコナリ即チ此系ハ外部ノ作用ヲ統制スル所ノ重モナル統制系ト相混スルト雖モ決シテ之ニ從屬スル者ニ非ザルナリ動物ニ於テハ意志ヲ以テ諸部分ノ血液ノ供給ヲ變スルコト能ハズ社會ニ於テモ往時ニ在テハ法律ヲ以テ資本ノ流動ヲ有害ニ攪亂シタリト雖モ今ヤ此事止ミ殆ト全ク之ヲ其自由ニ放任セリ加之諸機關ヲ直轄スル所ノ政府ノ如キモ金融會社ニ對シテハ一得意者ノ地位ニ立チ其狀恰モ腦髓及ヒ手足ガ沿脈神經ニ對スルノ關係ニ異ナラサルナリ又此第三ノ統制系ハ動物若クハ社會ノ供給系ヲ統制スル所ノ夫ノ第二ノ統制系ノ一部分ヲ成ス者ニモ非ズ体内ノ臟腑ハ之ニ通スル動脈ヲ規制スル所ノ沿脈神經ノ許可ヲ經テ初メテ血液ノ供給ヲ得ル者ニシテ若シ外部機關ニ於テ活潑ナル作用ヲ起スハ臟腑ハ十分ノ供給ヲ得ル能ハザルナリ之ト同シク産業機關及ヒ其作用ヲ

本章ノ結論

調和セシムル所ノ中心市場ノ如キハ自カラ直接ニ資本ヲ吸引スル能ハズシテアダムバード街ニ通知ヲ與ヘ其手ヲ經テ間接ニ之ヲ吸引スルナリ

第二百五十六節、左レハ動物モ社會モ其醇化スルニ從ヒ協力作用増加シ隨テ何レノ場合ニ於テモ同様ノ諸機關ヲ發スルナリ協力ヲ行ハシニハ協力スル諸部分ヲ調和セシムルノ機關ナキニ得ズシテ社會ニ於テモ動物ニ於ケルガ如クニ統制系起リ且諸機關ノ發達スルニ從ヒ此系ノ中ニ種々ノ殊別ヲ生スルニ至ルナリ

最初ニシテ最モ急切ナル協力ハ外圍ノ敵及ヒ餌食ヲ取扱ハシガ爲メノ協力はナリ故ニ動物ニ於テモ社會ニ於テモ最初ノ統制部ハ此協力ノ方便トシテ起ル者ニシテ此協力ノ活潑ナルニ從ヒ統制部益發達スナリ而シテ動物及ヒ社會ノ何レニ於テ

モ單純ナル集成体ノ合併シテ複合集成体ヲ成スルハ統制系ニ中央ノ主宰部ト地方ノ從屬部トノ殊別ヲ生シ其中央部ハ益々大ト複雑トチ加フルナリ更ニ進ミテ二重複合集成体トナリ三重複合集成体トナルニ從ヒ一層ノ複雑ト從屬トチ加ヘ又改良セシ通信機關發シテ遂ニ瞬間ニシテ報ヲ通シ令ヲ達スルノ機關發スルナリ

外部作用ヲ行フ機關ヲ統制スル所ノ此重モナル統制系ノ外ニ動物モ社會モ其醇化スルニ從ヒ更ニ供給系ヲ統制スル機關ヲ發シ漸次ニ確立シテ特別ノ作用ヲ行フニ至ルナリ此機關ガ外部統制系ニ後レテ發スルハ固ヨリ理ノ然ル可キ所ナリ動物ト社會トチ間ハス全体ヲ保存セシムルニハ第一ニ外部ヨリ來ル破壊ヲ避ケザル可カラズシテ之ヲ避ケンコトハ複雑ナル協力を必要トスルナリ然ルニ体ヲ養フ可キ滋養質ヲ十分ニ利用スルコトハ

破壊ヲ避ケルコト如クニ急切ナラズシテ之ニ要スル協力モ單純ナリトス故ニ供給系ハ外部機關ニ比スレバ遅ク統制機關ヲ得ルナリ而シテ第三系即チ分配系ハ他ノ二系ニ後レテ起ルト雖此二系ノ發達スルニハ缺ク可ラザル者ニシテ遂ニ自己ノ爲メニ特別ノ統制系ヲ發スルニ至ルナリ

第十章 社會ノ体型及ヒ國制

第二百五十七節 有機物ノ体ノ據テ成ル以所ト社會ノ体ノ據テ成ル所以トチ一見セバ社會ノ体ニ關シテハ決シテ有機物ニ於ケルガ如キ精密ナル類別ヲ爲ス能ハザルコトヲ知ル可キナリ一種ノ植物若クハ動物ハ一千代ヲ經過スルモ殆ト同様ノ生活ヲ營ミ代々生スル所ノ新員ハ累代ノ舊員ガ養成シ來リタル適合ノ性質ヲ傳受スル也事情ノ異ナルニ從ヒ原ト同一ナリシ者モ稍其体型ノ異同ヲ生スルニ至ルト雖此之ニ結果スル所ノ變化ハ外

社會ハ精密ニ類別シ難

觀ニ止リテ本質ニ及バザルナリ故ニ斯カル異同ヲ生セシニモ
 拘ラス諸種ノ植物若クハ動物ヲ統合シテ一類ト爲スヲ妨ケザ
 ルナリ又之ヨリ以前ニ生セシ異同ハ更ニ大ナリト雖モ之ガ爲
 メニ諸類ヲ統合シテ一部ト爲シ諸部ヲ統合シテ一門ト爲スヲ
 妨ケザルナリ社會ニ至テハ則チ然ラザルナリ最始人類ノ團集
 ハ分レ又分レテ前代ニ結果セル如キ下等ナル体型ヲ傳受シ且
 更ニ之ヲ後代ニ遺傳スル所ノ代々同様ノ生活ヲ營ム一連ノ小
 社會ヲ生スル也然レモ更ニ發達セル社會ニ至テハ斯ク一定セ
 ル方法ヲ以テ新社會ヲ產生セザルナリ植民地ノ如キハ其母國
 下同様ナル方法ヲ以テ成長スルノ傾向アリト雖モ尙ホ母國ハ
 植民地ニ比スレバ一定ノ体型ヲナシ易シトス而シテ植民地ハ
 新住地ノ影響ヲ受クルハ極メテ大ナルヲ以テ勢ヒ母國ト異ナ
 ル構造ヲ發セザルヲ得ザルナリ既ニ一定ノ構造法ヲ以テ代々

社會類別ノ方法

交生スル所ノ數多ノ社會アルナクンバ據テ以テ完全ニ社會ヲ
 類別ス可キ詳明ナル異同アル可キノ理ナキナリ
 然レモ二點ノ根本ノ異同アルヲ以テ余輩ハ此異同ニ依リ社會
 ナ類別セント欲ス即チ第一ニハ余輩ハ社會集成ノ度ニ應シテ
 單純社會、複合社會、二重複合社會、三重複合社會等ニ之ヲ類別ス
 可シ第二ニハ余輩ハ軍務熾盛社會ト産業熾盛社會トニ類別ス
 可シ即チ攻代防守ノ機關ノ最モ發達セル社會ト供給機關ノ最
 モ發達セル社會トニ類別ス可シ但シ此第二法ハ第一法ヨリモ
 一層精密ナラザルナリ
 第二百五十八節、社會ノ醇化ハ小ニシテ單純ナル團集ヨリ始マ
 リ此單純團集ノ相合併シテ更ニ大ナル複合團集トナリ此複合
 團集ノ固定セル後ハ他ノ複合團集ト相合併シテ更ニ一層大ナ
 ル二重複合團集トナルニ至ルハ余輩ノ既ニ論セシ所ナリ左

集成ノ度ニ應シテ社會ヲ類別ス

レバ余輩ハ第一部類ノ社會即チ單純社會ヨリシテ類別ヲ始メザル可ラス

單純社會トハ何ヲ云フ乎ノ問ニ對シテ余輩ハ精密ニシテ一切ノ場合ニ適用ス可キ答ヲ爲ス能ハズ蓋醇化ニ因テ生スル物ハ凡テ然ルガ如ク社會モ亦變遷ノ際ニ在リテ判然之ヲ類別シ難キ者アレバナリ一團集ノ益々増加スル所ノ諸員ハ次第ニ延蔓シ支分スルガ故ニ如何ナル時ヨリ其組成スル所ノ團集ハ畫然タル團集トナル乎ヲ言フハ常ニ容易ナラザルナリ或ハ不饒ナル土地ニ住スル同一祖先ヨリ降リタル子孫ガ尙ホ近キ親者ノミニシテ他人ヲ交ヘザル有様ナルニ當リ既ニ分裂セザル可カラザルヲアラシム或ハ更ニ豐饒ナル土地ニ於テ遠キ親者ノ相加ハハルニ至ルマテ團集ヲ維持スルヲアラシム而シテ斯カル遠キ親者ハ益々延蔓スルニ從ヒ相互ノ結縁益々弱キヲ加フルナリ

又次キニハ他社會ノ人若クハ單ニ遠祖チ一ニスル他民族ノ人ヲ奴隸トナシ爲メニ構造ニ複雜ヲ加フルヲアラシム而シテ此等ノ奴隸ハ政治上ノ元素ニハ非スト雖モ社會上ヨリ觀察スレバ又一種ノ元素ナリト云ハザル可カラズ又或ハ勝チタル民族ガ優等ノ階級ヲ起シテ爲メニ複雜ヲ加フルヲアル可キナリ斯ク種々ノ有様ヲ呈スルガ故ニ余輩ノ採ル可キ唯一ノ方法ハ他社會ノ爲メニ征服セラレシテ一箇ノ全体ヲ成シ且統制機關ノ有無ニ拘ラズ之ヲ組成セル諸部分ガ或ル公共ノ目的ノ爲メニ協力スル如キ社會ヲ凡テ單純社會ト爲スニ在リ左表ハ則チ成ル可ク精密ニ單純社會ノ大類別及ヒ小類別ヲ示セル者ナリ

單純社會ノ類別

首長 未發 半固 定社會 即チ大抵ノエスキモ「田獵ヲ營ム」ノ類

漂泊社會 即チ「ヒューリアン」民族「オーストラリア」土民ノ一部

「ウ」民族「ド」民族「ク」民族「ダ」民族「エ」民族「シ」民族「メ」民族「ト」民族「チ」民族「ツ」民族

三重複合ノ度ニ達セシ者ト思惟シテ可ナラン加之其或ル者ハ更ニ結合ノ高度ニ達セシナラン唯其政府ノ確立不確立ノ點ニ關シテハ此等ノ諸國ノ間ニ異同ナキニ非サルガ故ニ之ヲ類別スルヲ要ス可シ但シ茲ニ確立不確立ト云フハ通常ノ意義ニテ云フニ非ス即チ政府ノ統制ノ行ハルハト否ト云フニ非スシテ其政府ガ斯カル大團集ノ中央主宰部タルコト久シキヲ保ツト否ト云フ者ナリ而シテ此意義ニ從テ之ヲ言フハ古昔ノ三重複合社會ハ概チ不確立ノ部ニ屬スル者ト言ハザル可ラズシテ現時ニ在テハ以太利王國及ヒ日耳曼帝國ノ如キハ方サニ經驗ノ際ニ在リト云フ可シ

前ニ述ヘタル如ク此類別ハ固ヨリ精密ナラスシテ唯事實ノ梗概ニ過ギザルノミ或ハ旅人及ヒ其他ノ記者ノ言フ所不十分ナルアリ或ハ其言フ所互ニ齟齬スルアリ或ハ社會ガ變遷ノ際ニ

在リテ何レノ項目ニ之ヲ編入ス可キ乎ヲ判シ難キ者アリ或ハ氏族若クハ宗族ヲ以テ一ノ地方社會ト見做シテ可ナル場合アリ或ハ近親若クハ遠親ヨリ組成セル一團集ガ他ノ團集ト相混合スルアリテ實際此等ノ團集ヲ以テ同一社會ノ一部分ト見做シテ可ナル場合アリ或ハ斯カル數多ノ小社會ガ結合ノ際ニ在リテ之ヲ別々ノ社會ト見做ス可キ乎將タ一社會ト見做ス可キ乎ノ疑ハシキ者アリ而シテ更ニ大ナル社會ニ於テハ現ニ然ルガ如ク前後相續テ征服ヲ蒙リ之ガ爲メニ結合シ爾後分裂シ爾後又他ノ方法ヲ以テ再ヒ結合セシ如キ場合ニ於テハ社會ガ經歷シタル構成ノ順序ハ非常ニ混雜シ若クハ全ク知ル能ハズシテ其社會ガ何レノ項目ニ屬ス可キ乎ヲ定ムルニ難キナリ然レモ以上ノ事實ヲ概括シテ或ル承認シ得可キ理ヲ抽出スルヲ得可シ社會ハ順次ニ複合及ヒ二重複合ノ作用ヲ經過セザル

可カラザルナリ如何ナル民族ト雖モ單ニ成長作用ノミニ因テ
 國民トナリシ者ナシ如何ナル大社會ト雖モ單ニ最小民族ノ直
 接ノ結合ノミニ因テ組成セラレシ者ナシ單純團集以上ノ第一
 段階ハ体積ノ小ナル複合團集ナリ抑社會ガ一箇ノ全体タル以
 所ノ者ハ諸部分ノ間ニ協力ノ行ハルハニ因ル者ニシテ此協力
 ハ交通ノ便ト協力ノ器具トノ幾分カ發達セル後ニ非サレバ之
 ナ行フ能ハサルナリ而シテ交通ノ便ト協力ノ器具トガ廣キ區
 域ニ於テ發達セシニハ先ツ狹キ區域ニ於テ發達セザル可ラズ
 左レバ複合社會ヲ組成セル諸團集ガ一酋長ヲ戴キテ戰爭ニ於
 テ協力セルガ爲メニ相固結シ且階級及ヒ產業ニ於テ幾分ノ殊
 別ヲ生シ隨テ技術進歩スルモハ此等ノ變化ハ凡テ一層有効ナ
 ル協力ヲ來タスノ原因トナル者ニシテ茲ニ至テハ複合社會ハ
 實際一體トナリシ者ナリ而シテ斯ク諸團集ノ間ニ協力ヲ行ハ

ンガ爲メニ要シ且協力ノ行ハルガ爲メニ起シ得ル所ノ前記
 ノ体格ヲ具ヘタル諸複合社會ガ征服ノ爲メ若クハ戰爭上ノ同
 盟ノ爲メニ更ニ相合併シテ二重複合社會ヲ組成シ其固結スル
 ニ從ヒ此段落ニ於テ要シ且起シ得ル所ノ更ニ進ミタル体格ヲ
 漸成スルナリ即チ統制系分配系供給系ガ更ニ高度ノ複雜ニ達
 シタル如キ体格ヲ漸成スルナリ又次キニハ同様ノ作用ヲ經テ
 一層複雜ナル構造ヲ有スル所ノ一層大ナル社會ヲ組成スル者
 ニシテ之ヲ事實ニ徵スルニ社會ノ醇化ハ現ニ斯カル順序ヲ以
 テ行ハレ又獨リ斯カル順序ノミニ因テ社會ハ醇化シ得ル者ニ
 似タリ之ヲ要スルニ以上ノ類別ハ如何ニ不完全ニシテ如何ニ
 不調和ナルニモ拘ラズ此等ノ種々ノ集成ノ度ニ達シタル社會
 ノ實存スルトト同段落ノ諸社會ハ其構造ノ互ニ相類似セルト
 ト其進移ノ順序ハ前文記スル所ノ如クナルトトノ大事實ハ瞭

軍務ヲ主ト
スル社會ト
産業ヲ主ト
スル社會ト
ノ別アルコト

然覆フ可カラザルナリ
第二百五十九節、余輩ハ更ニ轉シテ社會ニ最モ盛ニ行ハル、活
動ノ異同ト之ニ結果スル所ノ構造ノ異同トニ根據シテ社會ヲ
類別セザル可カラズ即チ斯ク對比ス可キ社會ノ活動ハ軍務的
ノ活動ト産業的ノ活動トノ二者是ナリ
精密ニ軍務社會ト産業社會トノ間ニ分界ヲ立ツル能ハザルハ
固ヨリ疑フ可カラザルナリ夫ノ「エスキモ」民族ノ如クニ攻撃
ヲ受クル患ナキ場所ニ住スル二三ノ單純ナル民族ヲ除クノ外
ハ凡テノ社會ハ單純社會ト複合社會トチ問ハズ通常若クハ時
々他ノ社會ト敵對セザルハナキナリ故ニ又攻撃防禦ノ機關ヲ
發達セシムルノ傾向アルハ余輩ノ既ニ論セシ所ノ如シ之ト同
時ニ体ヲ養フコト亦最モ必要ナリ故ニ微ト明トチ問ハズ此目的
ヲ達ス可キ多少ノ機關ノ常ニ存セザルハナキナリ左レバ社會

ニ於テモ動物ニ於ケルガ如ク苟モ其最下等ナル者ヲ除クノ外
ハ必ず外部機關ト供給機關トノ共存セザルナリト雖ヒ此二機
關ノ相對スル割合ニ至テハ互ニ大小多少ノ大ニ異ナルアリト
ス或ル場合ニ於テハ外部ノ作用ヲ行フ機關大ニ發達シ供給系
ハ唯外部機關ノ爲メニ存スル者ニシテ軍務的ノ活動ノ非
常ニ盛ナルアリ又或ル場合ニ於テハ供給ヲ行フ機關盛ニシテ
攻撃防禦ノ機關ハ唯之ヲ保護センガ爲メニ存シ産業的ノ
活動ノ非常ニ盛ナルアリ即チ一方ノ極端ヲ舉クレバ重モニ田
獵ニ因テ食シ敵ニ對スル機關ヲシテ食物ノ供給ニモ從事セシ
メ奴隸ニ代用セラル、婦女ノ外ニハ毫モ供給系ナキ如キ民族
アリ之ニ反シテ他ノ一方ノ極端ヲ舉クレバ耕作製造商業ガ社
會ノ主重ナル部分トナリ外敵ナキノ故チ以テ攻撃防禦ノ機關
ハ唯僅ニ發シ若クハ全ク存セザル如キ民族アリ而シテ余輩ガ

就テ考察ス可キ諸社會ハ殆ト凡テ變遷ノ際ニ在ラサルナシト雖モ尙ホ内部機關熾盛ノ社會ト外部機關熾盛ノ社會トヲ類別スルヲ得ルナリ

斯ク反對ノ二性質ヲ概論シ置キタル以上ハ別々ニ各自ノ性質ヲ論スルヲ便トス可シ

軍務ヲ主トスル社會

第二百六十節前ニモ述ヘシ如ク軍務ヲ主トスル社會トハ國民ノ運動スルヤ則チ軍兵トナリ軍兵ノ靜息スルヤ則チ國民トナル如キ有様ニシテ隨テ國民及ヒ軍兵ガ同一ノ構造ヲ得ル如キ社會ヲ云フナリ而シテ軍兵ノ構造ト社會ノ構造トノ相類スルヲ詳ニ視察スルハ以テ斯カル社會ノ性質ヲ最モ明瞭ニ了解スルヲ得可シ

一群ノ野蠻人タルト一團ノ盜賊タルト一隊ノ兵士タルトハ中央ハズ苟モ戰者ヨリ組成セル結合體ガ先ツ第一ニ得ル所ハ中央

統制機關ニ在ルコトヲ證ス可キ事實ハ既ニ多ク之ヲ示セリ而テ戰爭ノ時ニ於テ必要ナル此中央統制機關ハ平和ノ時ノ政府ノ性質ニ其影響ヲ及ボスナリ未開社會ニ於テハ軍將ノ競爭者タルハ獨リ筮醫アルノミニシテ軍將ハ又政治長トナル可キ著シキ傾向アリ而シテ征服ヲ行フ民族中ニ於テハ軍將ノ政治長タルノ性質ハ確立スルニ至ルナリ又半開社會ニ於テハ勝ヲ制スル軍將ト擅制ナル王トハ同一人ニシテ近時ニ至ル迄ハ開化國ニ於テモ亦然リシナリ此關係タルヤ同一人種中ニテモ軍務ヲ主トスル民族ト然ラザル民族トノ間ニ政體ノ異同アル事實ヲ以テ能ク之ヲ證スルヲ得可シ例セハ「カフアヤ」民族中ノ族長ハ權力大ナラズト雖モ其一部ニシテ征克ヲ事トスル「ズール」民族ハ擅制ナル王ノ統治ノ下ニ在リ更ニ進歩セル野蠻民族中ニテ「アイ」民族ノ如キハ戰爭ト壓制トノ此關係ヲ能ク示ス者ニ

シテ臣民ノ身体財産ハ全ク王若クハ酋長ノ隨意ノ制ヲ受クル
 ナリ又亞非利加ノ戦争ヲ好ム諸民族即チダホミ一民族及ヒア
 シヤント一民族ノ如キモ同様ノ事實ヲ呈セルコトハ余輩ノ既ニ示
 セシ所ナリ又右昔ノメキシコニ於テハ最高ノ藝術ハ武藝ニシ
 テ諸皇子ハ武功ニ因テノミ王統ヲ繼クヲ得シナリ而シテラク
 ヲゲロー氏ノ説ニ據レバ該國ノ擅制政治ハ蠶食ニ因テ領地ヲ
 擴張スルニ從ヒ益其嚴ヲ加ヘタリト云フ之ト同シクピリウー
 人ガ受ケタル嚴ナル壓政ハ「インカ」家ガ四方ヲ攻伐スルノ際ニ
 確立セシ者ナリ而シテ戦争ト壓制トノ此關係ハ舊世界ノ古昔
 ノ諸國ガ多ク示ス所ニシテ亞米利加ノ古昔ノ社會ニ於テモ亦
 此關係ヲ現ハセシコト此ノ如クナルヲ見ルキハ決シテ壓制ノ原
 因ヲ人種ノ異同ニ歸ス可カラサルヤ知ル可キナリ蓋シ大元帥
 ガ無限擅制ヲ行フト同時ニ其部下ノ諸將ハ其屬將ニ對シテ無

限擅制ヲ行ヒ又屬將ハ其配下ノ人ニ對シテ無限擅制ヲ行ヒ自
 己以上ノ人ニ對シテハ各人皆奴隸ニシテ自己以下ノ人ニ對シ
 テハ各人皆暴君タルナリ而シテ此軍制ニ應シテ又同様ノ國制
 ナ生シ社會ニモ同様ノ階級起リテ各階級ハ其以上ノ階級ニ對
 シテハ唯命是レ奉スルナリ余輩ガ前ニ進歩セル野蠻人中ニハ
 軍務機關ノ發達セルコトヲ示サンガ爲メニ例舉シタル諸社會ハ
 此事ヲ證スル者ナリフジニ於テハ王ヨリ奴隸ニ至ルマテ六
 階級アリテ其間ノ區別畫然タルナリ又マダカスカルニ於テハ
 近時戦争ノ爲メニ壓制政治確立シ數多ノ階級及ヒ種族アリ又
 非常ニ殘酷ノ所業ニ耽ル所ノダホミ一民族ニ關シテホルトン氏
 ノ説ニ曰ク軍兵ハ國民ト云フト殆ト同一ニシテ男女ヲ合セテ
 之ヲ兩翼ニ分テリト而テ氏ガ選舉シタル該民族中ノ諸階級ヲ
 見ルニ凡テ法律上王ノ奴隸タラサルハナキナリ又アシヤント一

ニ於テモ同様ノ事實ヲ呈シ王ノ死スルキハ官吏ハ殉死セザル
 ナ得サルナリ又古昔ノ社會ニ就テ之ヲ言ハシニ夫ノ侵略ヲ事
 トセルベルシア國ニ於テハ階級ノ區別甚ク嚴ナリシ也又戰爭
 ナ好ミシ古昔ノメキシコ國ニ於テハ三階級ノ貴族ト商人階級
 トノ外ニ奴農ニ至ルマテ三等ノ農夫アリテ何レモ其以上ノ階
 級ニ對シテハ十分ニ服從セシナリ又ピリウニ於テハ王族ノ
 外ニ數等ノ貴族アリキ且ガルシラソノ氏ノ說ニ據レバ各市邑
 ノ人民ハ十夫長以下ノ數等ニ區分セラレ五十夫長ノ下ニ五名
 ノ十夫長アリ百夫長ノ下ニ二名ノ五十夫長アリ五百夫長ノ下
 ニ五名ノ百夫長アリ千夫長ノ下ニ二名ノ五百夫長アリテ一萬
 人毎トニ「インカ」家ノ總督アリト云フ左レバ政治ノ制ハ全ク
 軍隊ノ制ニ同シカリシナリ又近時ニ至ル迄ハ日本ノ如キモ同
 様ノ事實ヲ呈セシナリ又舊世界ノ軍務ヲ主トセル古昔ノ諸國

ニ於テモ或ハ斯ク複雑ナラザルモ尙ホ同様ノ階級アリシコトハ
 殆ト之ヲ言フヲ要セザルナリ而シテ同様ノ國制ノ中古時代ニ
 及ンテ再起シ佛蘭西ノ如キ大國ニ於テハ王ノ下ニ數等ノ封建
 諸侯アリテ自己以上ニ對シテハ臣從シ自己以下ニ對シテハ君
 應シ且其最下級ナル者ノ下ニ更ニ奴農アリシコト見ルキハ軍
 務的ノ活動ノ盛ナル社會ハ區分ノ畫然タル軍隊上ノ階級ト同
 様ニ區分ノ畫然タル社交上ノ階級ヲ有スルコト各地然ラサルナ
 キヲ知ル可キナリ又人力政府ノ性質斯ノ如クナルニ從ヒ靈力
 政府モ亦同様ノ性質ヲ有スルナリ蓋シ軍務ヲ主トセル社會ノ
 人民ガ未來ノ他界ニ於テ現世ニ於ケルト同様ノ階級及ヒ權力
 アリト思惟スル事實ノ如キモ之ヲ記セザル可ラズト雖モ余輩
 ハ單ニ此事實ノミチ云フニ非スシテ斯カル社會ニ於テハ宗教
 ノ如キモ主武ノ性質ヲ帶フルアルヲ云フナリ抑々斯カル社會

ハ絶ヘズ他ノ社會ト敵對スルガ故ニ其生活ハ則チ仇怨ノ生活ニシテ其宗教モ仇怨ノ宗教ナリ野蠻人ガ凡テノ義務中ノ最モ神聖ナル者ト思惟スル所ハ復讐ノ義務ニシテ社會ノ主武ノ性質發達スル間ハ此義務盛ニ行ハル、ナリ左ノ酋長ニシテ復讐ノ望ヲ遂クル能ハズシテ死スルアランニハ自己ノ爲メニ復讐ヲ行ハントナリ其相續者ニ遺命シ相續者ハ此遺命ヲ奉シ敵ヲ殺シテ酋長ノ靈ヲ慰ムルヲ以テ最高ノ功業トナシ敵ヲ殺セシ一ノ證據物ヲ墓場ニ供スルナリ而シテ此事ニ關スル傳説ノ推擴セラレ、ニ從ヒ此酋長ハ人ヲ犠牲ニ供シテ崇信セラル、所ノ神トナルナリ此事ノ證ハ余輩各地ニ見ル所ナリフイジ一民族ハ戰爭ニ於テ殺シタル敵人ノ屍ヲ料理スル前ニ先ツ之ヲ神ニ供スルナリトホミ一ニ於テハ武ヲ尙フノ性質非常ニ發達シ婦女ト雖モ勇者ノ列ニ加ハ、ル程ニシテ其王ハ死シタル父ヲ慰

メシガ爲メニ殆ト日々人ヲ犠牲ニ供シ又戰爭ニ於テ幫助ヲ祈ラシガ爲メニ死シタル諸王ノ墓場ニ血ヲ注クナリ又メキシコノ軍神ハ原ト征克者ノ幽靈ニシテ諸神中ニテ最モ敬信セラレ人肉ヲ其偶像ニ供シ且ツ之レニ供ス可キ人肉ヲ得ンガ爲メニ故テニ戰爭ヲ起セシナリ又ピリウイニ於テモ通常人ヲ犠牲ニ供シ虜ニセシ人ヲ「インカ」家ノ祖先即チ太陽ニ供セシナリ又古昔東方ノ主武社會ニ於テモ其神ナル者ハ同様ノ原因ヨリ起リシモノニシテ之レヲ慰メンガ爲メニ又々同様ニ人ヲ犠牲ニ供セシコトハ軍ニ一言スルノミコト足レリトス其鬼神傳ヲ讀ムニ通常神ヲ以テ征克者ナリトナシ又通帝神ヲ稱スルニ「強者」「破壞者」「復讐者」「戰神」「軍神」「軍人」等ノ名ヲ以テセリアツシリアノ銘ヲ見ルニ神意ヲ奉シテ戰爭ヲ行フ者タルコトヲ記セルアリ又他ノ舊記ヲ見ルニ神意ヲ奉スルト唱スル人民ヲ虐殺ヒシコト

アルヲ知ルナリ而シテ神政府ノ如キモ人政府ト同シク軍制的ノ性質ヲ帯ヒシコトハ後世主武ノ性質ノ稍々衰へタル社會ニ於テモ尙ホ然ルヲ見ルナリ何ントナレバ今世ニ至ルマテ兵卒ガ大將ニ對スルガ如ク唯命是奉スルヲ以テ無上ノ美德トナシ悖逆ヲ以テ地獄ノ刑ヲ受クル所ノ罪トナシタルバナリ又タ斯カル社會ノ寺制ニ至ツテモ同様ノ性質ヲ有セリ主武ノ性質ノ高度ニ發達セル社會ニ於テハ一般ニ政治長ト宗教長トハ同一人タルヲ見ルナリ即チ神ト崇メラジタル祖先ノ重モナル子孫タル王ハ又神ノ重モナル祭主タルヲ見ル也古昔ノピリウニ於テハ王ト宗教長トハ同一人ニシテメキシコノ一部ナルテズカツコ及ヒトラコバシニ於テハ高僧ハ王ノ第二子ナリシナリ又埃及及ヒアツシリアノ壁畫ヲ見ルニ王ガ犧牲ヲ供スルノ狀ヲ寫セリ又バピロソフ人ノ舊記及ヒ「ヒテリユー」人ノ舊記ヲ見ルニ共

ニ王ハ又僧タリシヨチ示セリ又リドニアニ於テモ之ニ同シクシテクレーサスハ王ニシテ又僧タリシナリ又スバルタニ於テモ王ハ軍長ニシテ又高僧タリシナリ又羅馬ニ於テモ原ト同様ノ關係ノ行ハレシ跡アルヲ見ルナリ而シテ斯カル社會ニ於テハ僧侶仲間ニモ軍制ト同様ナル從屬ノ制度行ハル、ナリフイジニ於テハ世襲ノ僧官アリテ上下ノ階級立テリ又タヒチーニ於テハ高僧ハ王族ニシテ其他ニ社會ノ各階級ニ應スル世襲僧官ノ階級アリ又古昔ノメキシコニ於テハ異ナル神ニ事フル諸僧侶ハ互ニ其階級ヲ異ニシ又同一ノ神ニ事フル僧侶中ニモ三等ノ階級アリシナリ又古昔ノピリウニ於テハ王ナル高僧ノ外ニ勝チタル民族ノ僧侶アリテ其下ニ劣等僧侶ノ種々ノ階級アリシナリ又舊世界ノ古代及ヒ近代ノ主武社會ニ於テモ僧侶仲間ハ同様ノ上下ノ階級ヲ示セリ而テ社會ガ主武ノ構造ヲ保ツ

間ハ供給系ノ如キニ於テモ亦同様ノ性質ヲ示スナリ最初奴隸階級ガ生活ノ必需品ヲ軍人階級ニ供スル有様ヨリ爾後社會ノ發達スル際ニ在テ其産業部ハ唯政治部及ヒ軍務部ノ必需品ヲ供セシメガ爲メニ存シ自己ハ緩カニ其生命ヲ維クニ足ル者ノ外ハ消費スルヲ得ズシテ實ニ久シキ間ハ兵糧方タルニ過ギザルコトハ既ニ之ヲ示セリ左レハ産業部ノ作用ニ對シテ政治上ニ統制ノ擴張スルト云フハ實ニ軍制上ノ規則ノ擴張スル者ニシテ産業部ハ兵糧方タルノ實アルガ故ニ勢ヒ軍制上ノ規則ノ爲メニ支配セラレザルヲ得ザルナリ而シテ此事ノ極端ノ實例ハ古昔ノピリウニ於テ之ヲ示スナリ蓋シ該國ニ於テハ政治上ニ統制機關ト産業上ノ統制機關トハ同一ニシテ各地方ニ於テ各階級ノ人民ノ行フ可キ勤勞ノ種類及ヒ分量ハ法律ヲ以テ之ヲ定メ政府ノ官吏ヲシテ之ヲ實行セシメシナリ又兒童、盲者、

跛者等ニ至ルマテ各人ノ行フ可キ事業ハ悉ク法律ヲ以テ之ヲ指揮シ怠惰ナル者ハ政府ニ於テ之ヲ懲罰セシナリ即チ其制度タル軍律ヲ以テ産業上ニ適用セシ者ニシテ我カ近時ノ強固政府ノ主張者ガ今日ニ實行セント欲スル所ノ制度ノ如クナリシホリ又日本ノ以前ノ國制ノ如キモ全ク軍制ヨリ起リ軍制ト其性質ヲ同フセル者ニシテ此軍制ハ産業部ニマテ透入シ家屋船舶ヨリ疊ニ至ルマテ大小ノ物凡テ政府ノ命ヲ以テ其性質ヲ定メシナリ又武ヲ尙ブマダカスカル王國ニ於テハ職人階級ハ凡テ政府ノ爲メニ用ヒラル、者ニシテ何人ト雖ヒ職業若クハ住地ヲ變スル能ハズ若シ之ヲ犯セバ死刑ニ處セラル、ナリ此等ノ實例ハ讀者ヲシテ近時ノ主武國ニ於テモ如何ナル度ニマテ産業上ノ作用ハ政府ノ爲メニ規制セラル、乎ヲ想起セシムル者ニシテ更ニ他ノ實例ヲ加ヘザルモ以テ理ヲ證スルニ足ル可

キナリ而シテ主武社會ニ於テハ産業ノミナラズ一般ニ日常ノ生活ノ如キモ同様ノ規則ニ因テ制セラル、ナリ近時ノ革命前日本ノ政府ハ奢侈禁制ノ規則ヲ施行シ商人及ヒ其他各階級ノ人民ヨリ地方ノ奉行ニ至ルマテ何レモ起キ食事ヲ爲シ外出シ參詣シ眠息スル等ノ事ニ關シテ一定ノ時刻アリシナリ現ニ日本ノ諸書ヲ見ルニ信ヲ置ク能ハザル程ノ繁密ナル規則ヲ詳記セリ又古昔ノピリウニ於テハ政府ノ官吏ガ細カニ戸々ヲ巡視シテ其戸主及ヒ妻婦ガ適當ニ家事ヲ整ヘ又其子供ニ適當ナル規則ヲ施スヤ否ヤヲ監査シ其然ルト否トニ從テ戸主ヲ賞罰セシナリ又埃及ニ於テハ各人ハ定時ニ其姓名住所及ヒ生活法ヲ地方官ニ報告セザルヲ得ザリシナリ又スバルタノ如キモ特ニ攻撃防禦ノ爲ニ構造セラレタル社會ノ一例ニシテ該國ニ於テハ各人日常ノ私行ノ如キモ其細目ニ至ルマテ一々之ヲ指定

スルノ規則アリテ探偵方及ヒ監察官ニ於テ之ヲ實行セシナリ而シテ更ニ後世ノ主武社會ニ於テハ其規則ノ苛細ナルスノ如キノ甚シキニ至ラズト雖モ尙ホ食物衣服ヲ規制スルノ法律、轉住ヲ禁スルノ法律、或ル遊戯ヲ禁シテ或ル遊戯ヲ命スルノ法律等ノ行レシヲ想起スルキハ以テ理ノ一ナルヲ知ルニ足ル可キナリ今日ニ在テモ例セバ佛蘭西ノ如クニ攻伐作用盛ニシテ隨テ軍務機關ノ活潑ナル社會ニ於テハ嚴ニ新聞ヲ制束シ集會ヲ壓止シ教育ノ制度ハ軍制ノ如クニ畫一ニシテ政府ガ美術ヲ獎勵スル等ノ事アルヲ見レハ主武ノ統制機關ガ其性質ヲ社會ノ各部分ニ及ボスノ傾向アルヲ知ル可シ而テ最後ニハ政府ト各自人民トノ關係ニ關シテ斯ガル社會ニ行ハル、説及ヒ之ニ隨應スル感情ヲ記セサル可カラス他ノ社會ニ敵對シテ協力ヲ行フニ適スル如クニ構造セラレタル此主武社會ニ於テハ各人

ハ社會ノ爲メニ存スル者ニシテ社會ハ各人ノ爲メニ存スル者ニ非ストソ説行ハル、ナリ軍隊ニ於テハ兵卒ノ自由ハ全ク拒メレテ唯隊中ノ一員タルノ義務ノミヲ課セラレ又スガルヲ國民ノ如キハ常ニ陣立テテナセルノ軍隊ニ愛國心ノ外ハ一箇人ノ利害ハ毫モ認メラレザリシト同シク一般ニ主武社會ニ於テハ各人ノ權利ハ無ニシテ獨リ社會全体ノ權利アルノミ權勢ニ服スルハ無上ノ徳ニシテ之ニ背クハ罪ナリ他ノ罪ハ或ハ赦免セラレ、コアラノ一ニ不忠ノ罪ニ至テハ決シテ赦免セラレザルナリ夫ノ残忍ナルフイリ民族中ニテハ忠義ノ心極メテ強クシテ人民ハ其頭ヲ打擲セラル、モ毫モ避ケザトスルナク自ラ王ノ欲スル所ハ如何ナル事ニモ從ハサル可ラズト明言セリ又ダホミ一ニ於テハ最高ノ官吏ト雖ヒ王ニ對シテハ奴隸ニシテ王ノ死スルキハ之ニ侍シタル婦女ハ王ニ隨行セシガ爲メニ

互ニ相殺スナリ又古昔ノピロウニ於テハ王若クハ大貴族ノ死スルキハ其寵愛セル近臣及ヒ侍妃ハ他界ニ於テ之ニ事ヘンガ爲メニ生キナガラニ埋メラレシナリ又古昔ノペルシアニ於テハ王ガ其惡戯ヨリシテ父ノ面前ニ於テ其子ヲ射殺スアルモ其父ハ王ノ射術ノ熟セルヲ祝シ又臣民ニシテ王ノ爲メニ鞭撻セラル、コアルキ陛下ガ自己等ヲ懲戒セシガ爲メニ手ヲ下シタリトテ感謝ノ情ヲ表ヒシナリ左レバ此等ノ人民中ニ行ハレシ感情ヲ見ルキハ主武社會ニ於テハ王權ニ抗シテ人權ヲ立テシトスル如キ意念ハ殆ト毫モ存セザルコト知ル可キナリ以上論スルガ如クナレバ一般ニ主武社會ニ固有スル性質ハ其各人が強迫セラレテ種々ノ共同作用ヲ行フニ是ナリ兵卒ガ全ク自己ノ意ヲ棄テ、萬事將官ノ意ヲノミ是レ奉スルノ器具トナルガ如ク主武社會ニ於テハ公私ノ凡テノ事ニ關シテ人民ノ

産業ヲ主トスル社會

意ハ全ク政府ノ意ノ爲メニ支配セラレ、ナリ主武社會ノ生活ヲ維持スル所ノ協力ハ則チ強迫協力ナリ外圍ノ敵社會ヲ取扱フニ適シタル主武社會ハ中央統制部ノ管轄スル所ニシテ各部分全ク之ニ服従スルコトハ恰モ動物ニ於テ外部機關カ全ク中央神經房ニ服従スルガ如キナリ

第二百六十一節、産業ヲ主トスル社會ノ性質ハ不完全ニシテ且混雜セル事實ニ根據シテ之ヲ概括セザル可カラズ殆ト何レノ社會ニ於テモ殆ト常ニ多少他社會ト敵對セザルハナキガ故ニ隨テ殆ト凡テノ場合ニ於テ攻撃防禦ニ適シタル構造ヲ具ヘザルハナクシテ若シ此事ナクハ獨リ社會資養ノ一原因ノミヨリ起リシナル可キ構造ノ如キモ多少爲メニ覆ハル、所アルチ免レズ左レハ余輩ガ主産社會ニ就テ下タス所ノ説ハ通常平和ノ生活ヲ營ム儘々タル單純社會ガ示ス事實ト以前ハ戰爭ヲ事

トセシト雖也漸次ニ此事ノ滅セシ如キ進歩セル複合社會ガ示ス事實トニ根據シテ之ヲ立テザル可カラズ

首長ナキ「アララ」民族ノ事ハ余輩ノ既ニ記セシ所ニシテ該民族ハ互ニ相懇親ニシテ兄弟ノ如ク且最モ十分ニ所有權ヲ認メ祖先ノ慣例ニ從テ裁決スル所ノ長者ノ外ニハ毫モ主治者ナシト云フ即チ互ニ他ノ主張及ヒ人權ヲ容認シ最モ經驗アル人ヨリ成レル默選代議政府ニ自カラ好シテ服スル者ナリ又ト「ダ」民族ノ如キモ平和安靜ナル生活ヲ營ミ爭論ノ起ルキハ仲裁人若クハ五人ノ評議會ニ於テ之ヲ決スルナリ又全ク戰爭ヲ好マザル温順ナル「ボイド」民族及ヒ「ダイマル」民族ノ如キモ自由ナル社交制度ヲ示スナリ該民族中ニハ權力ナキ首長アルノミニシテ奴隸僕婢ノ如キ者ナシ然レモ土地ヲ開拓シ家屋ヲ建築スルニハ互ニ協力シ勤勞ノ自由ナル交換行ハル、ナリ又安靜無

害ニシテ戦争ヲ好マズ唯時トシテ防禦ノ爲メニ協力スルアル
 ノミト記セラレタル「ミニ」民族ノ如キハ殆ト毫モ政治機關ヲ
 有セザルナリ其各村落ニハ全ク有名無實ナル酋長アルノミニ
 シテ全民族普通ノ酋長アルナク規則ハ共和的ノ者ニシテ罪ヲ
 斷スルハ評議會ニ於テスルナリ而シテ斯カル性質ノ社會ガ主
 武ノ性質ニ變移スルコトナクシテ大社會ニ發達スルガ如キハ之
 アルナク假令之アルモ固ヨリ僅少ナリトス如何トナレバ單純
 社會ガ結合シテ複合社會トナルハ通常攻撃防禦ノ爲メニ戦争
 ヲ行フヨリ起ルモノニシテ其戦争ノ續クニ於テハ必ス強迫制
 度ヲ行フ中央統制部ヲ發スルコトハ余輩ノ既ニ論セシガ如クナ
 レバ也然レ「ピューエプロ」民族ハ恰モ殘酷ナル蠻風ヲ閉出ス
 ガノ如キ方法ヲ以テ異例ナル村落即チ二千人ヲ入ル、ニ足ル
 程ノ共同家屋ヲ建設シ敵ノ來襲ヲ受ケル時ニノミニ戰フ所ノ勉

強且平和ナル農夫ニシテ該民族ハ共和政体ヲ余輩ニ示スナリ
 即チ其支配人及ヒ之ニ屬スル評議役ハ年々人民ニ於テ之ヲ選
 舉スルナリ而シテ今日ニ在テ戦争作用ノ活潑ナラザル複合社
 會ニ於テハ如何ニ主産ノ性質ノ稍々發達スルト同時ニ政治上
 ノ制束ノ漸ク嚴ク失フ乎ヲ示スノ一例トシテ茲ニ又サモアノ
 有様ヲ記ス可シ蓋シ該嶋ニ於テハ酋長及ヒ小酋長ハ一部ハ世
 襲ニシテ一部ハ選舉セラレ而シテ其行フ公務ニ對シテハ自カ
 ラ責任ヲ負擔シ其各村落ニハ村會アリテ此外ニ又地方會アル
 ナリ而シテ之ト同時ニ政治機關トハ分離セル大ニ發達セル産
 業機關アルヲ見ルナリ主人ノ徒弟ヲ有シ職人ヲ備使シテ之ニ
 給金ヲ拂フアルヲ見ルナリ加之給金ノ不十分ナルハ職人罷
 工ノ事行ハル、ヲ見レバ同業連合ノ精神存スルコトヲ知ル可キ
 ナリ余輩ハ次キニ更ニ發達セル社會ニ論及セントスルニ當リ

産業統制機關ガ政治統制機關ト混同セラレ、間ハ假令産業作用ノ活潑ニ行ハル、場合ニ於テモ尙ホ主産社會ニ固有セル性質ハ十分ニ昭明ナル能ハザルヲ先ツ第一ニ記セザル可カラズ例モバフニシアニ於テハ御覽外國貿易ハ大抵ハ政府、王、貴族ノ手ニ屬セシ者ノ如シ又エスキール氏ノ説ニ據レバ古昔ノイールト府ノ王ハ遠慮アル商人ニシテ地下ニ隱伏セル資金ヲ發見シ之ヲ採掘シテ以テ自己ヲ富マシメ更ニ商業ヲ營ンテ其富ヲ加ヘシト云フ左レハ斯カル場合ニ於テハ政治上及ヒ軍務上ノ長又兼テ産業上ノ長タルヲ以テ産業機關固有ノ性質ハ覆ハレテ十分ニ顯著ナル能ハザルヲ明ナリトス而テ産業ノ熾盛ト自由政体トノ關係ヲ示サンガ爲メニ古昔ノ諸社會ニ就テ其實例ヲ求ムルニ當リ第一ニ吾人ノ心ニ想起スル所ハアゼンナリトス蓋シアゼンハ希臘ノ他ノ諸州トハ全ク其景狀ヲ異ニ

シテ明瞭ニ此關係ヲ示スニ吾人ノ豫期スル所ニ違ハザルナリトシテノ時マデハ此等ノ諸州ハ凡テ寡人政府若クハ擅制政府ノ下ニ在リテアゼン以外ノ諸州ノ如キハ爾後ト雖モ戰爭ヲ以テ最モ名譽アル職業トナシ産業ニ至テハ大ニ之ヲ賤視セシテ以テ依然斯カル國制ヲ保續シタリト雖モ獨リアゼンニ於テハ産業稍々貴重セラレ加フルニソロン大ニ之ヲ獎勵シ外國ヨリ移住セル職人茲ニ留マリ隨テ産業機關漸次ニ發達シテ遂ニアゼンヲシテ近隣ノ諸社會ト相異ナラシメ且之ト同時ニ共和政制發達シテ此點ニ於テモ之ヲシテ他ノ諸社會ト相異ナラシムルニ至レリ而シテ更ニ後世ノ社會ニ就テ之ヲ言フニ夫ノ「ハンズ」同盟市府ノ如キ又和薩共和國ヲ起シタルロウ、カウントリノ諸市府ノ如キハ産業熾盛ノ國制トナルニ從ヒ強迫規則ノ勢ヲ減スルニ至ル關係ヲ示ス者ナリ又我英國ノ如キ北米合衆國